

がん対策のロジックモデルと指標で 47都道府県と沖縄県のデータを読む

2022年11月18日

国際医療福祉大学大学院 教授

(日本評価学会 認定評価士)

埴岡健一

趣旨

- 概要:がん対策指標の地域差の全国の動向と、その中での沖縄県の位置を確認する。

部位別



地域差の推移の検討（部位別）

- 概要:ロジックモデルと対応する指標のデータを活用し都道府県別データの経年変化を追い、地域差と均てん化の動向を確認する。
- 部位別：大腸がん、乳がん、肺がん。
- 指標:最終アウトカム、中間アウトカムに相当する項目。
- データ出典:「がん対策地域別データ集（1版～6版）」。
- 成果物:都道府県値の推移を箱ひげ図等により可視化する。
- 限界：①出典データの精度やカバー範囲の変化②出典データセットの期間の範囲、など。
- 展望：ある程度の期間のデータを蓄積すれば、評価が実用化できる。

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

個別施策	指標

初期アウトカム

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

中間アウトカム

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率
	<柱2>

最終アウトカム

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率
	<柱1>

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率
	<柱4>

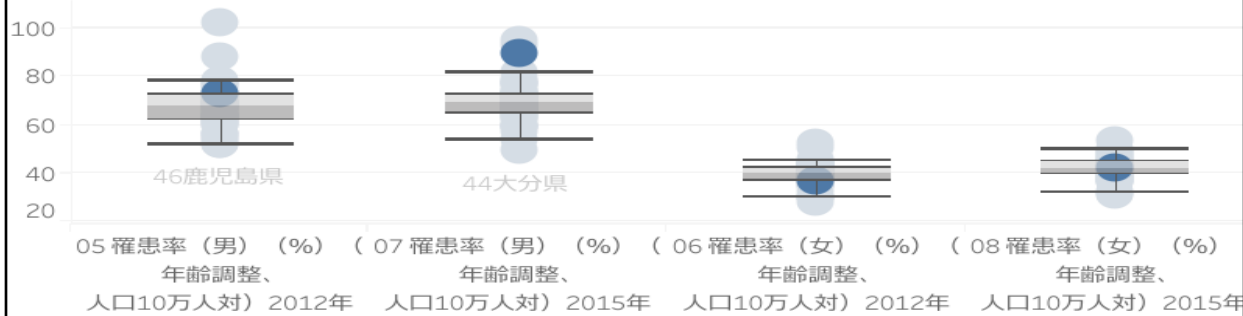
生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率
	<柱3>

個別施策	指標

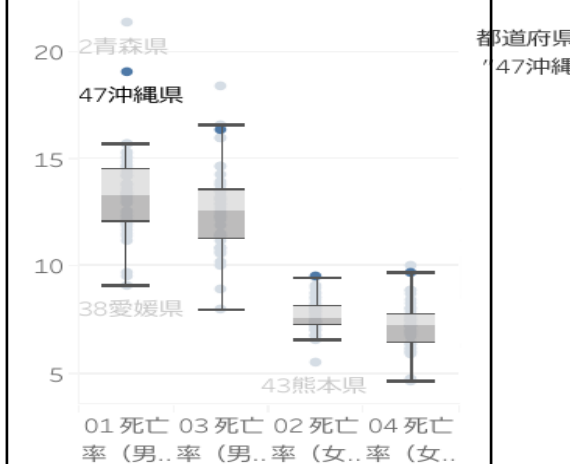
医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率
	<柱5>

罹患率



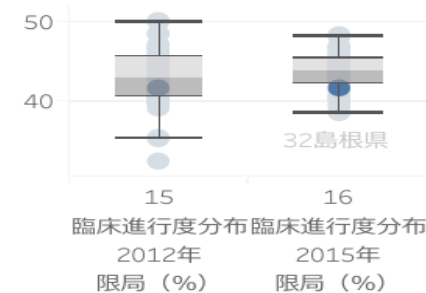
死亡率



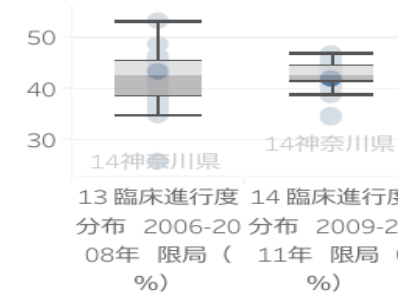
早期発見率3



早期発見率2



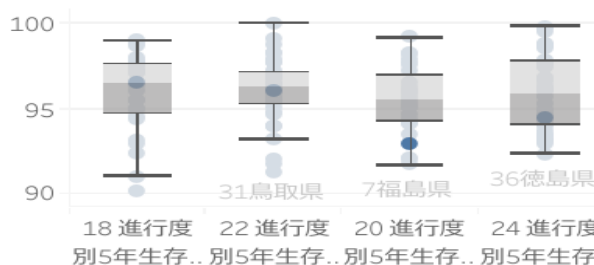
早期発見率1



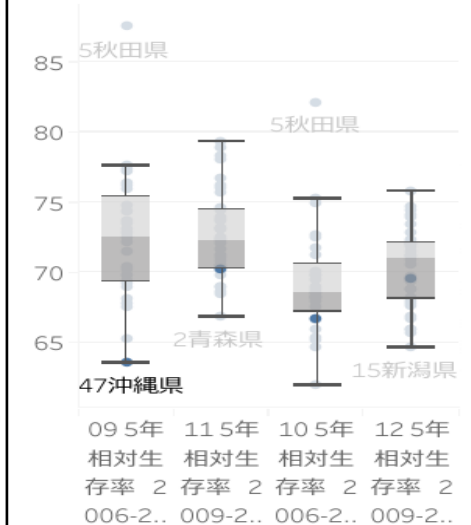
治療成績 領域



治療成績 限局

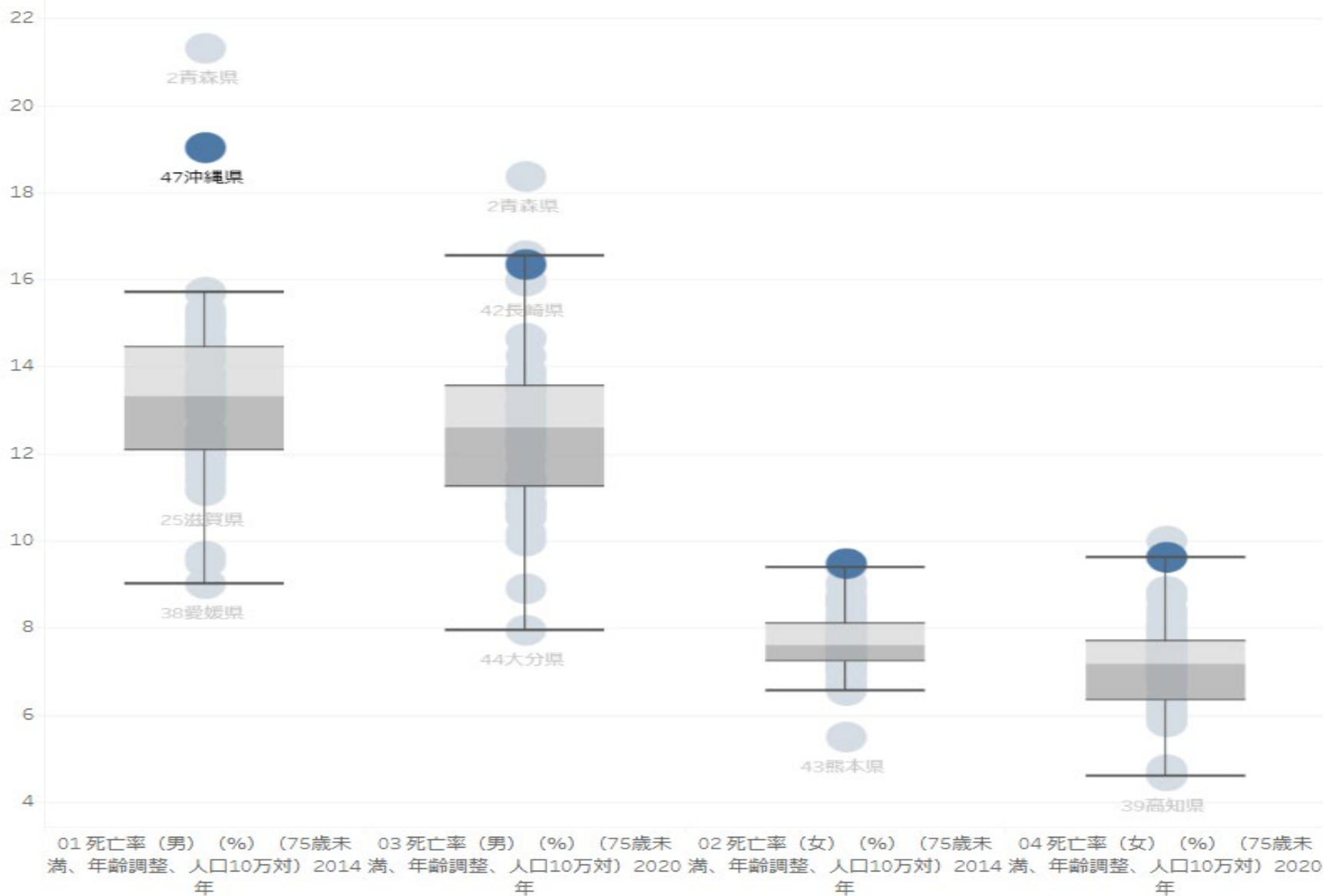


生存率

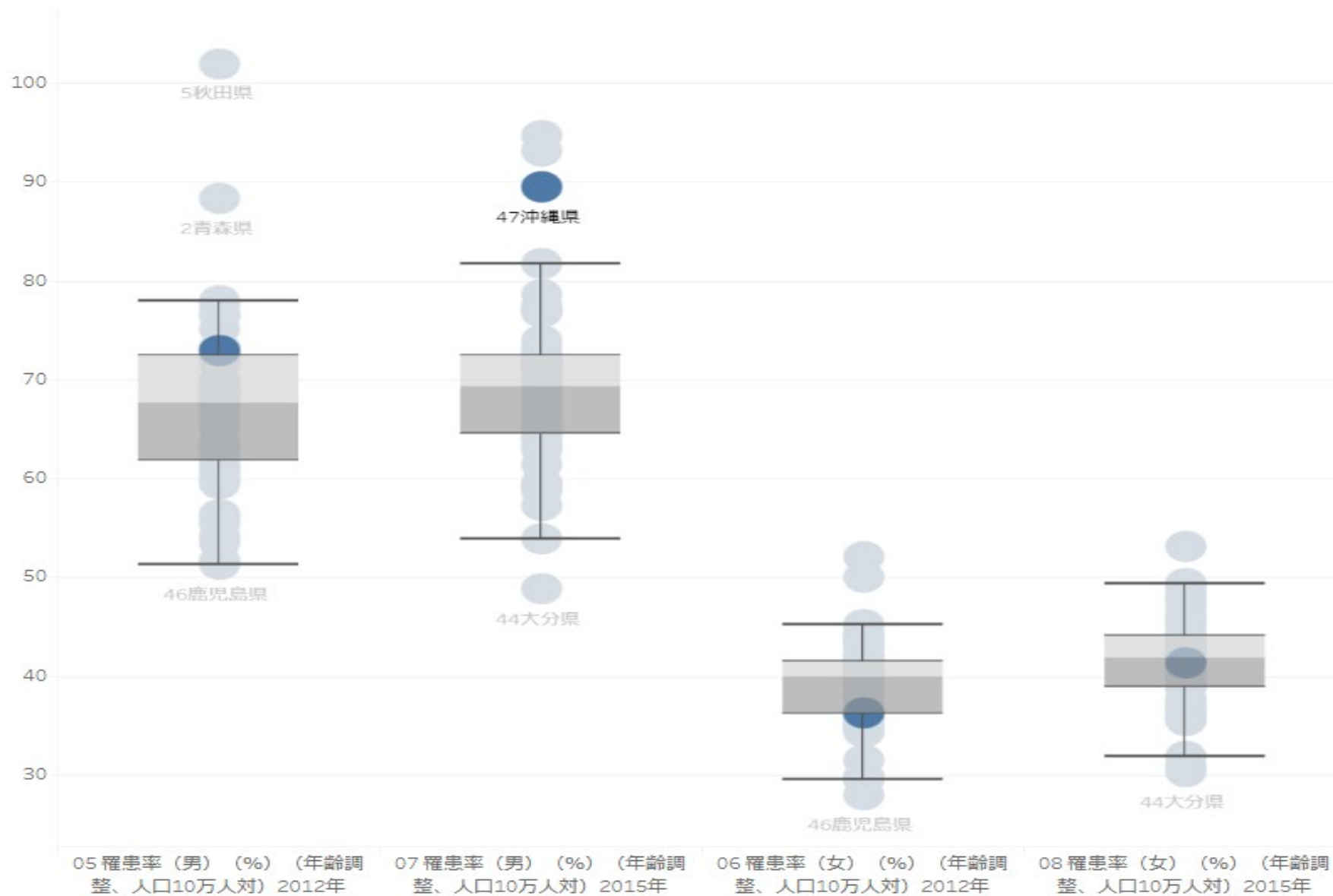


次ページから部分拡大図

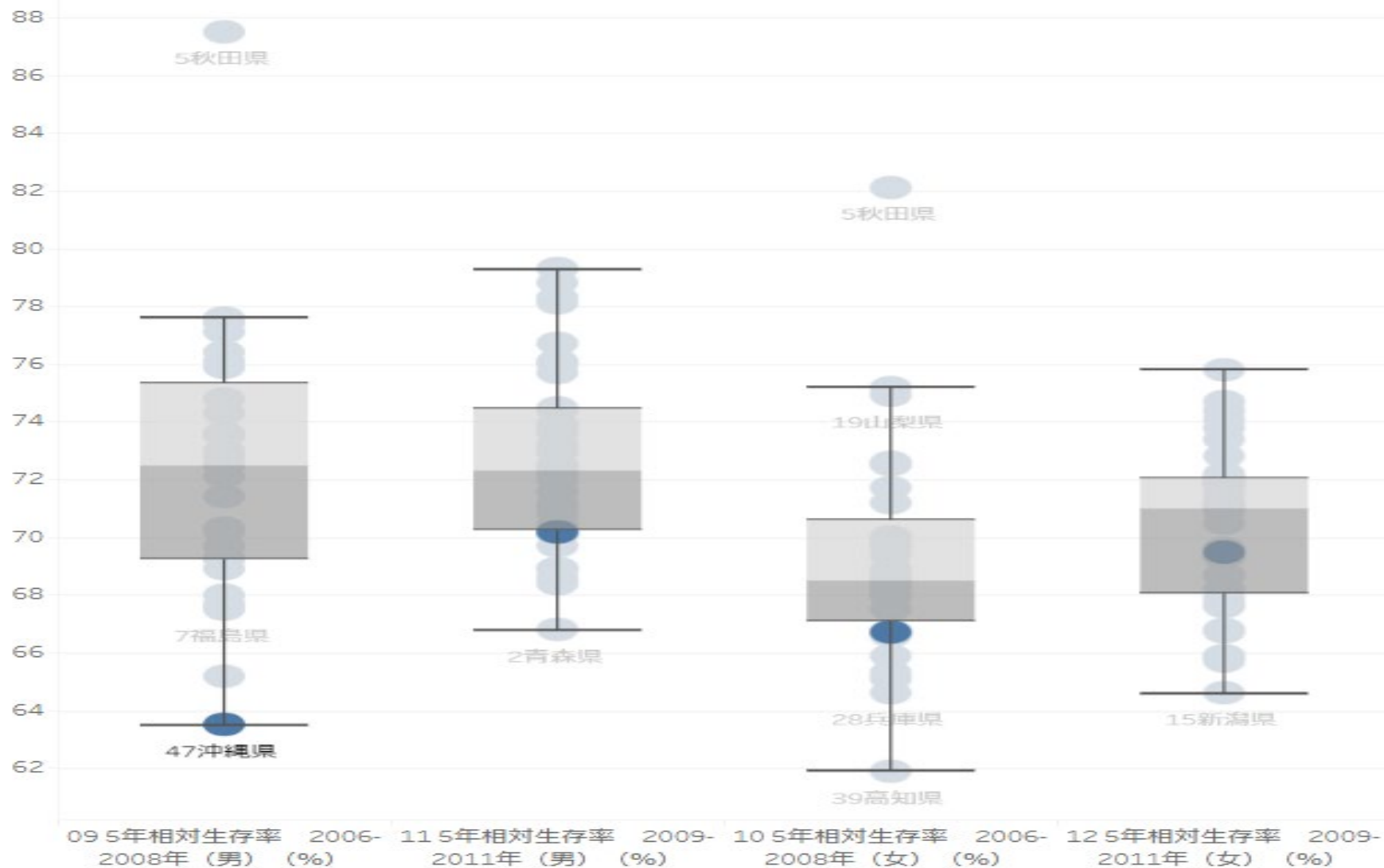
死亡率



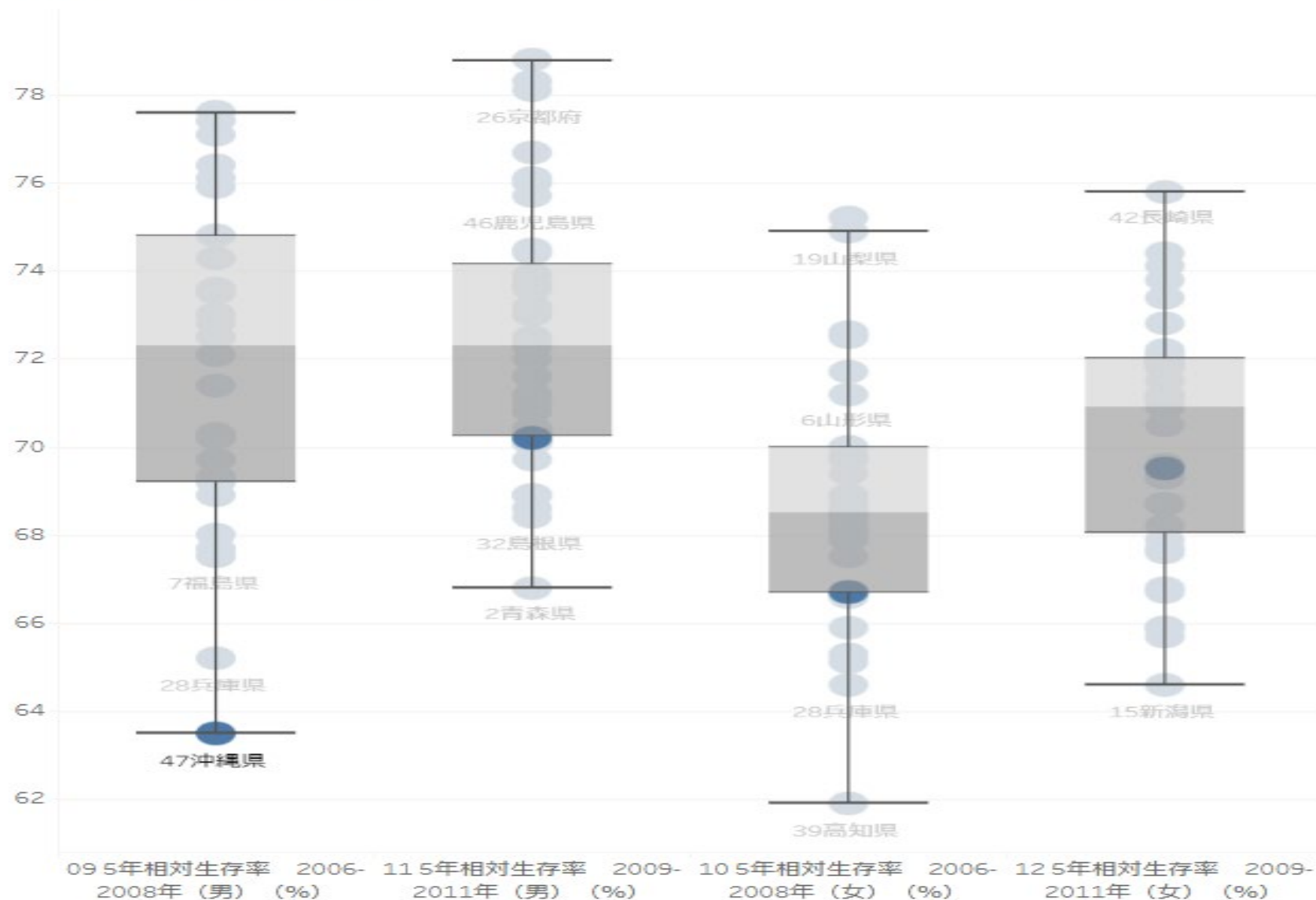
罹患率



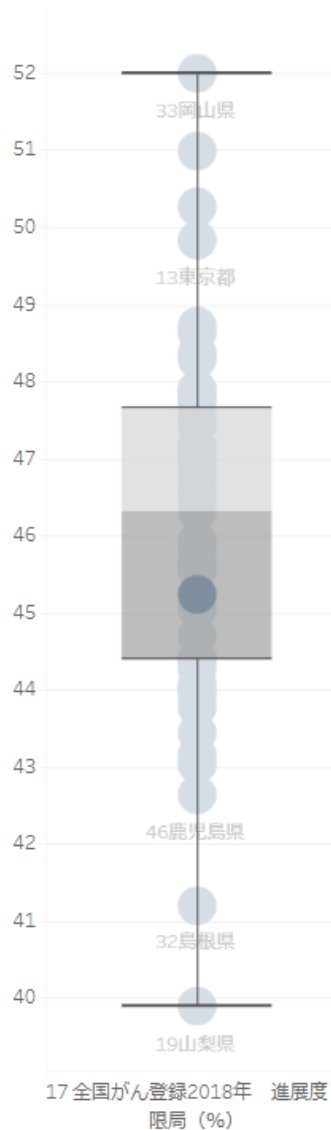
生存率



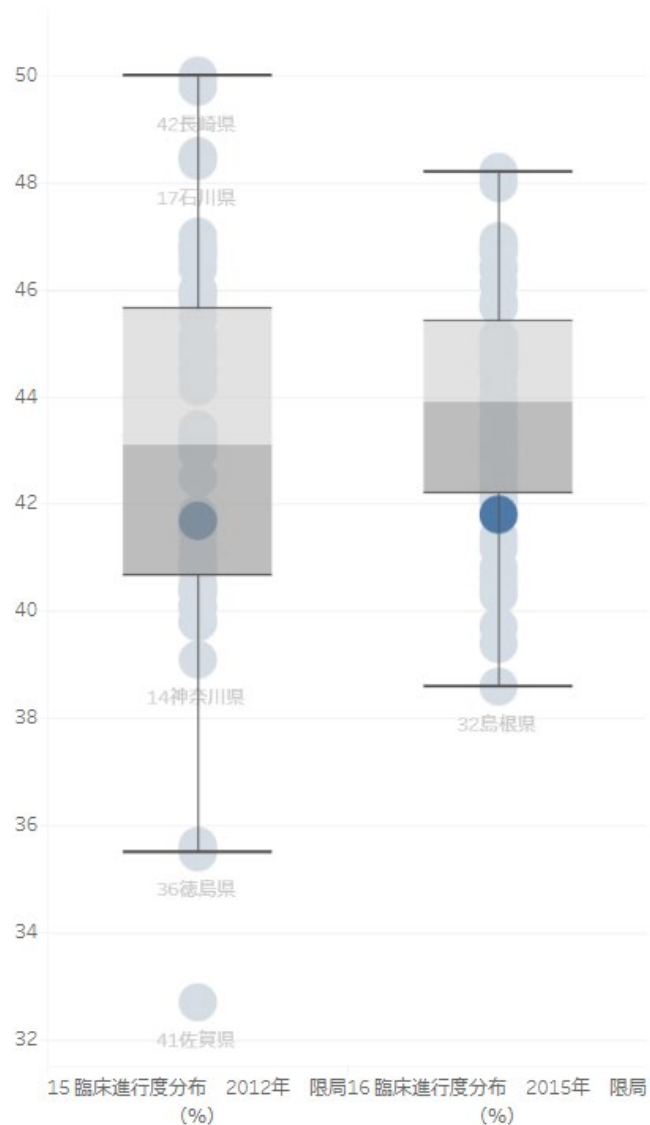
生存率 秋田県除外



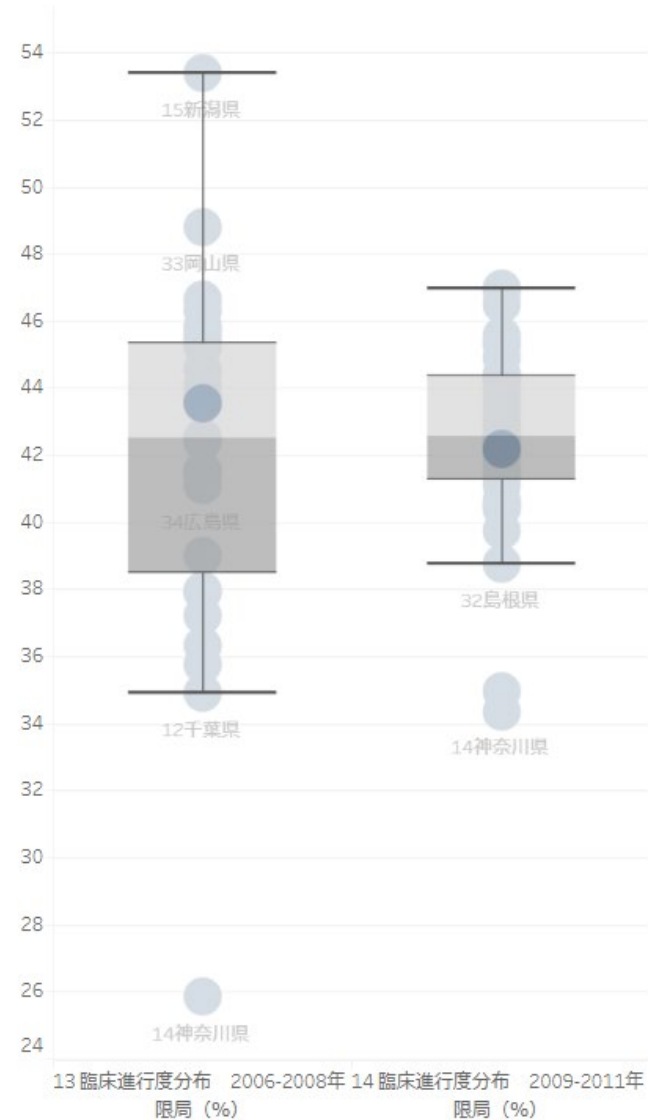
早期発見率3



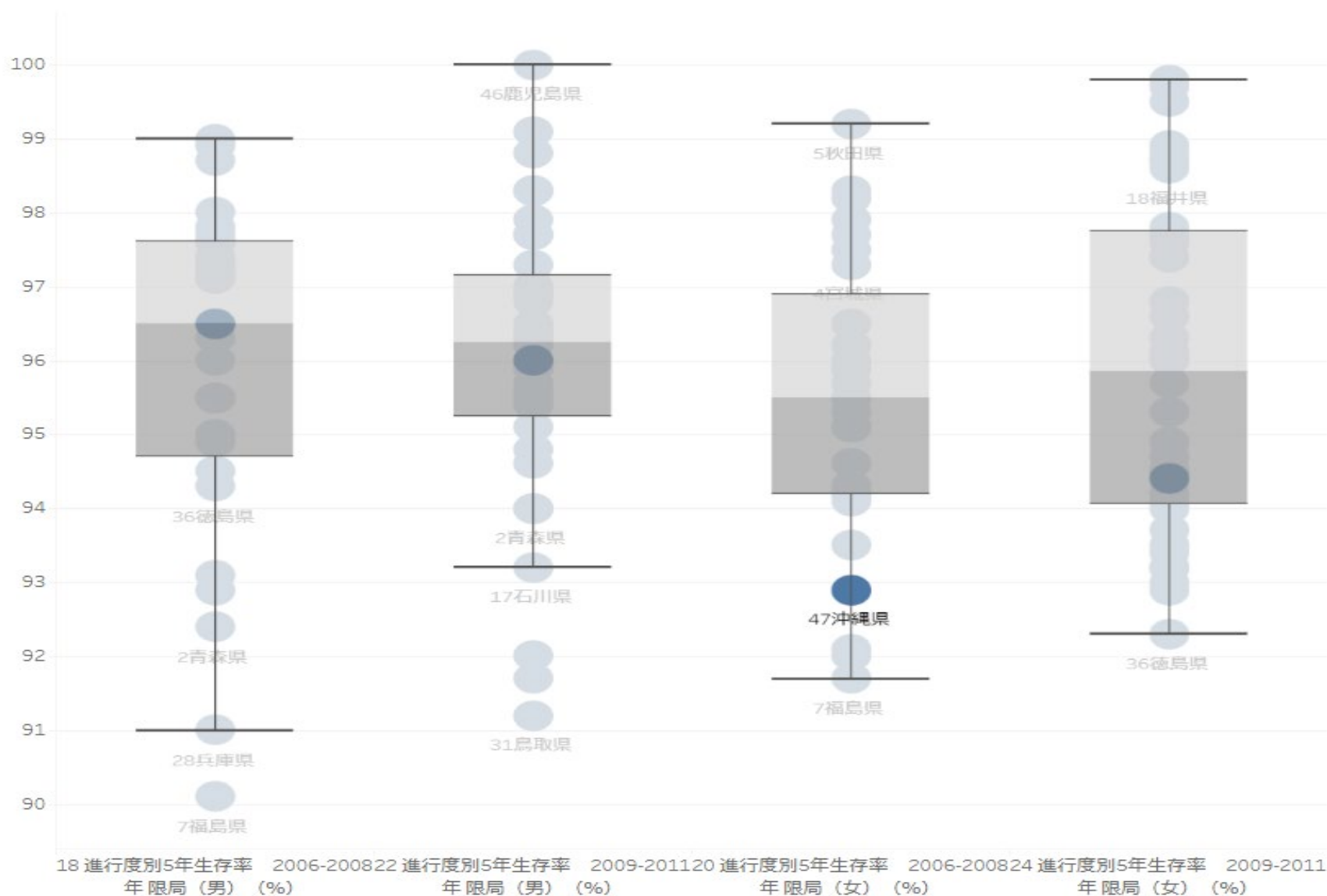
早期発見率2



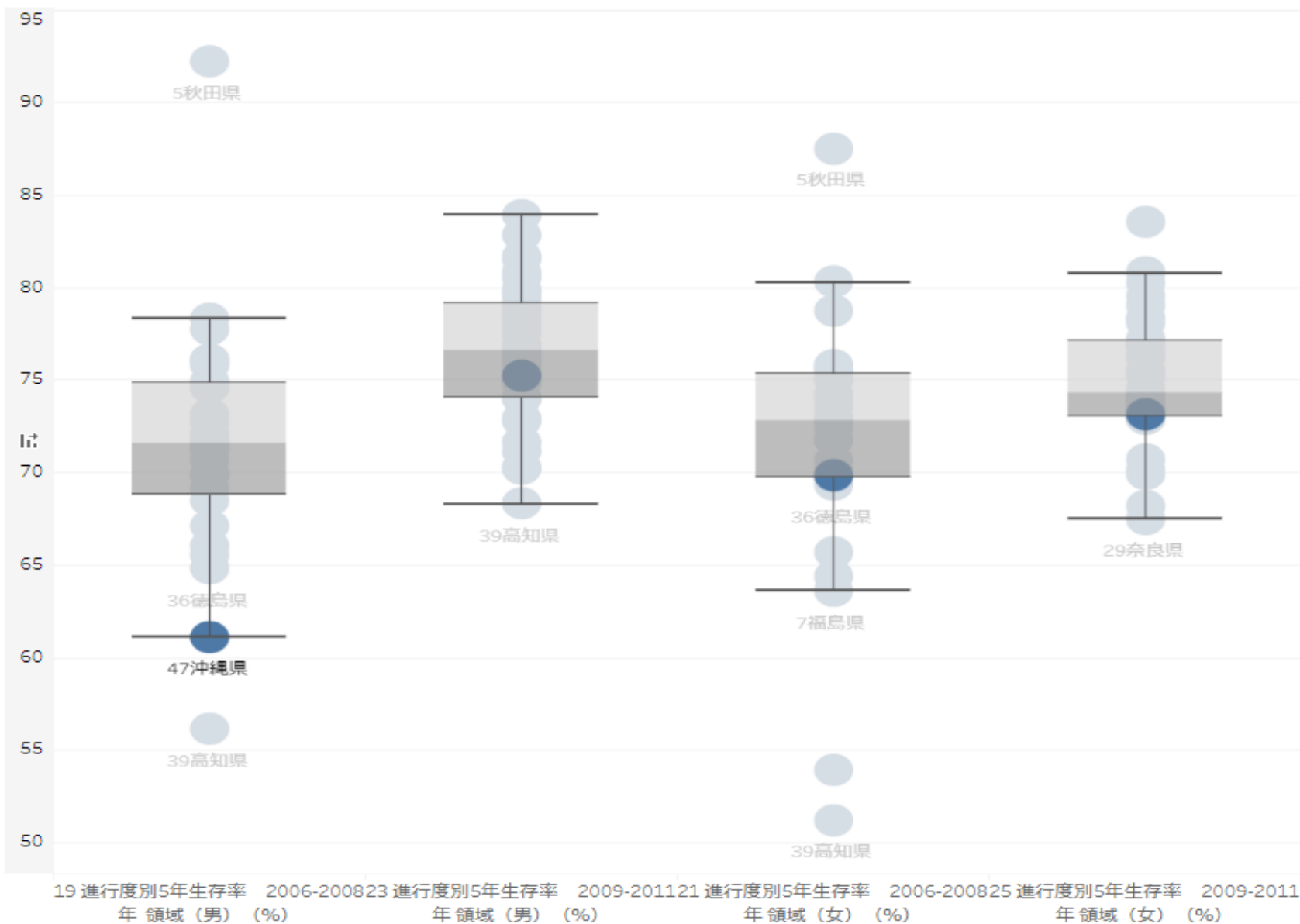
早期発見率1



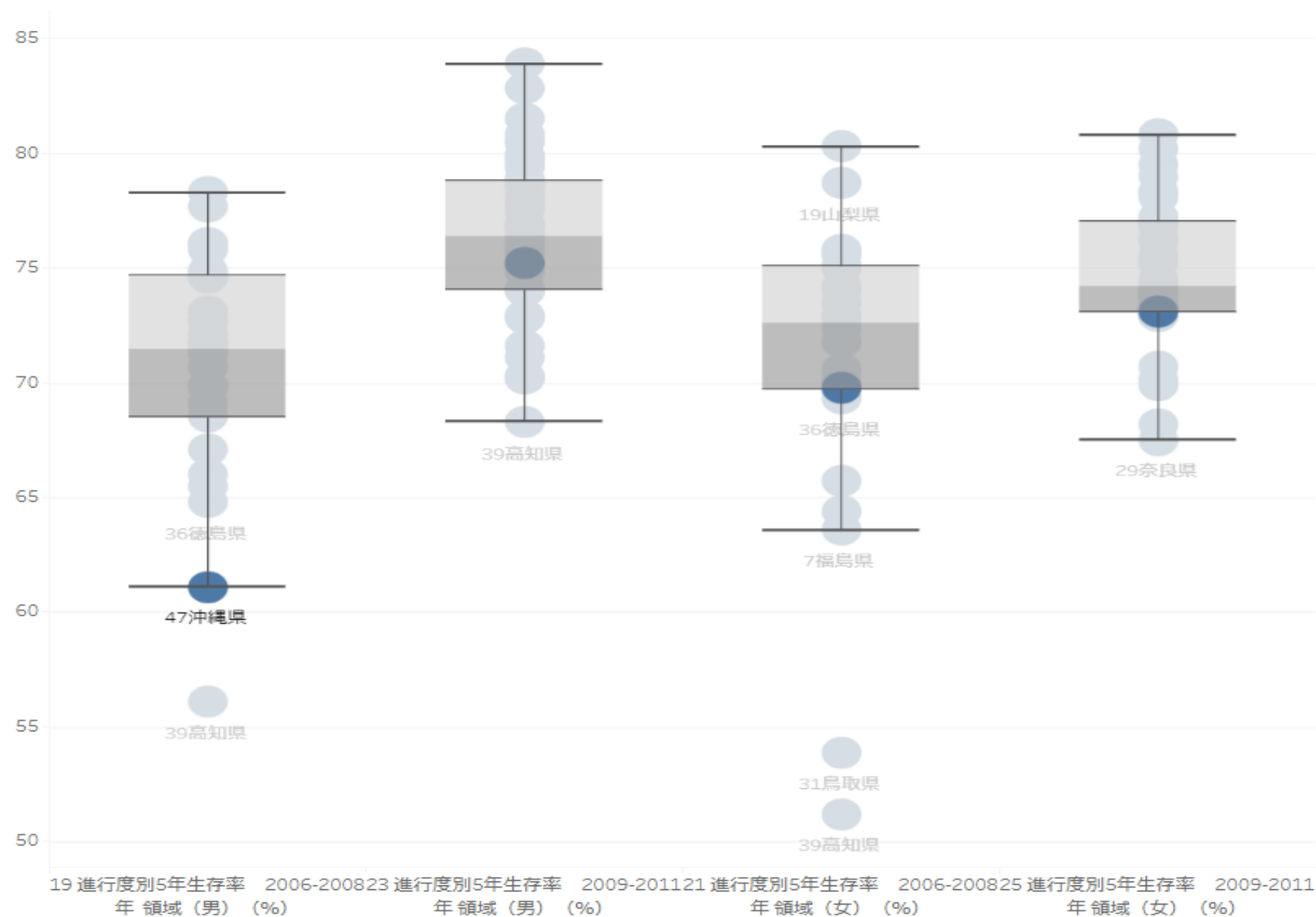
治療成績 限局



治療成績 領域

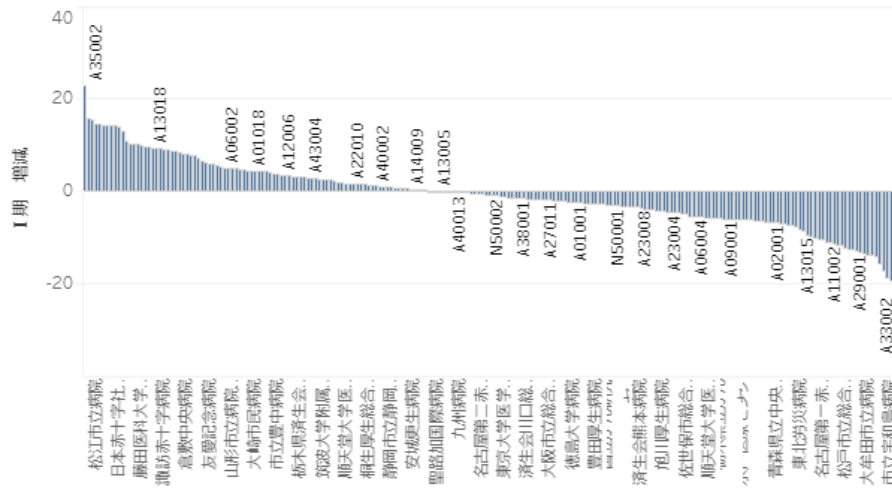


治療成績 領域 秋田県除外

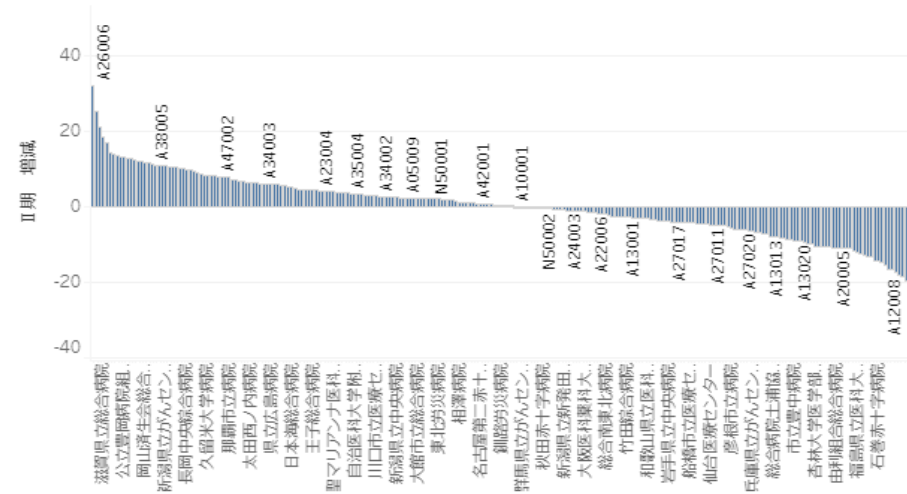


<https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/52010-20112013-2014/sheet0>

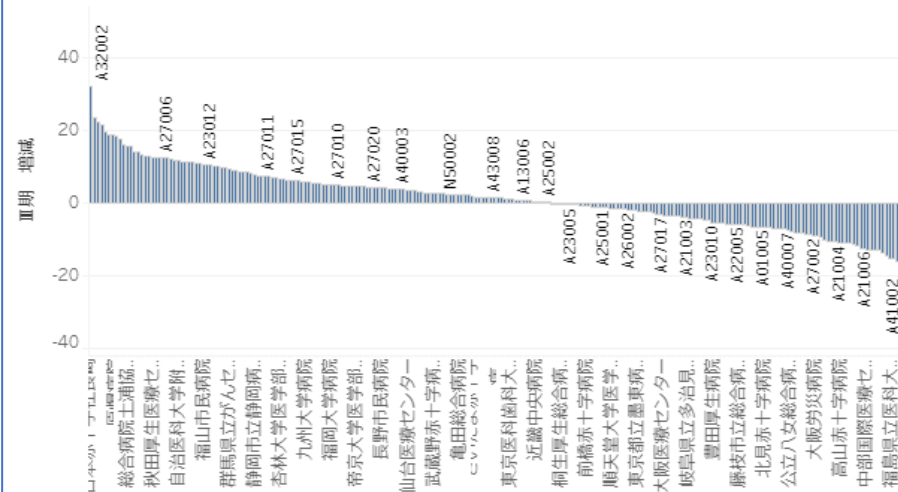
I 期増減



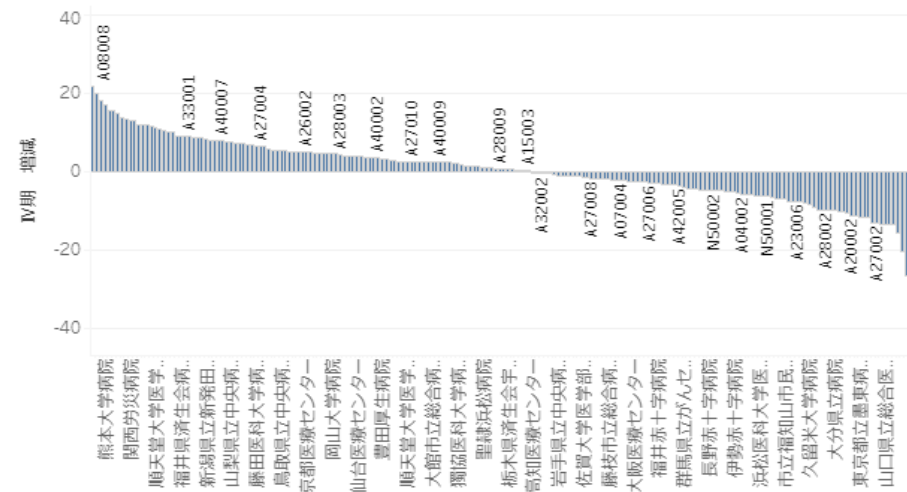
II 期増減



III 期増減



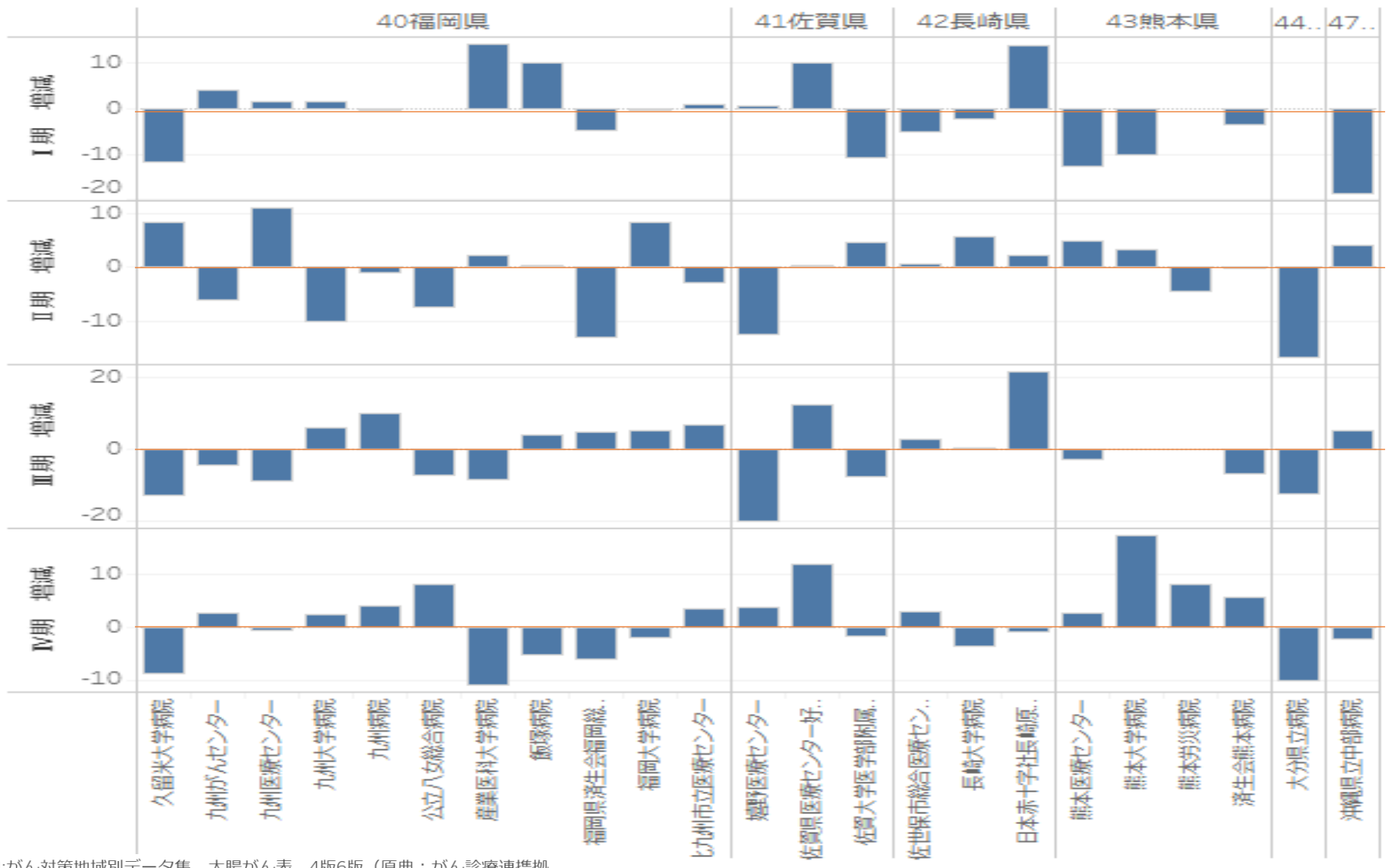
IV 期増減



出典:がん対策地域別データ集 大腸がん表 4版6版(原典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年/2013-2014年生存率集計報告書)※生存率には様々な要因が影響を与えるため、施設間、地域間の単純比較はできません。原典の各施設コメントをご覧ください。

<https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/52010-20112013-2014/sheet0>

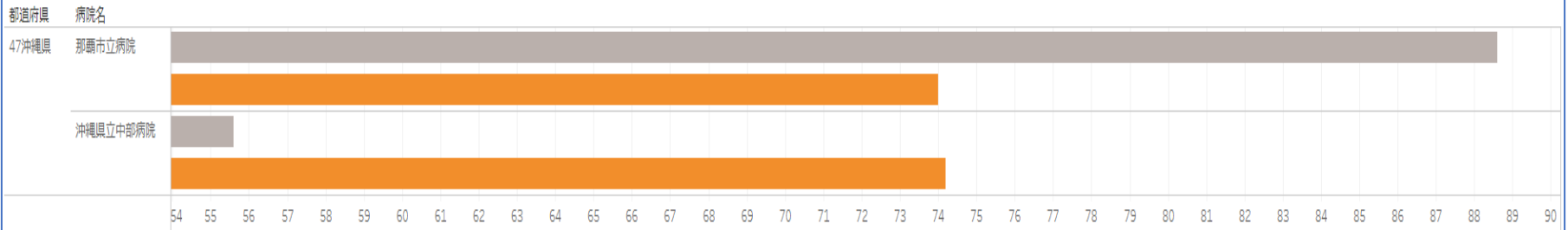
施設別病期別増減



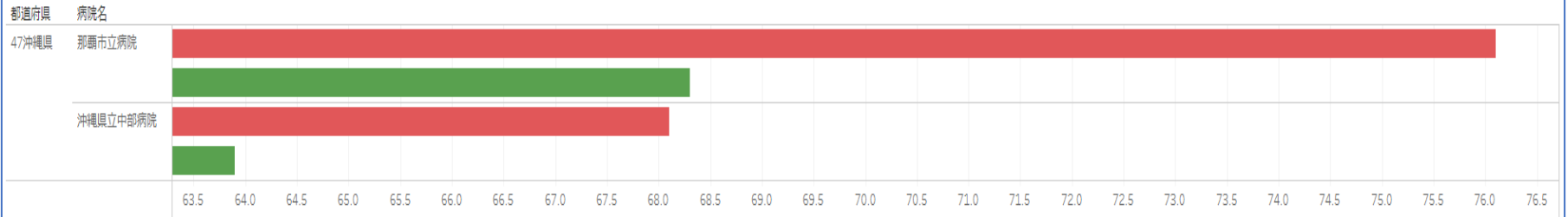
出典:がん対策地域別データ集 大腸がん表 4版6版(原典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2010-2011年/2013-2014年生存率集計報告書)※生存率には様々な要因が影響を与えるため、施設間、地域間の単純比較はできません。原典の各施設コメントをご覧ください。

施設別5年生存率 2010-2011年（下）⇒2013-2014年（上）

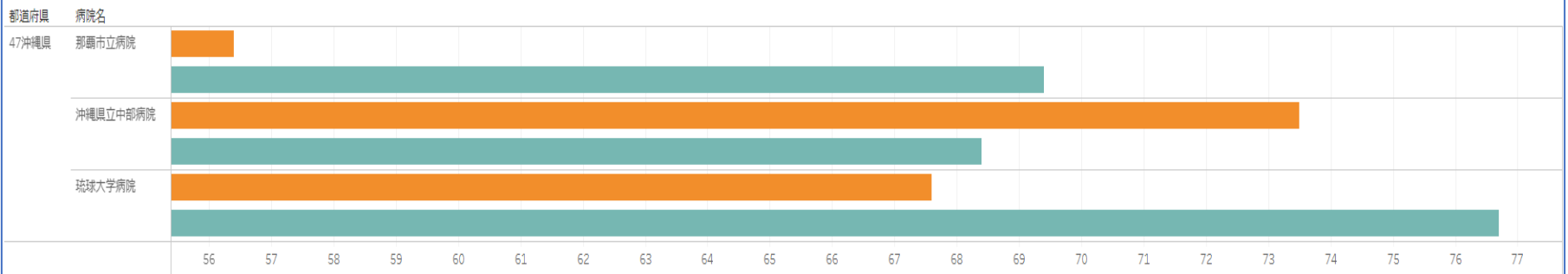
I期 病院別2点値



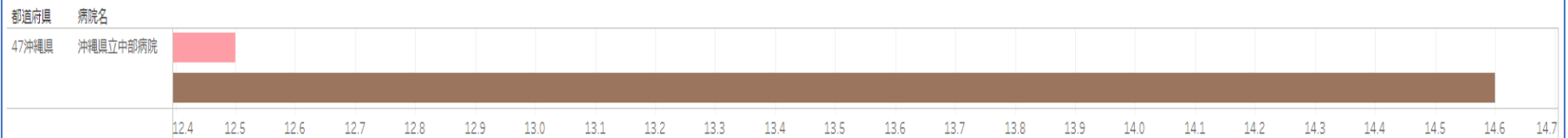
II期 病院別2点値



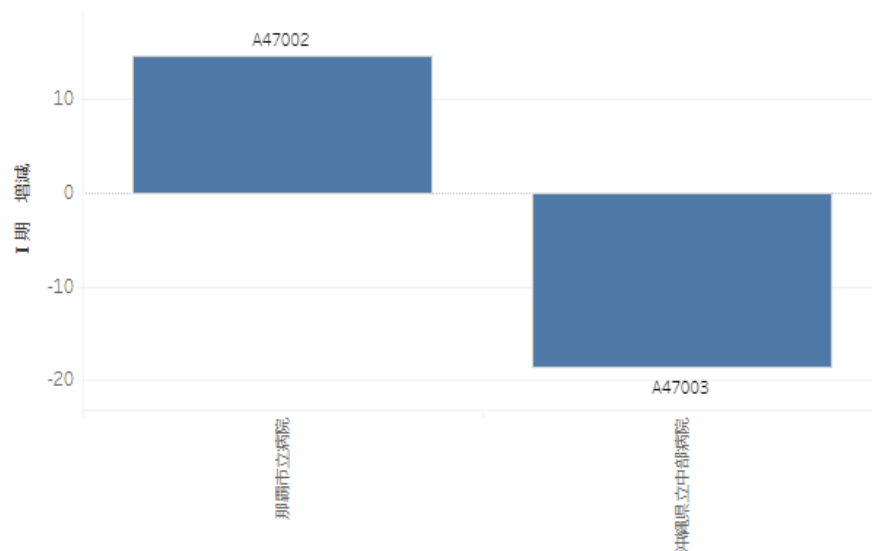
III期 病院別2点値



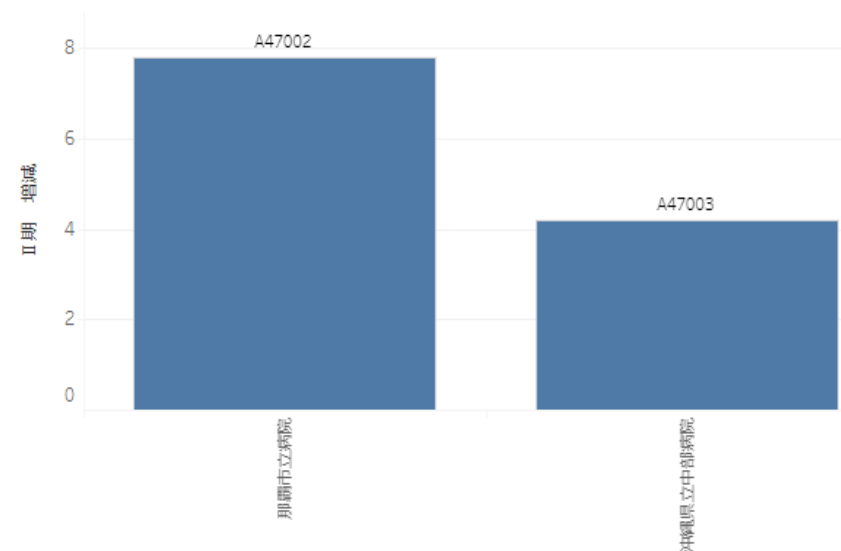
IV期 病院別2点値



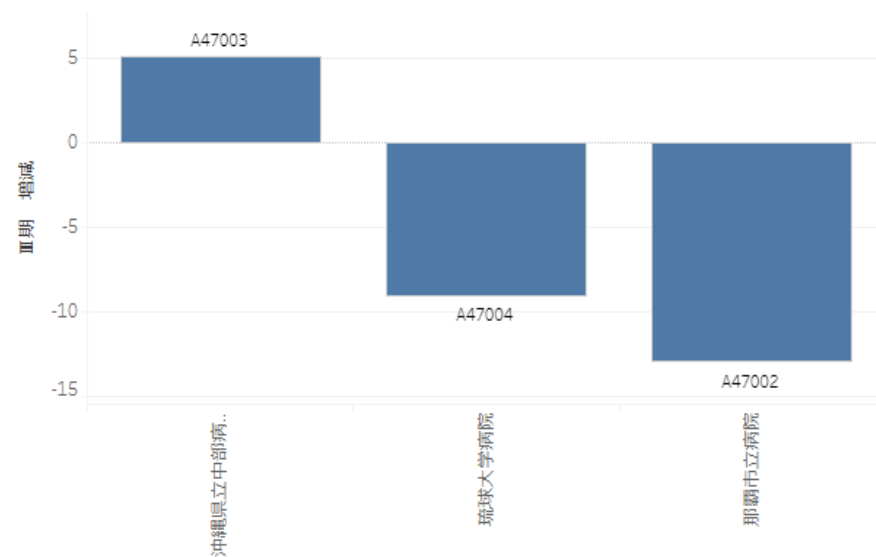
I 期増減



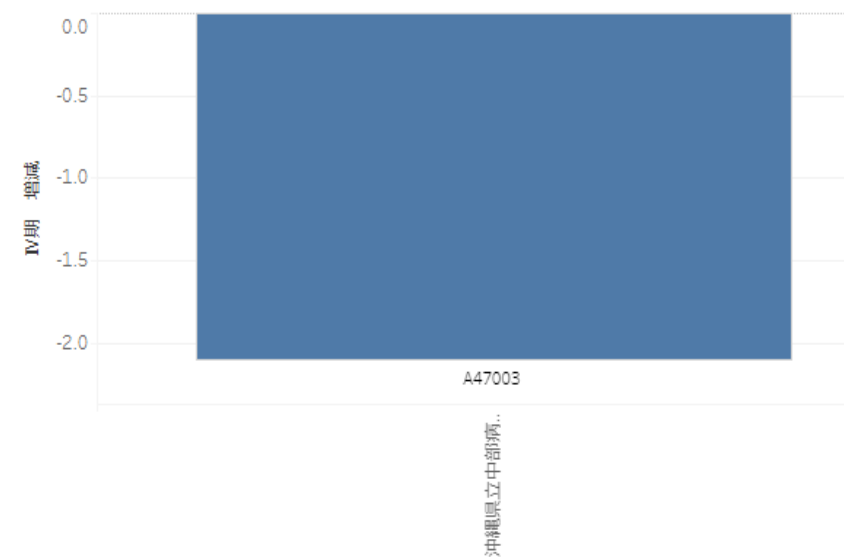
II 期増減



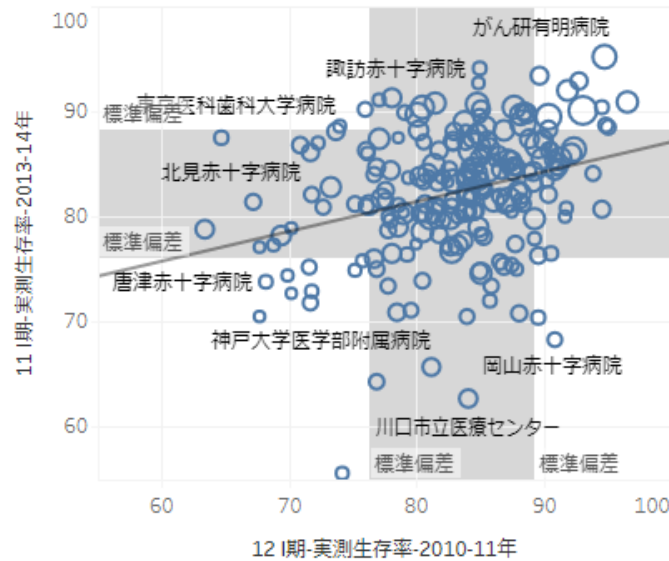
III 期増減



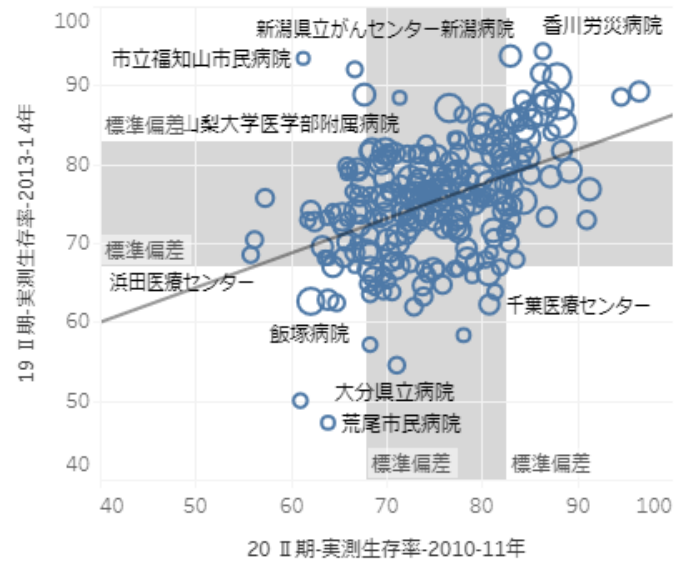
IV 期増減



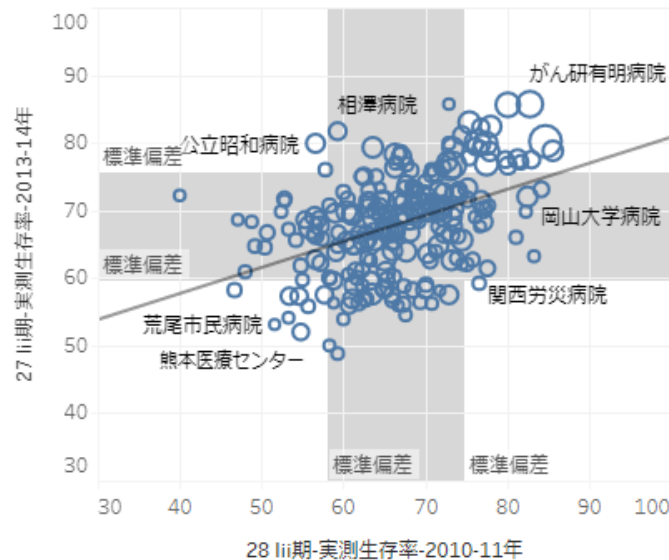
I 期 前後 散布図



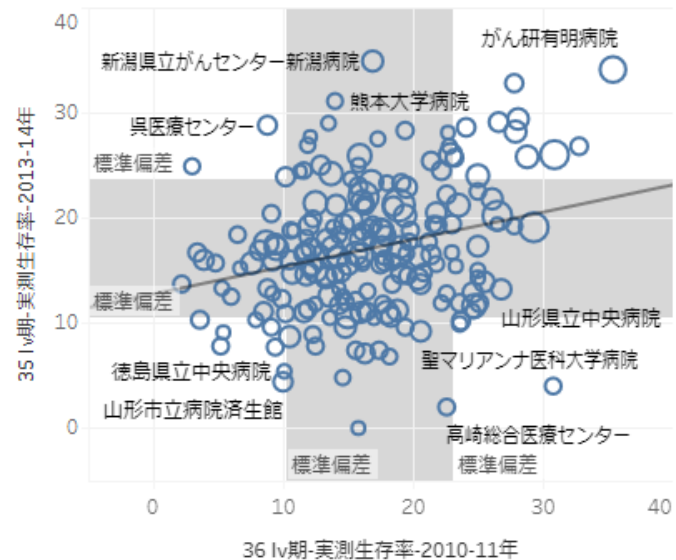
II 期 前後 散布図



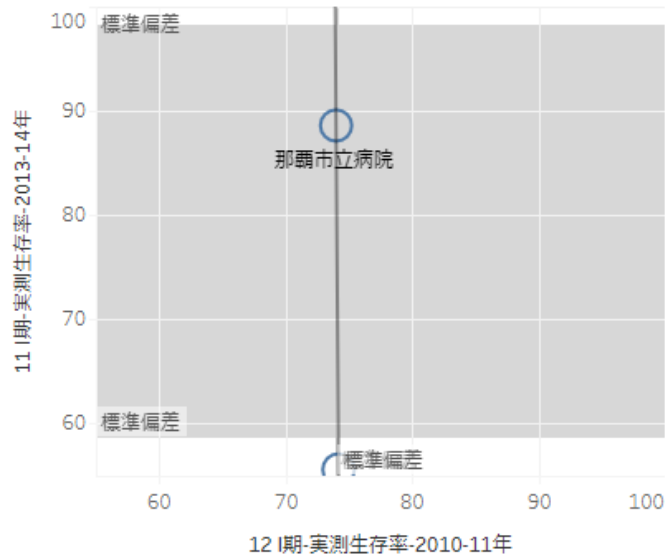
III 期 前後 散布図



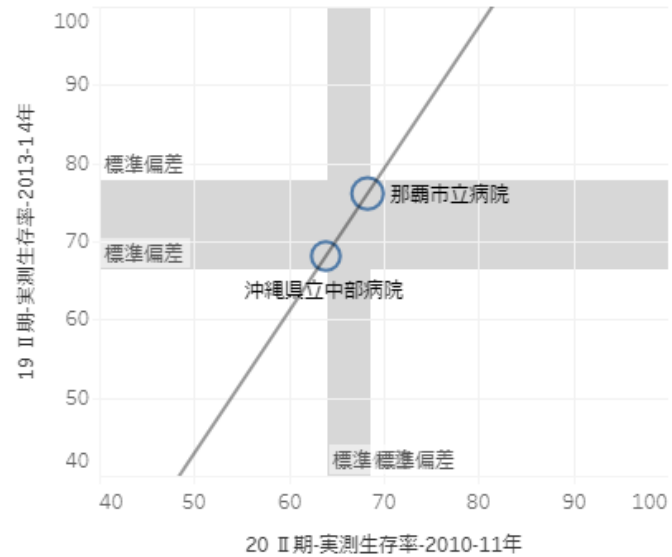
IV 期 前後 散布図



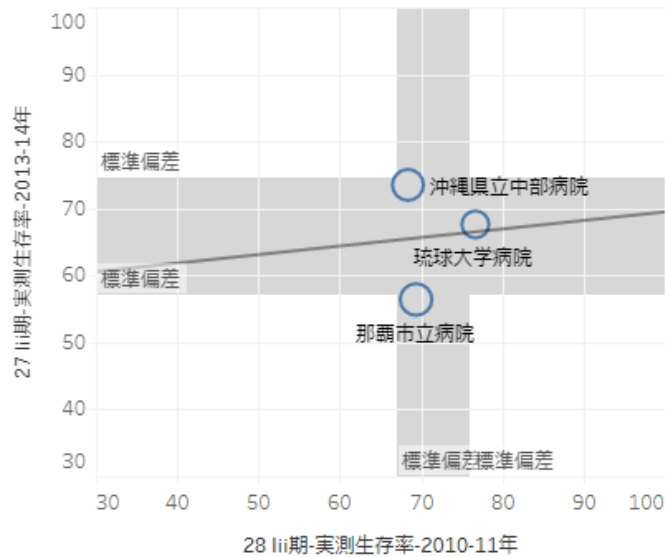
I期 前後 散布図



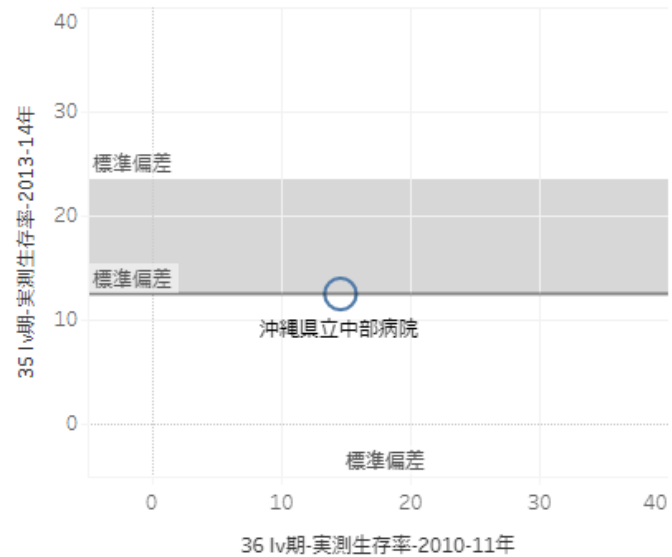
II期 前後 散布図



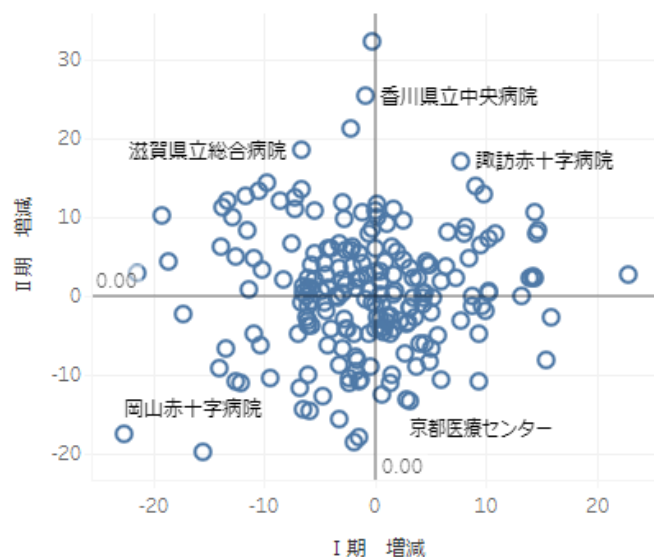
III期 前後 散布図



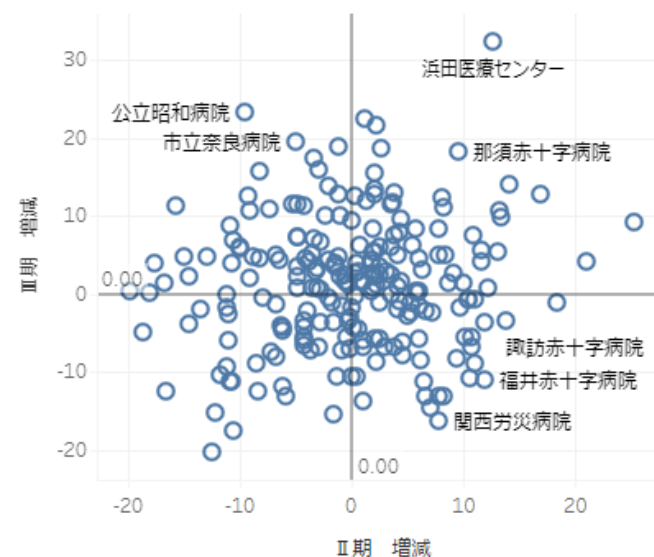
IV期 前後 散布図



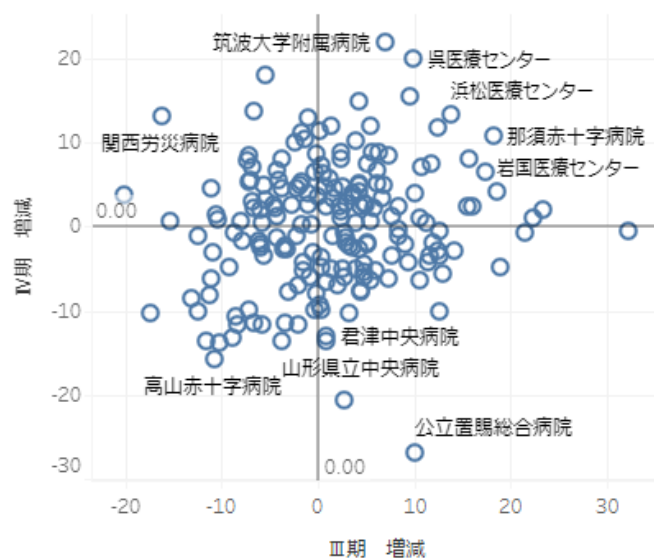
I 期増減 II 期増減



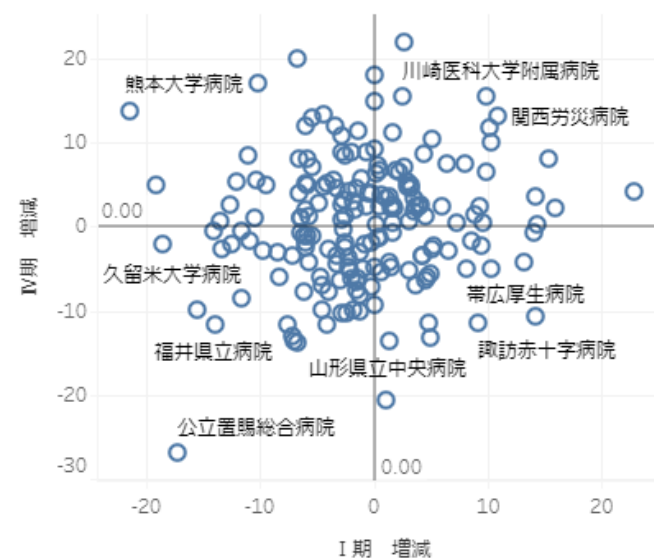
II 期増減 III 期増減



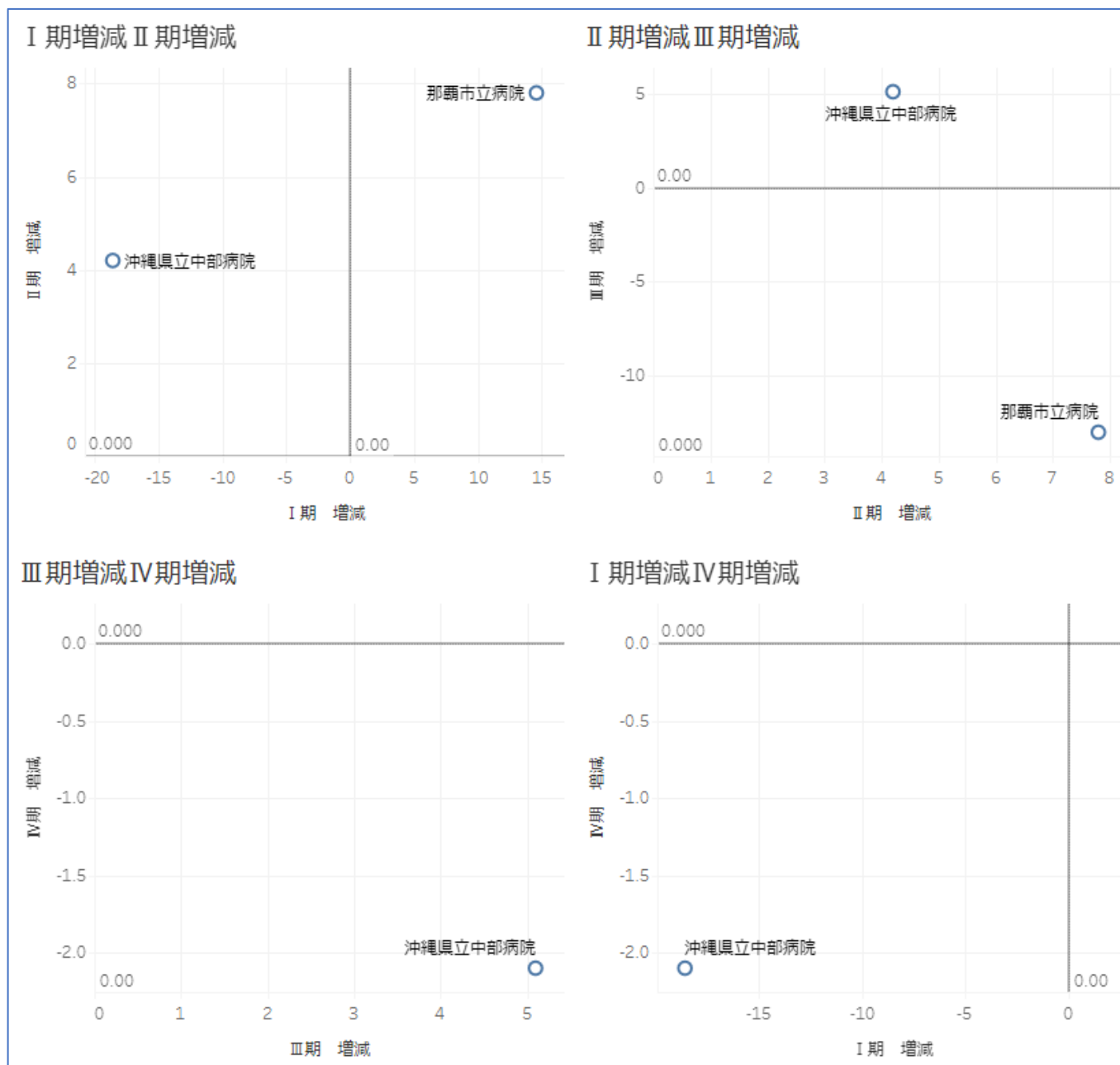
III 期増減 IV 期増減

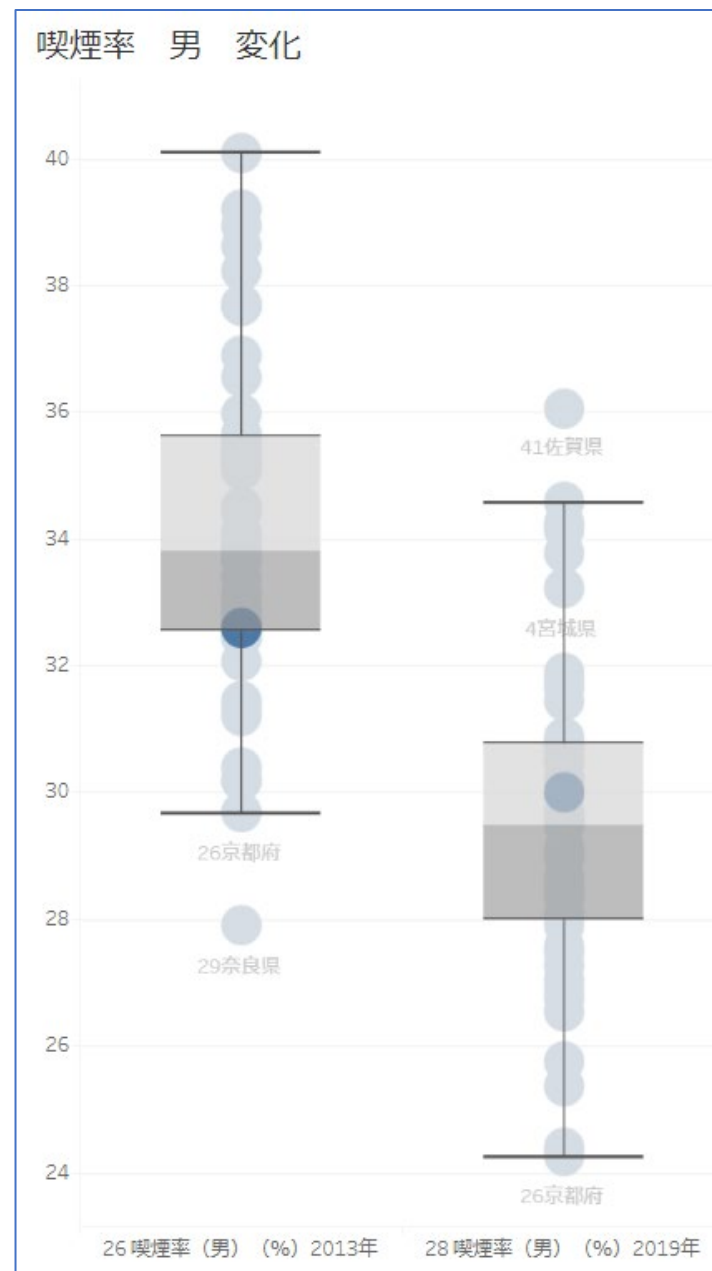
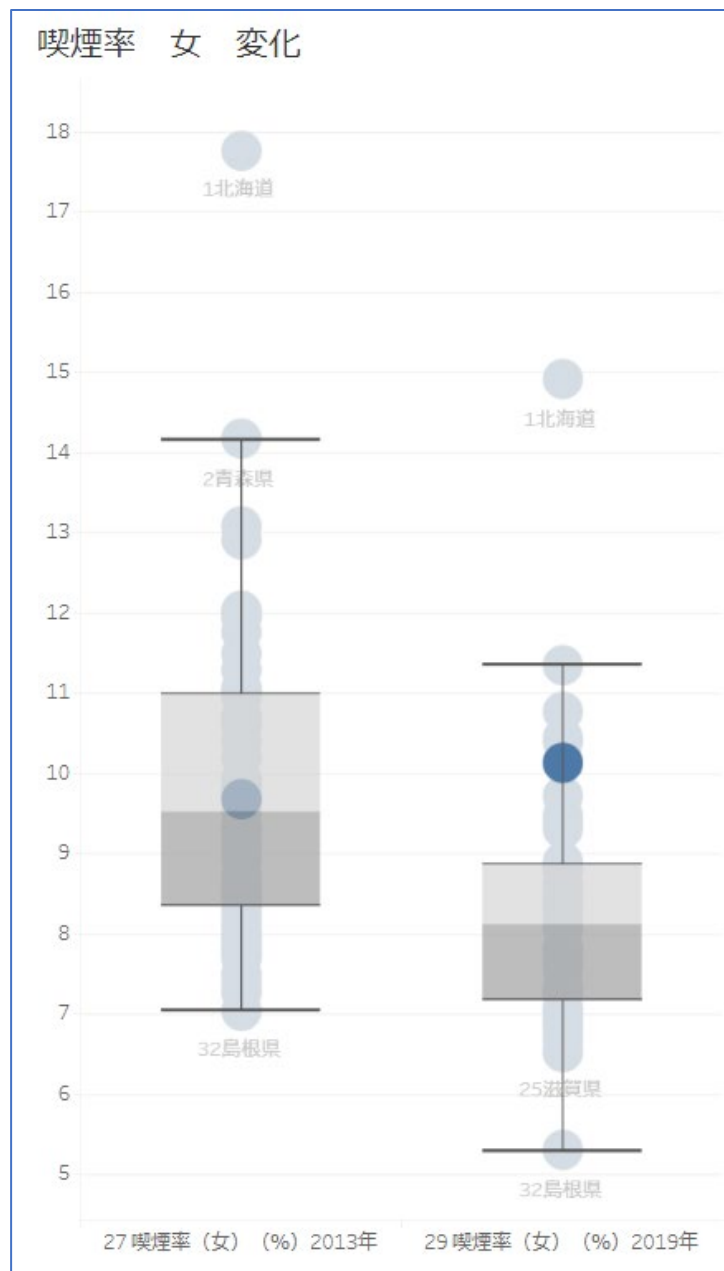


I 期増減 IV 期増減

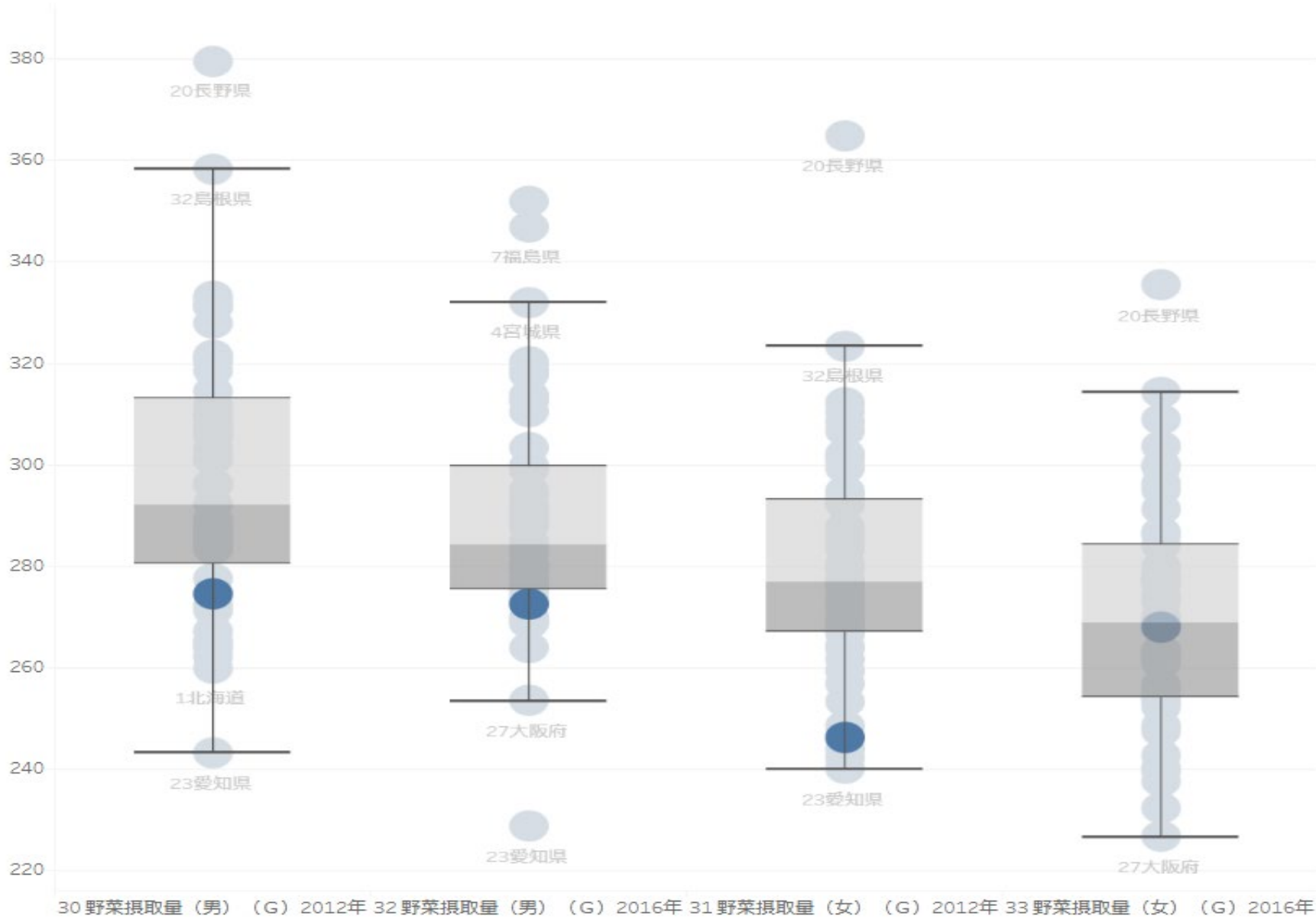


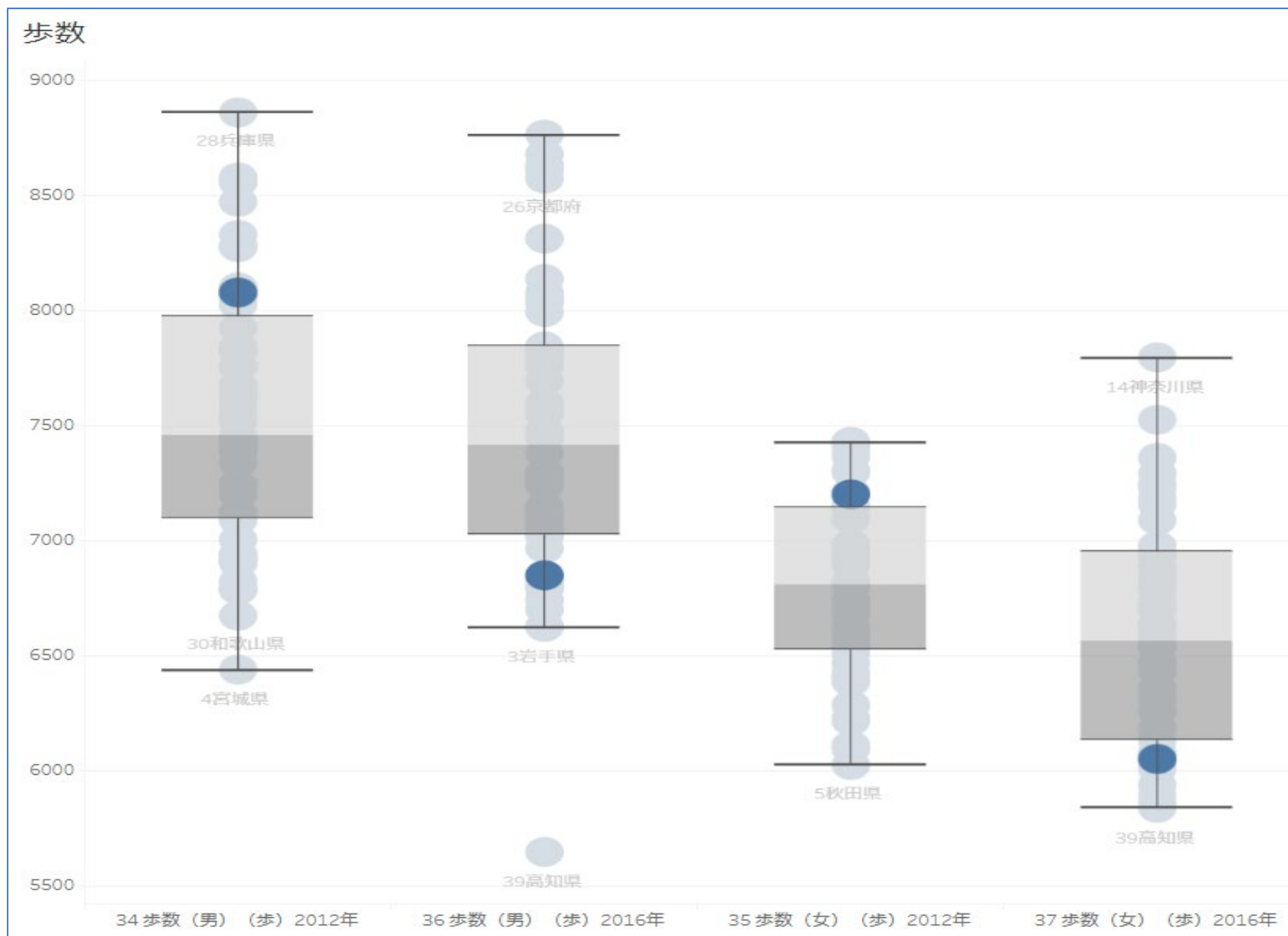
施設別5年生存率 2010-2011年⇒2013-2014年 増減 ステージ間散布図 (沖縄県)



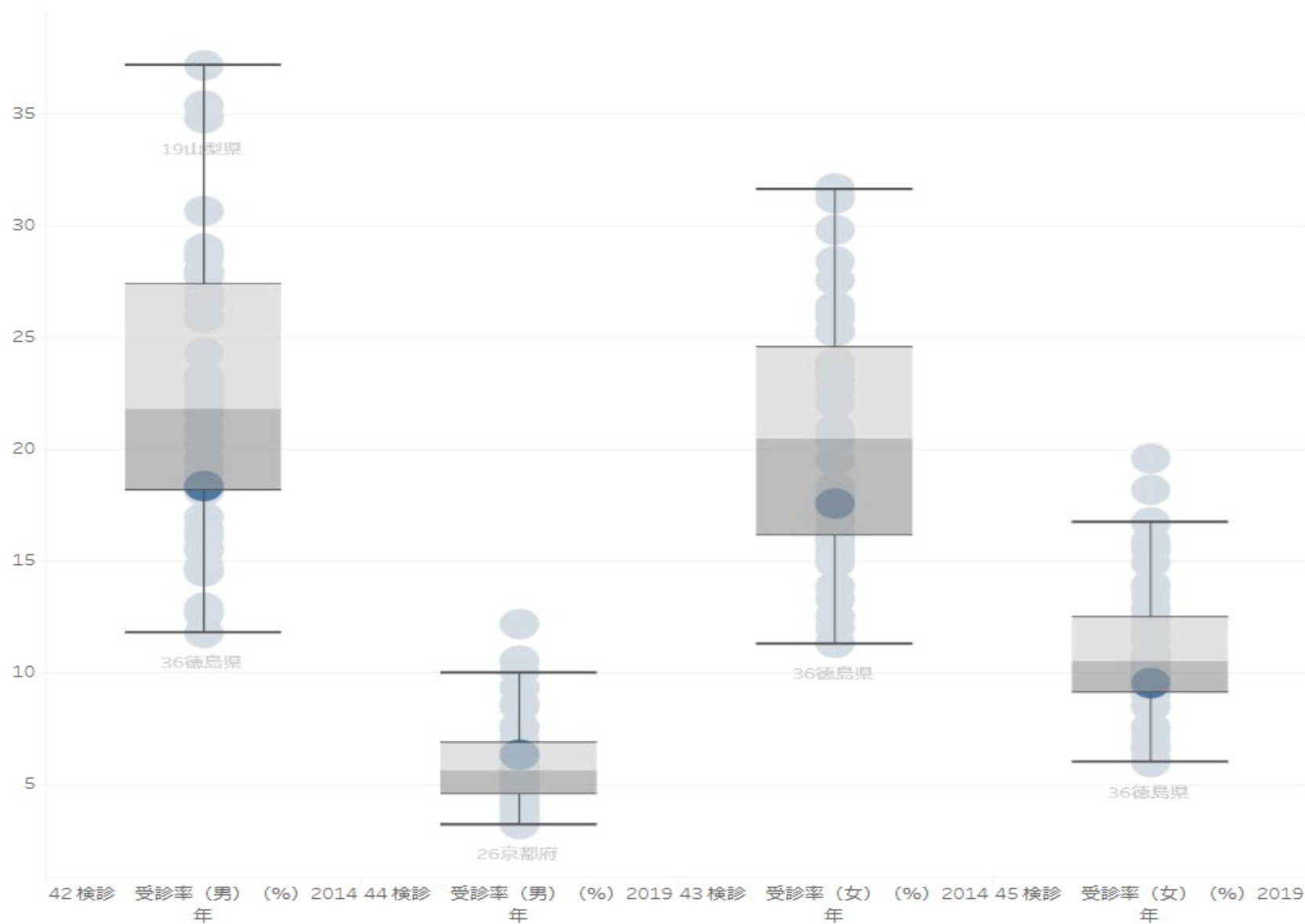


野菜摂取

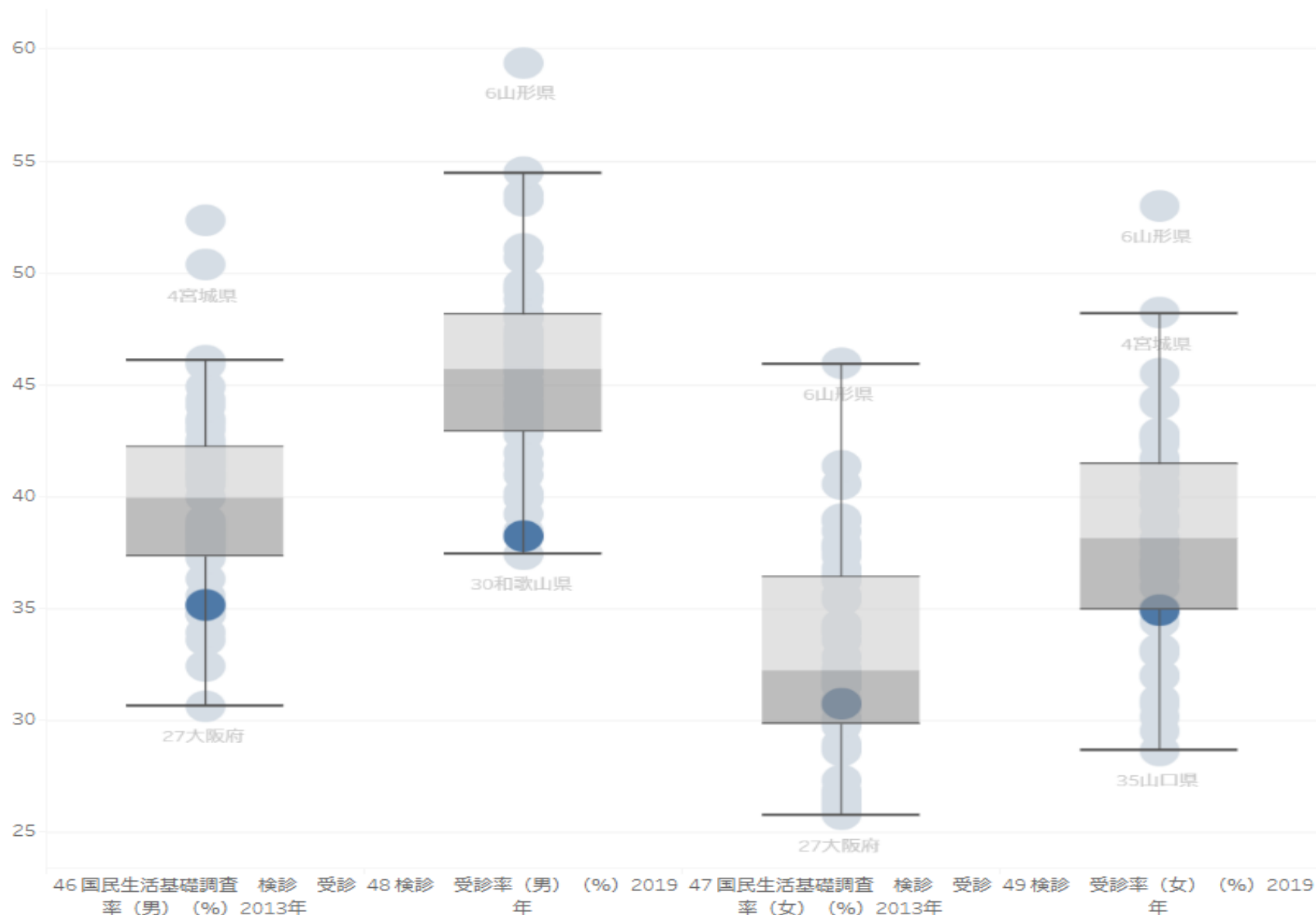




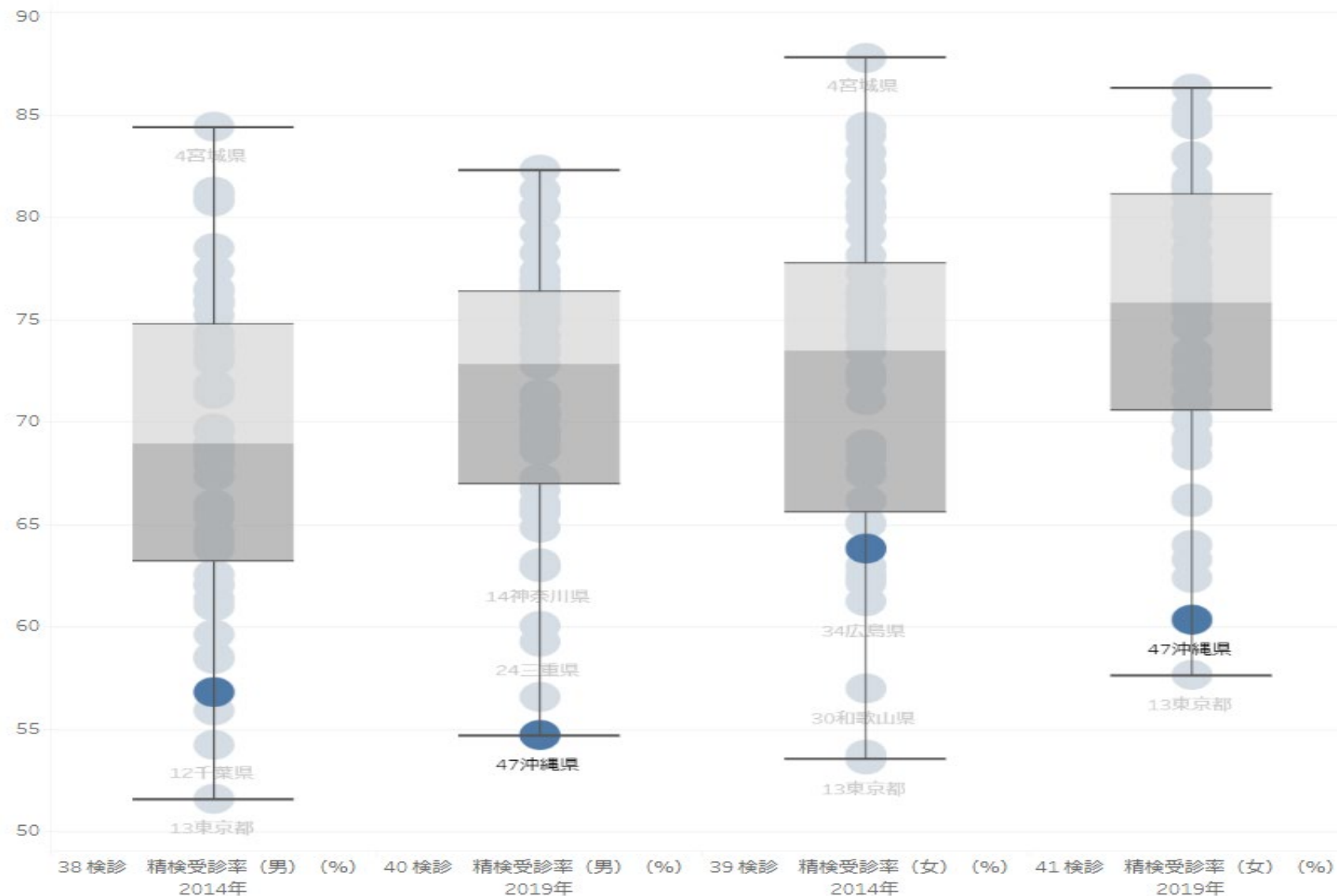
検診受診率

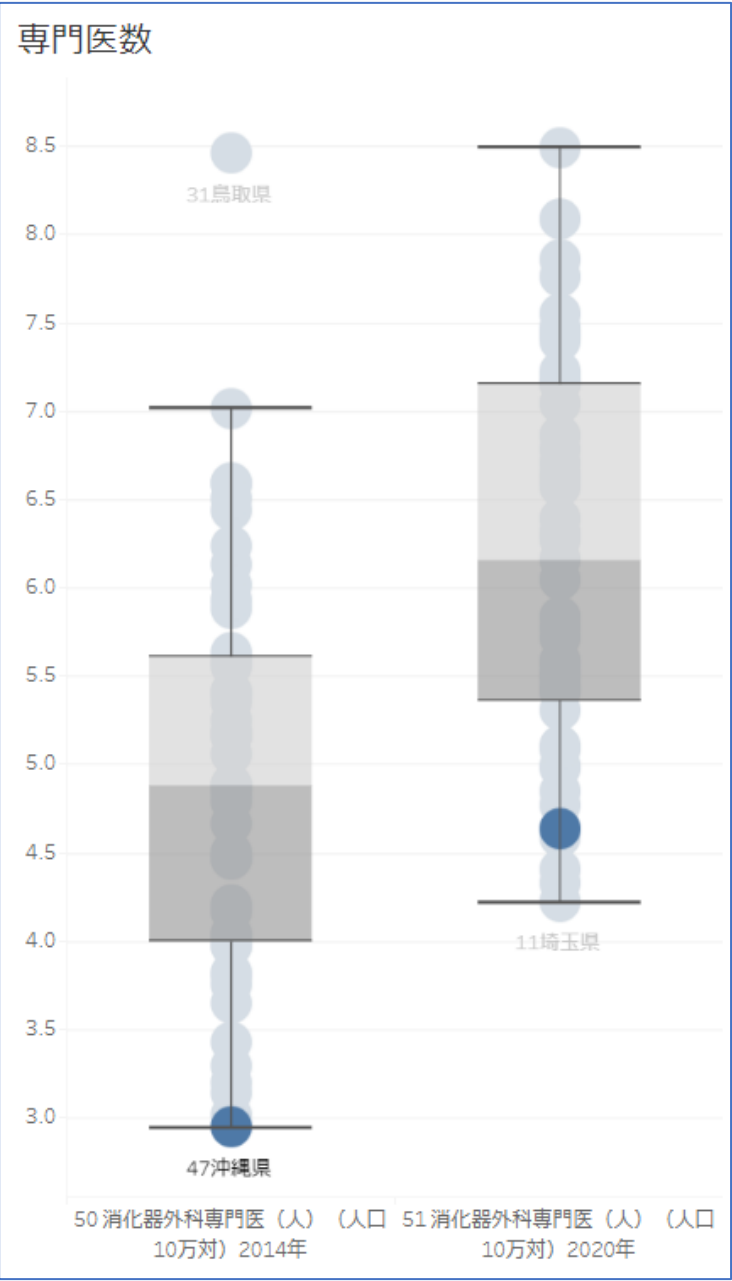


検診受診率（国民生活基礎調査）

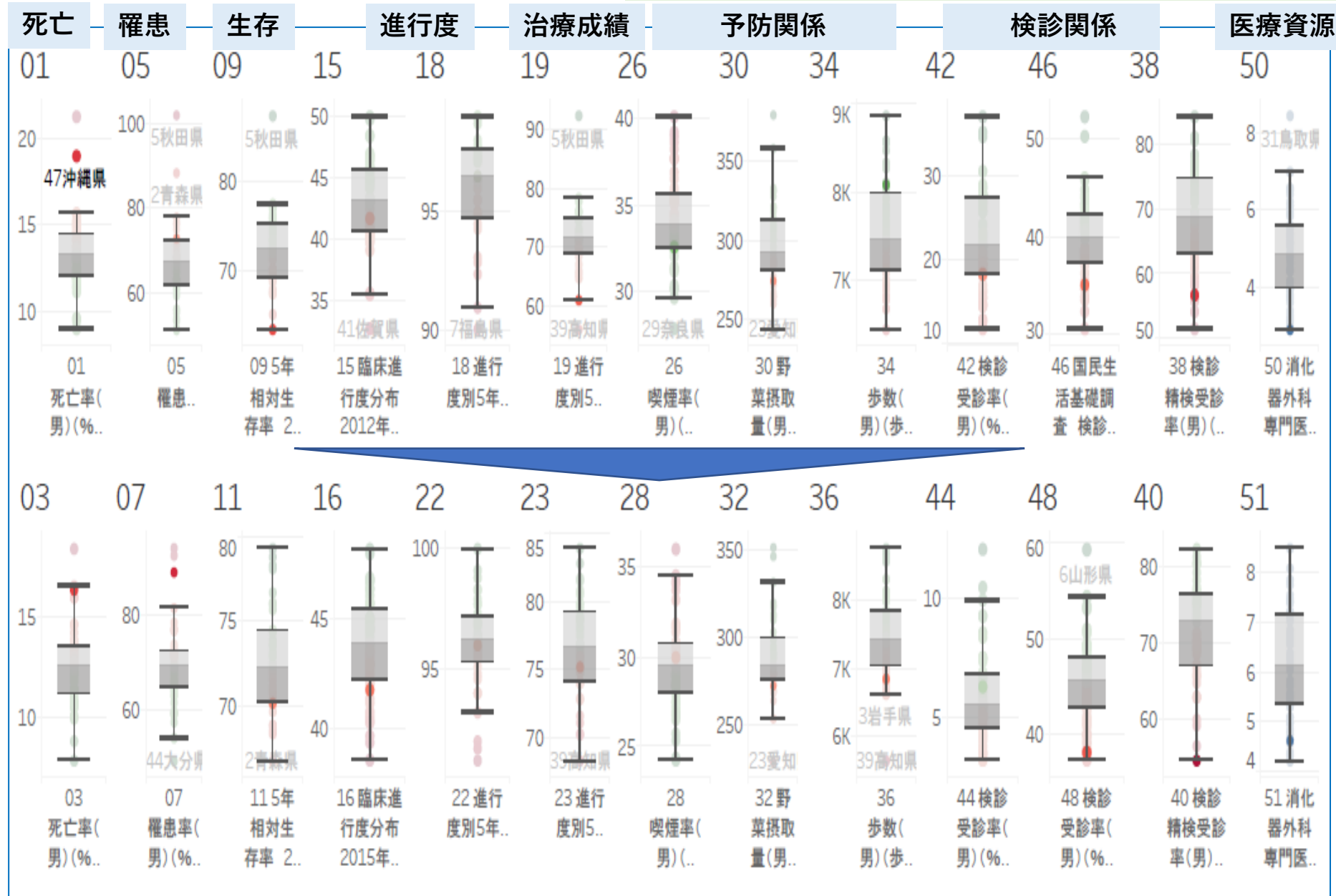


精検受診率

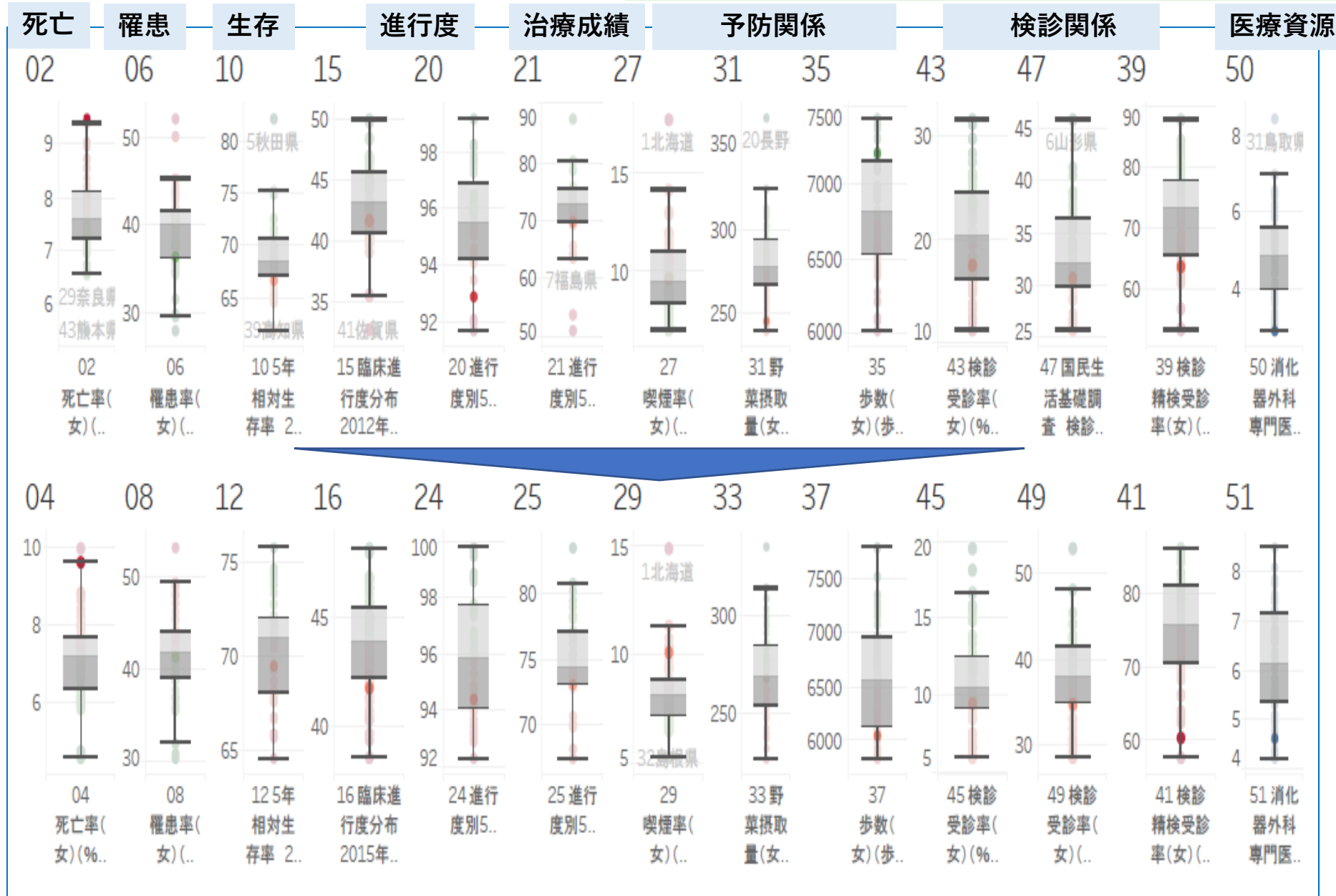




大腸がん 沖縄県 男 前（上）と後（下）



大腸がん 沖縄県 女 前（上）と後（下）



がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

個別施策	指標

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率
	<柱2>

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率
	<柱1>

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率
	<柱4>

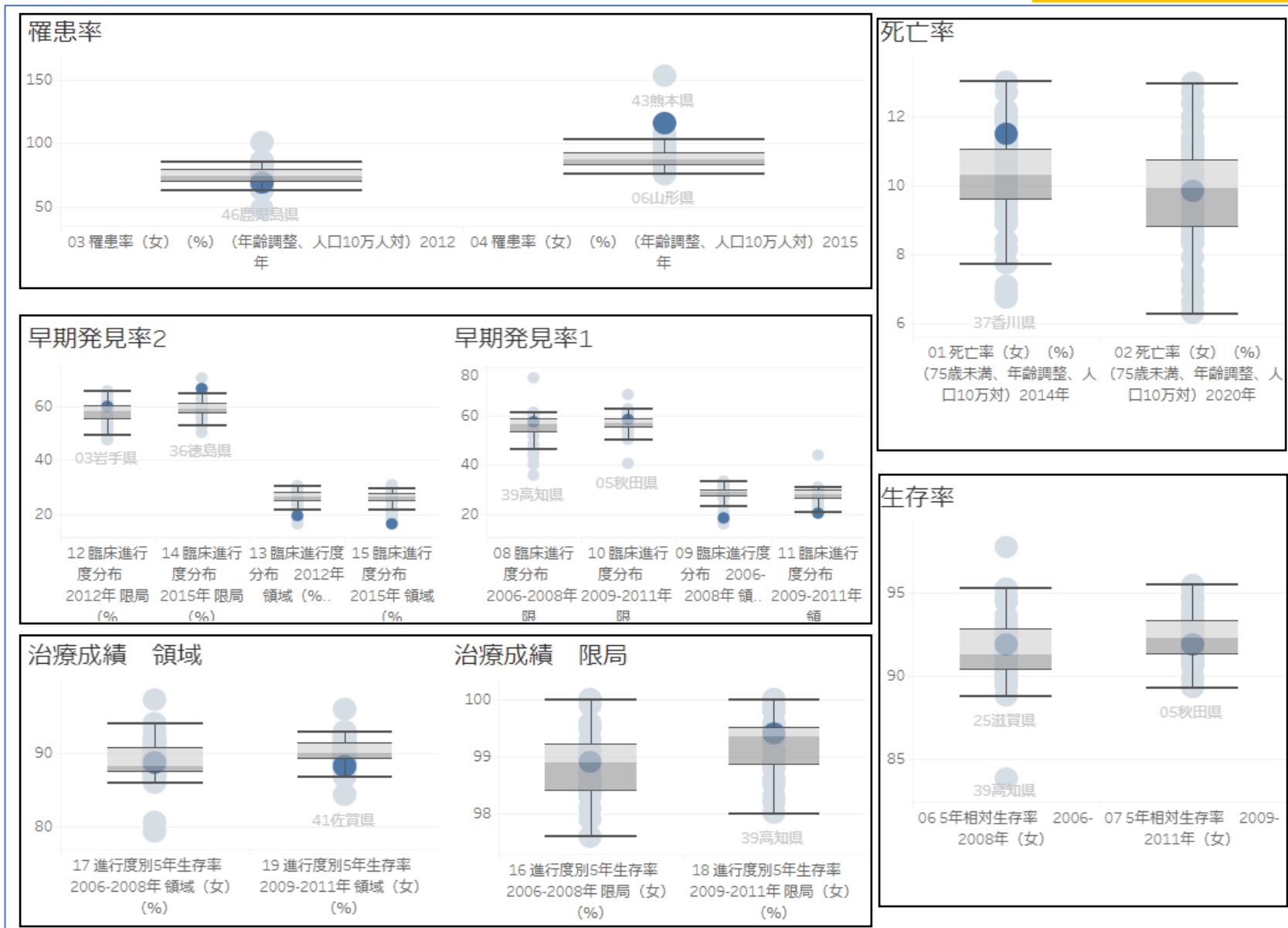
生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率
	<柱3>

個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

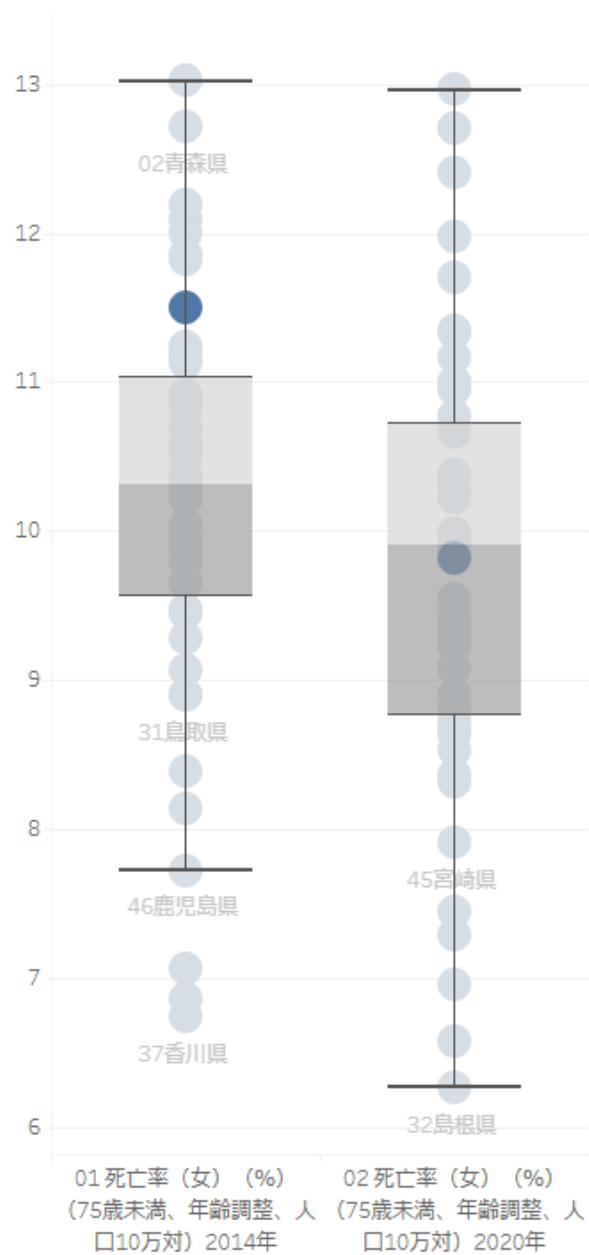
治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率
	<柱5>

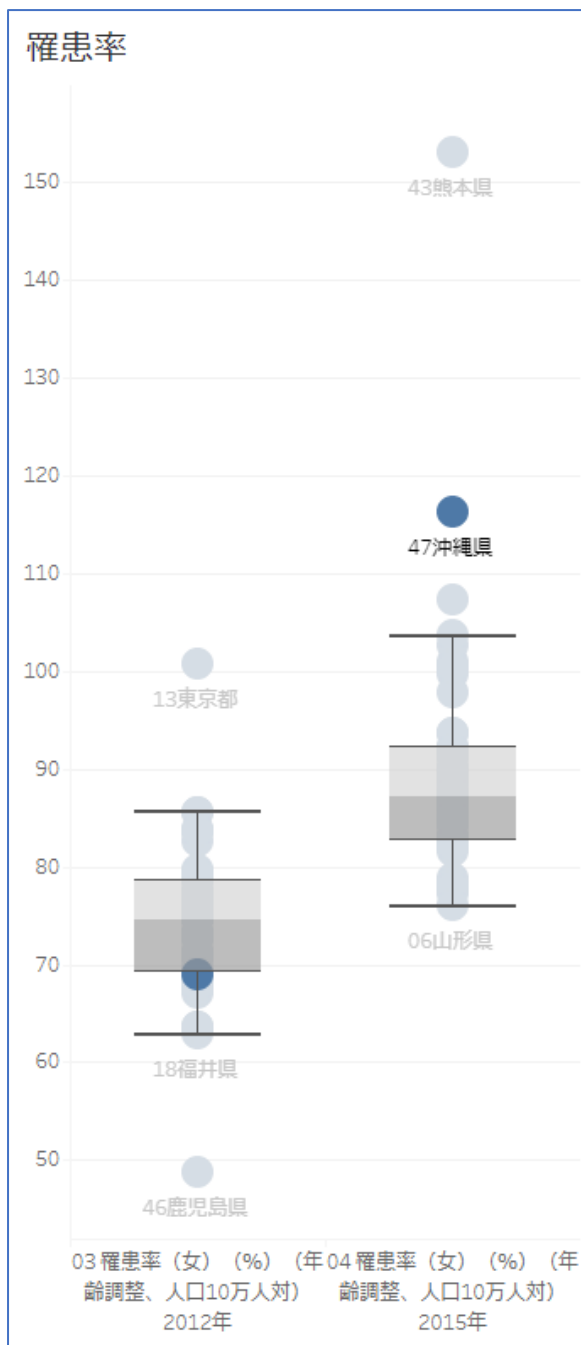
以後、この配置に沿って確認していきます

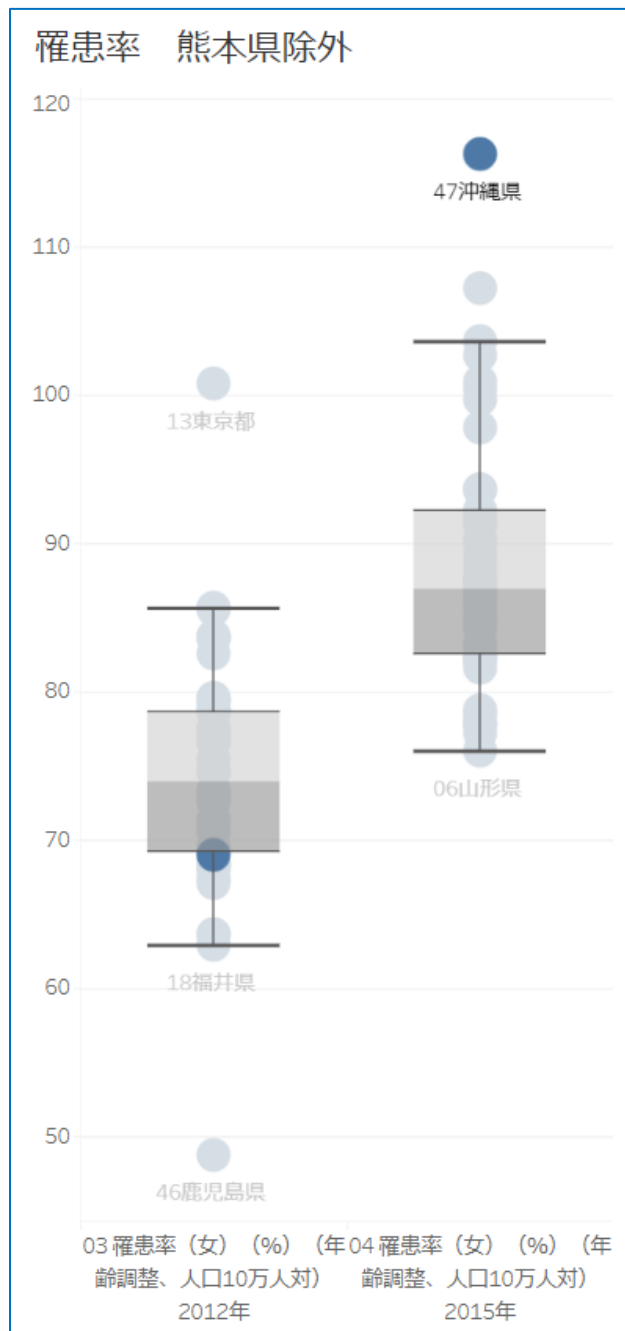


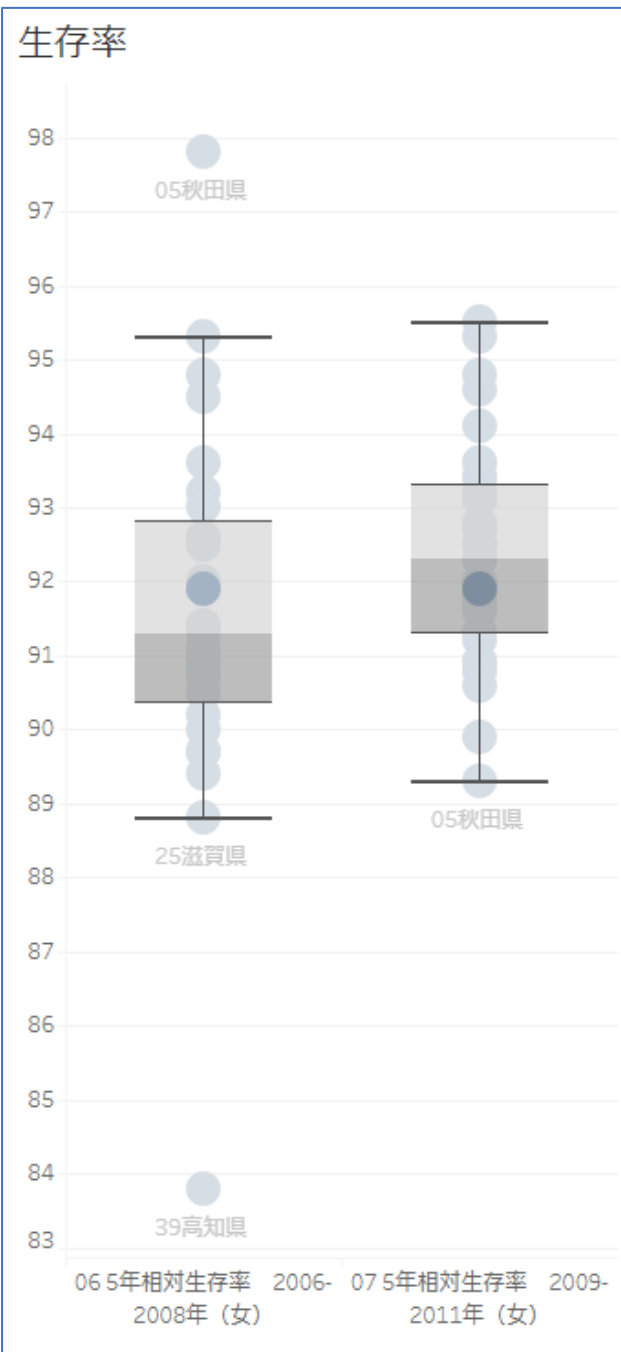
次ページから部分拡大図

死亡率

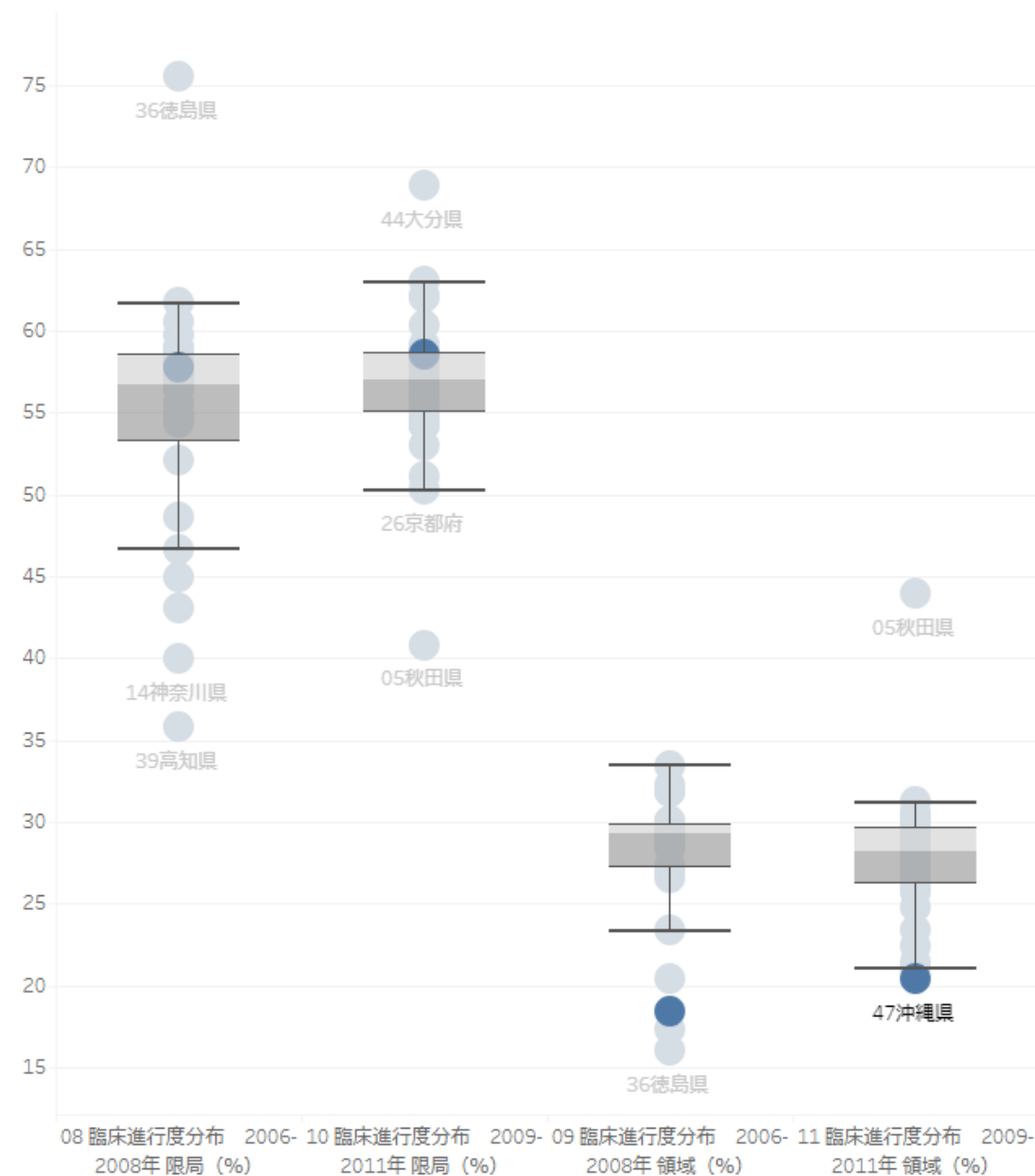




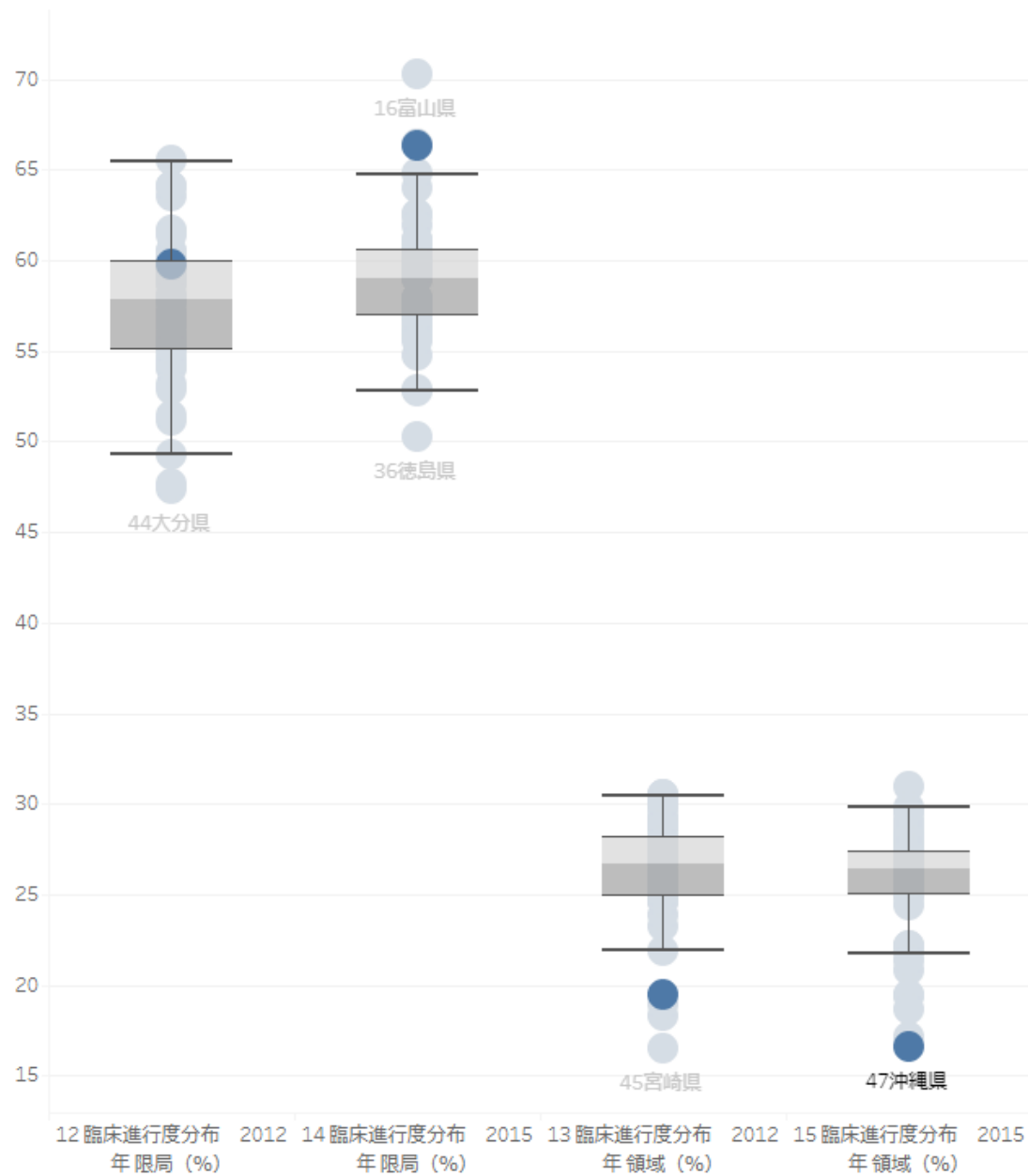




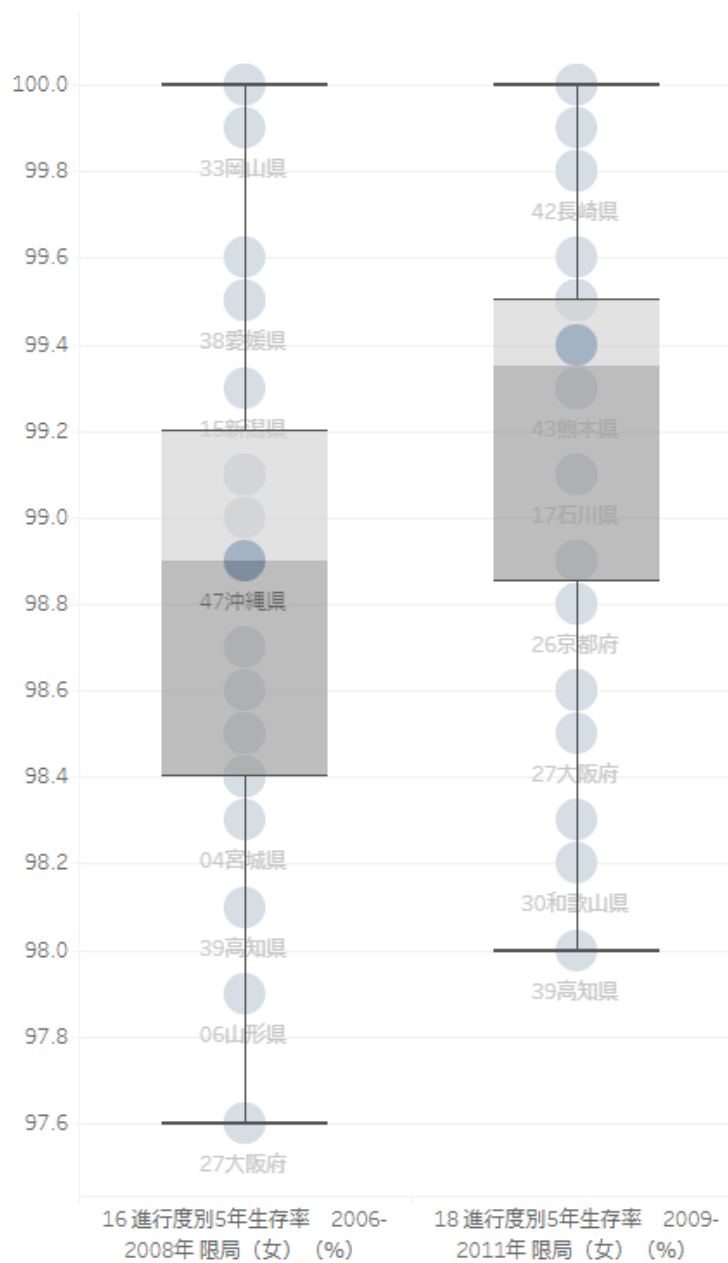
早期発見率1

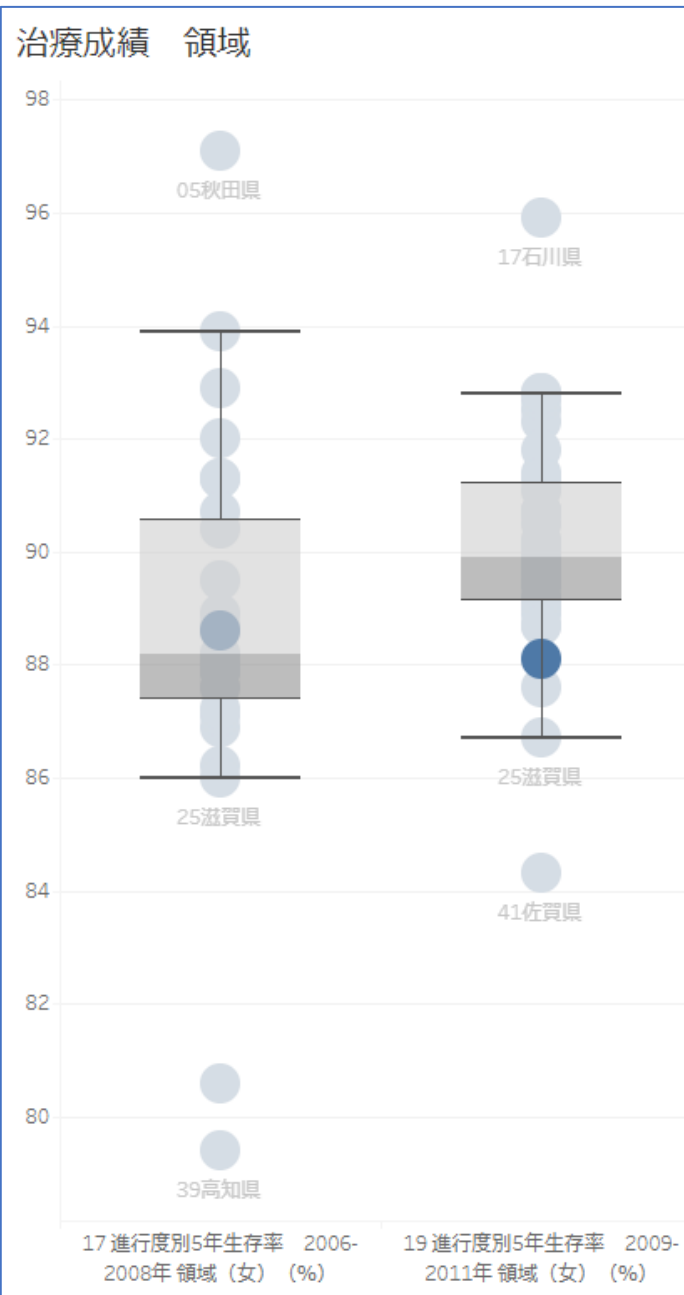


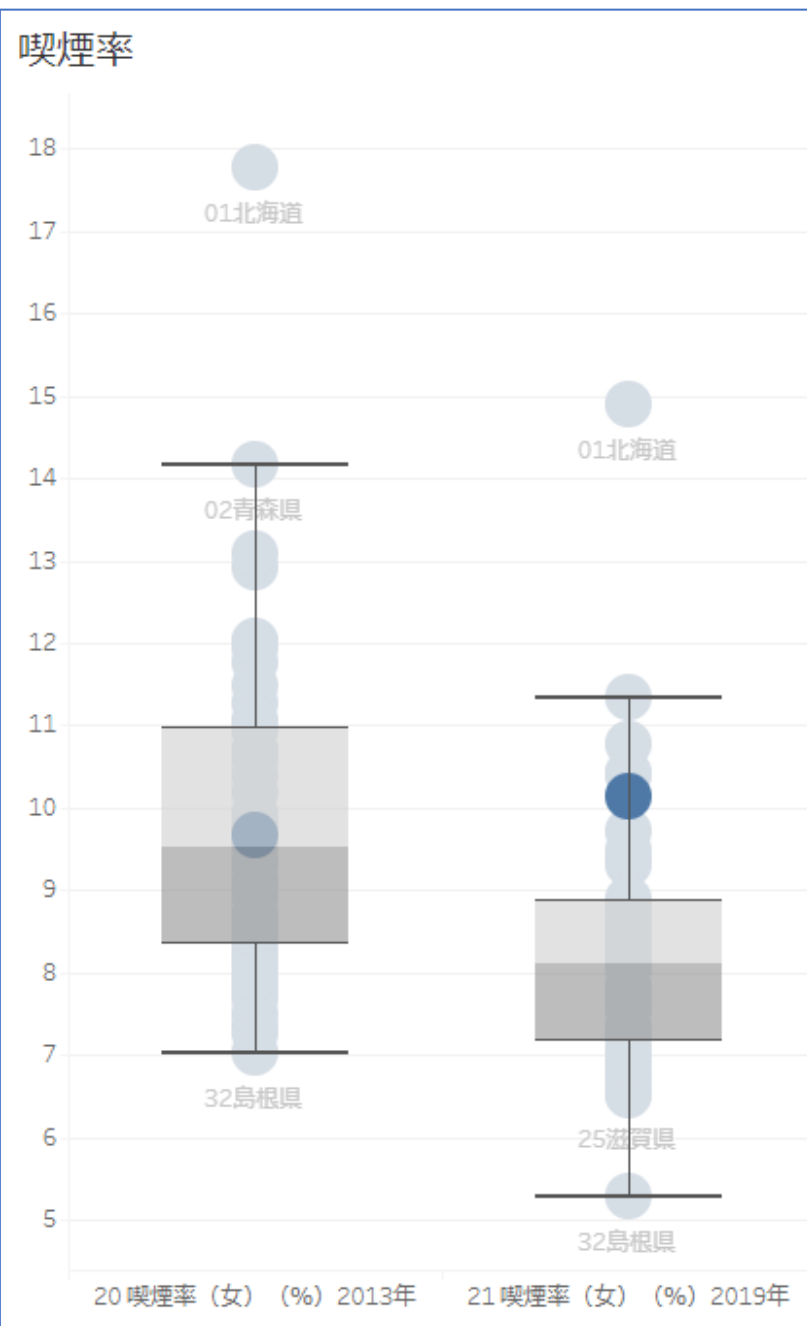
早期発見率2

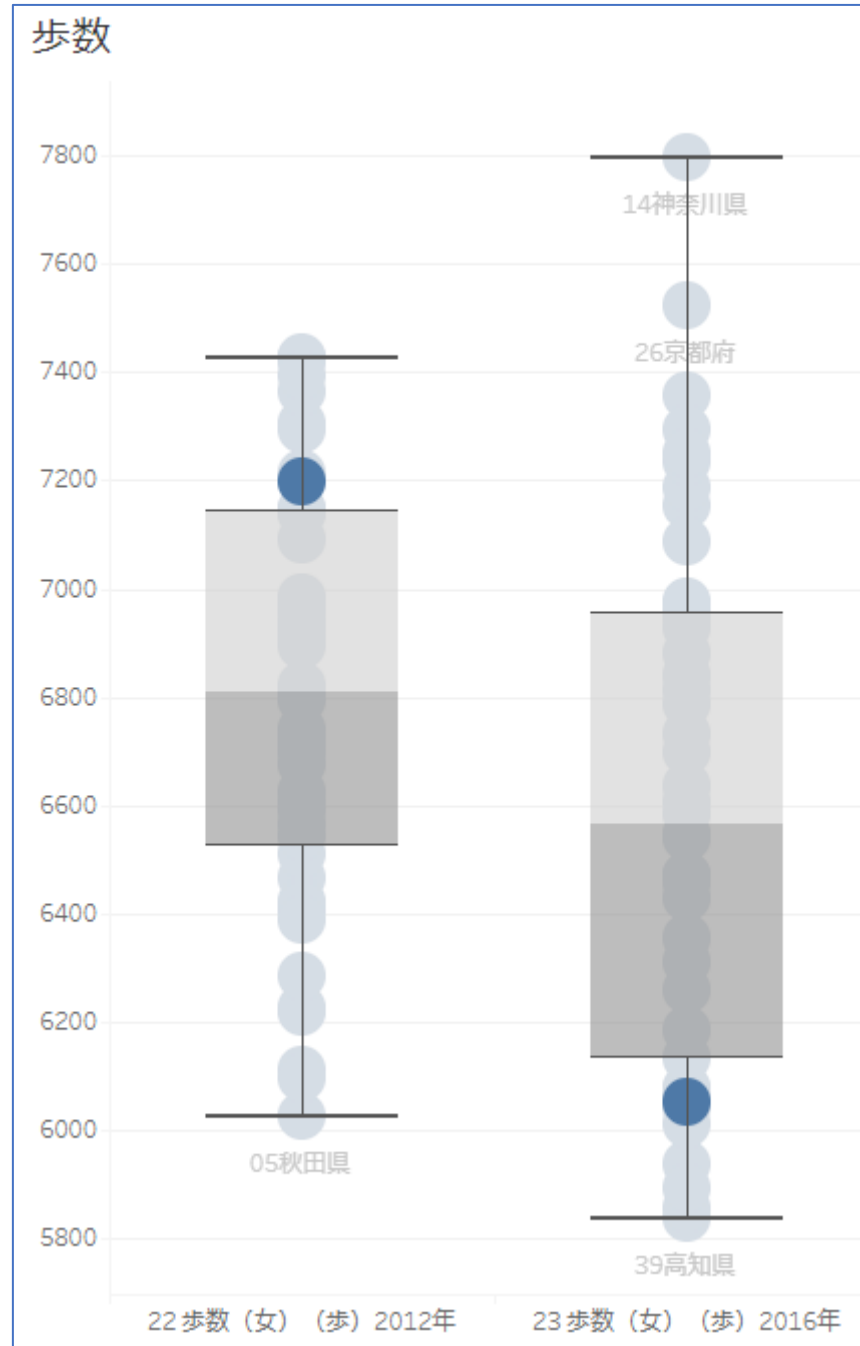


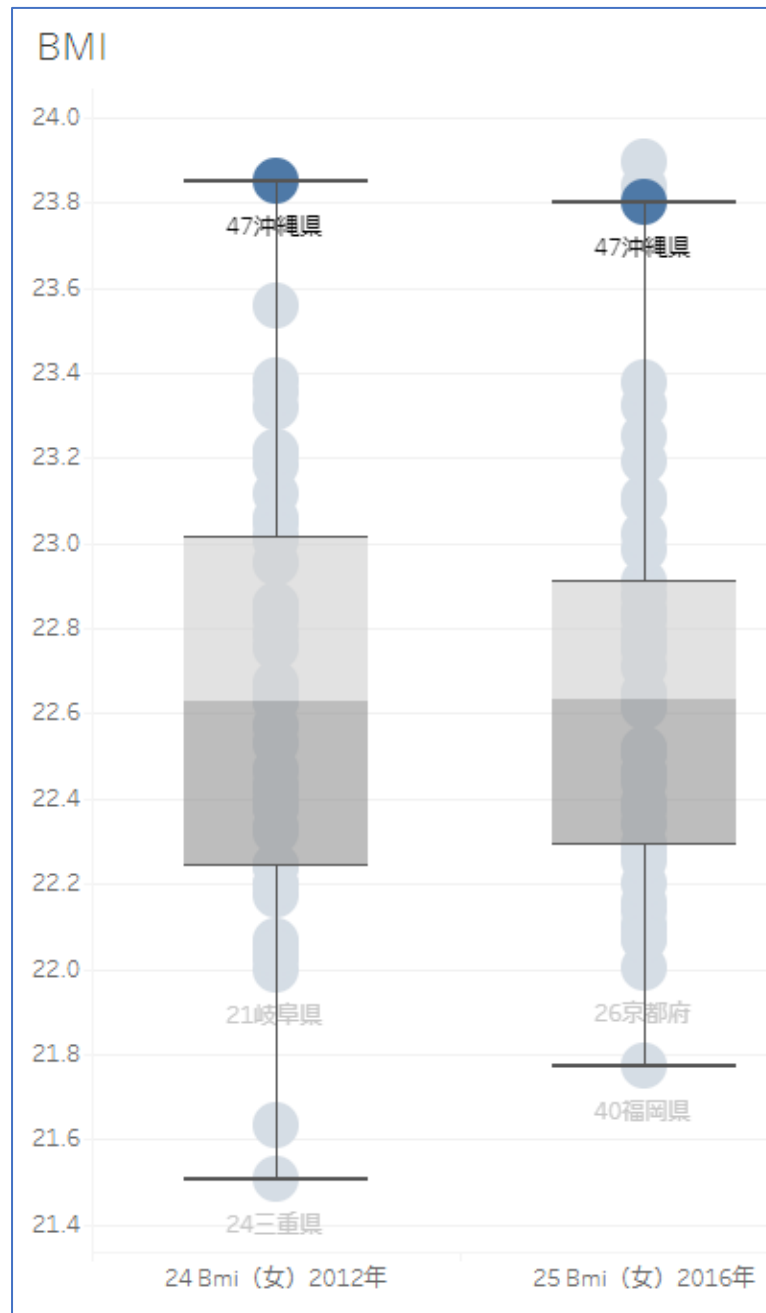
治療成績 限局

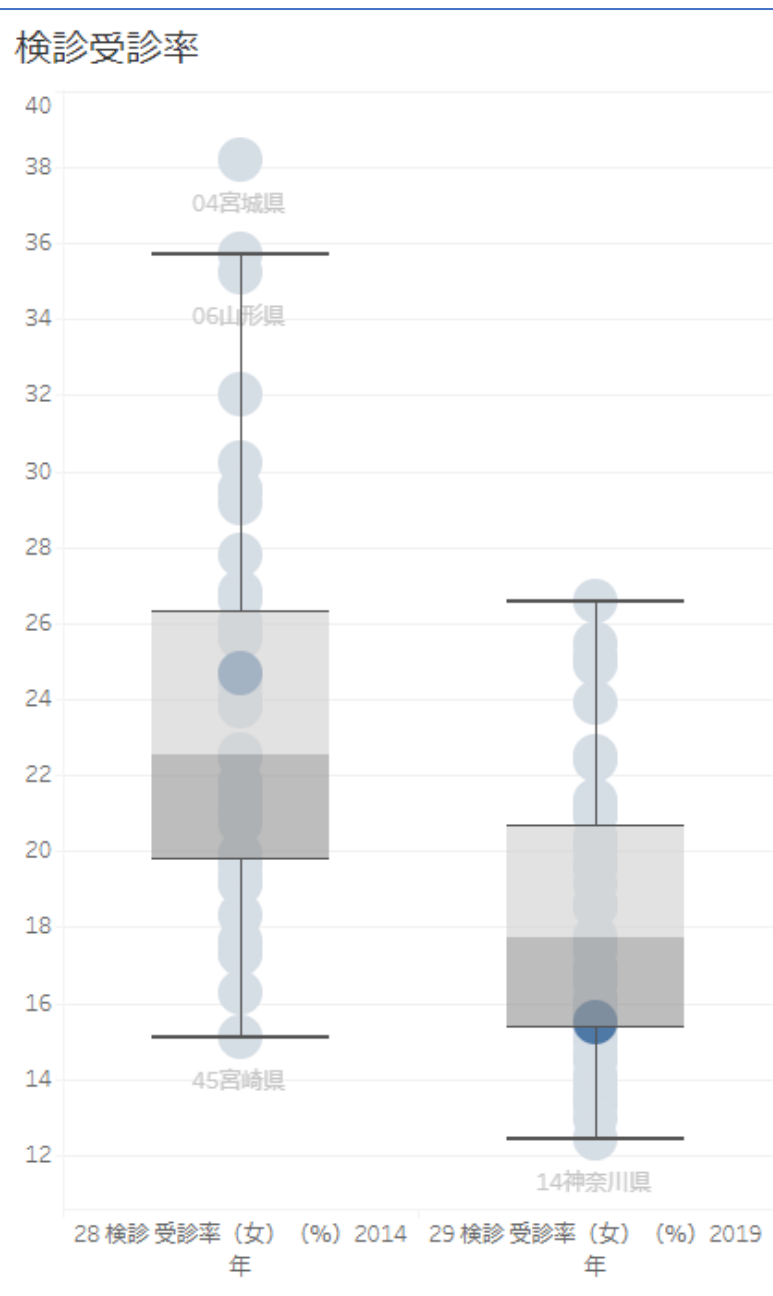




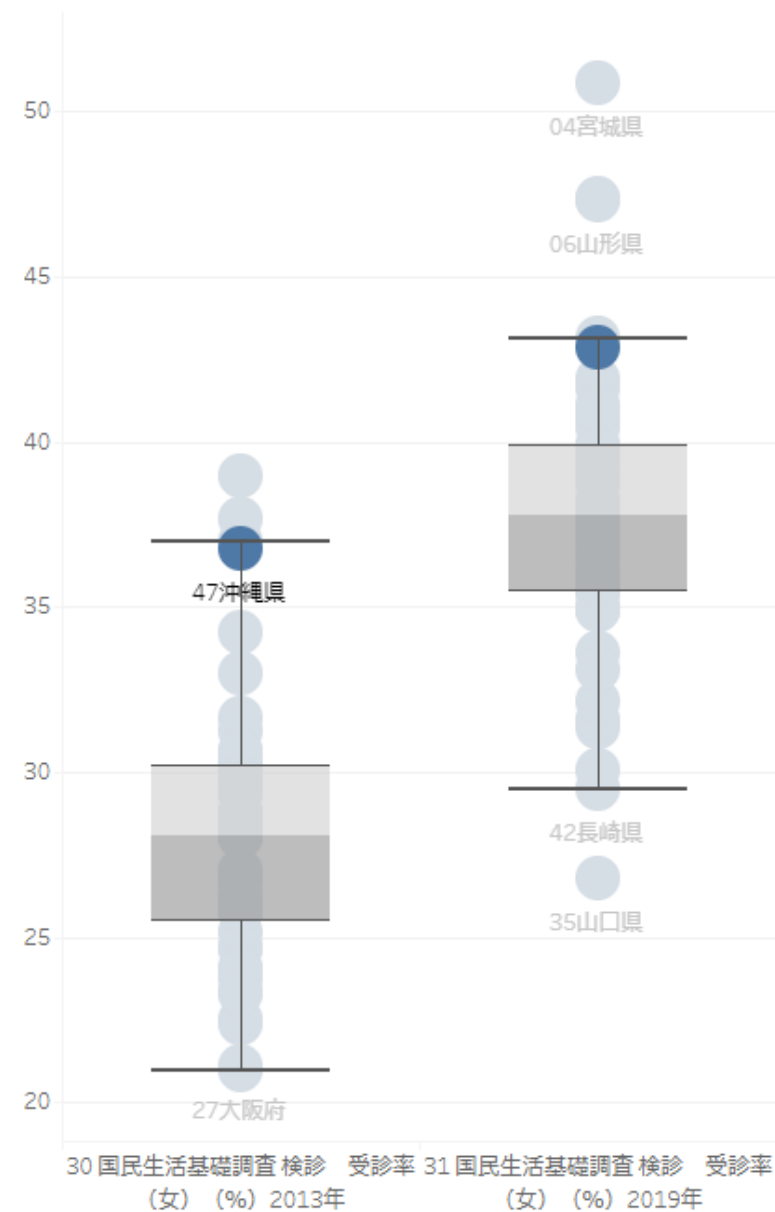




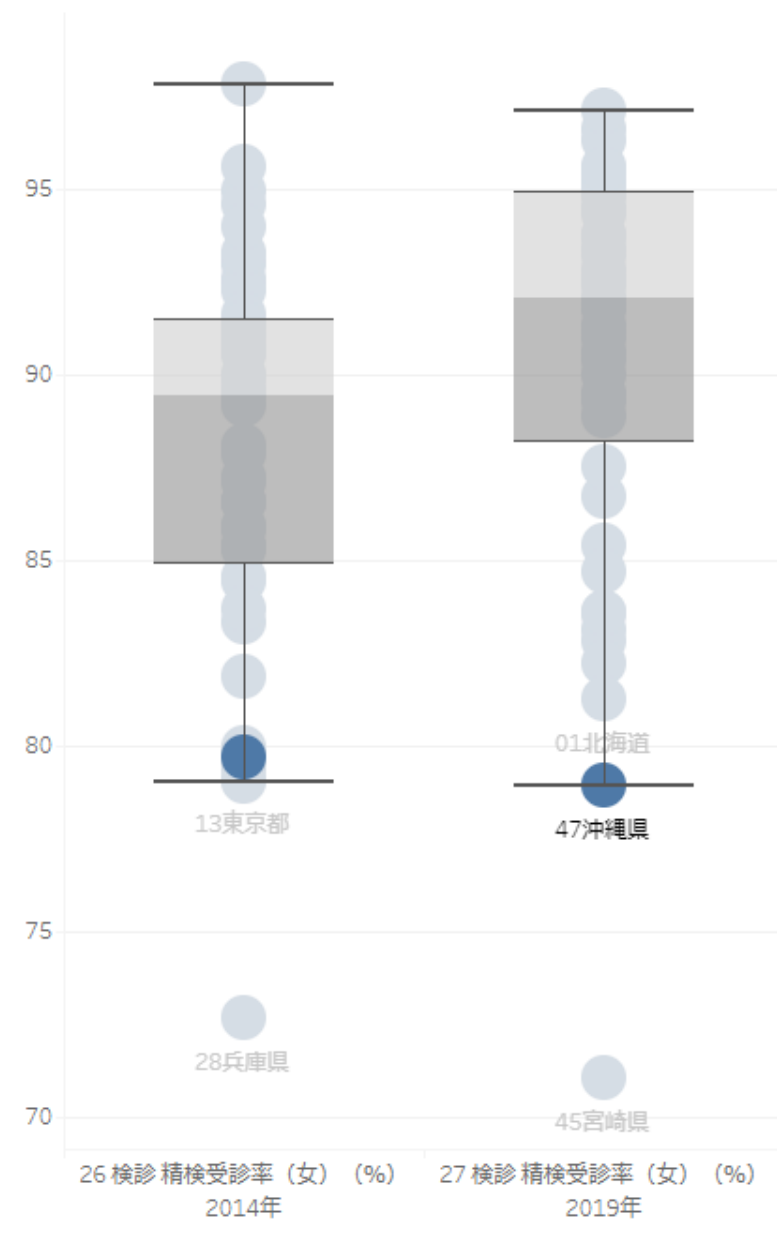




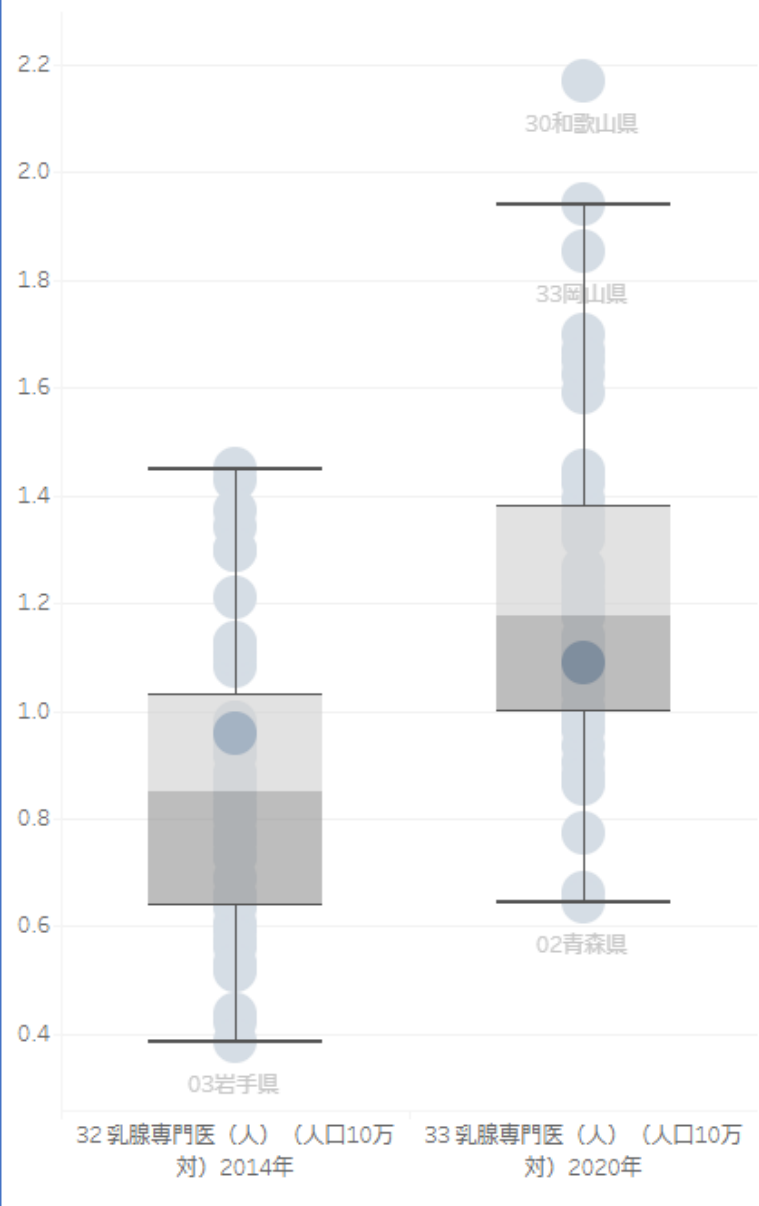
国民生活基礎調査 受診率



精検受診率



専門医数



がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

個別施策	指標

予防対策	指標
	<柱6>
	<柱6>

罹 患	指標
罹患が減少している	罹患率
	<柱2>

死 亡	指標
死亡が減っている	死亡率
	<柱1>

個別施策	指標

早期発見対策	指標
	<柱7>
	<柱7>

早期発見	指標
早期発見が高まっている	早期発見率
	<柱4>

生 存	指標
生存が高まっている	5年生存率
	<柱3>

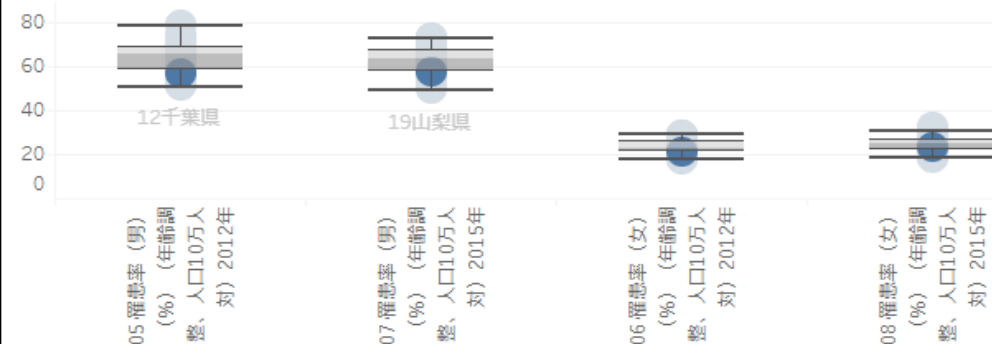
個別施策	指標

医療の質対策	指標
	<柱8>
	<柱8>

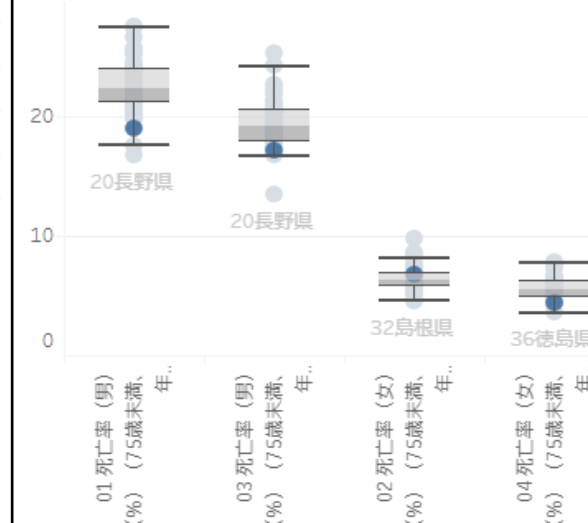
治 療	指標
治療の質が高まっている	進行度別5年生存率
	<柱5>

以後、この配置に沿って確認していきます

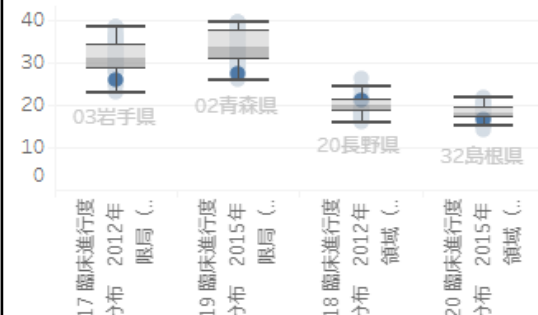
罹患率



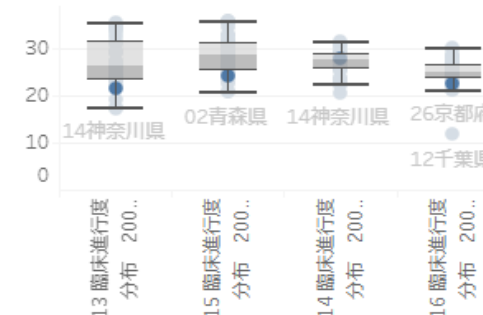
死亡率



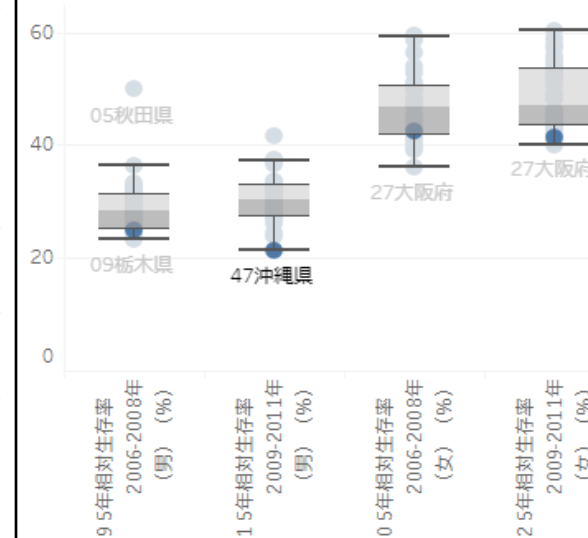
早期発見率2



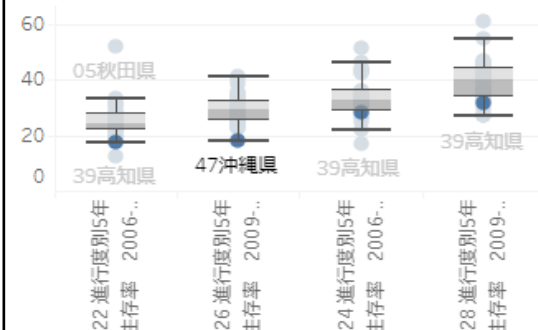
早期発見率1



生存率



治療成績 領域

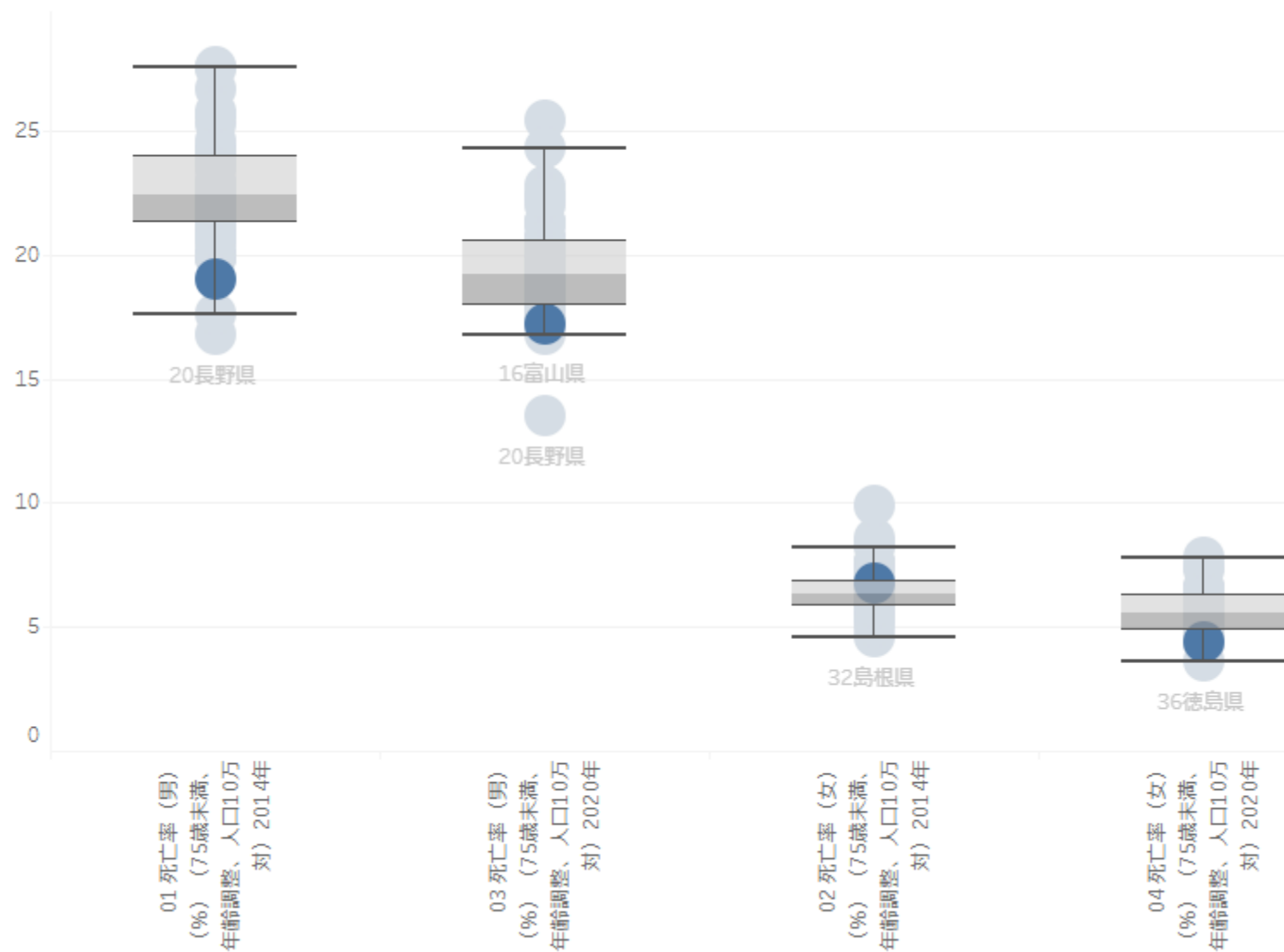


治療成績 限局

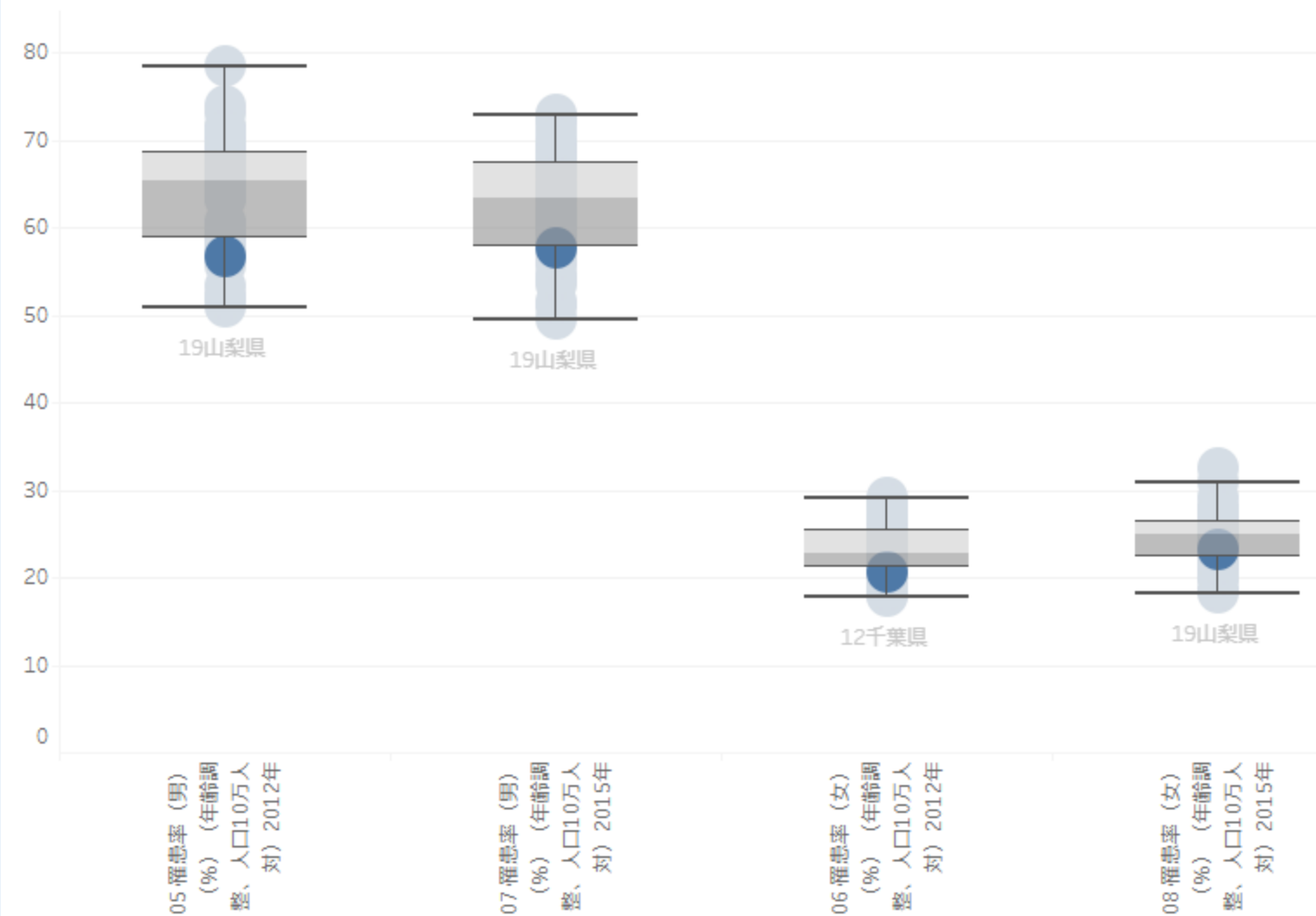


次ページから部分拡大図

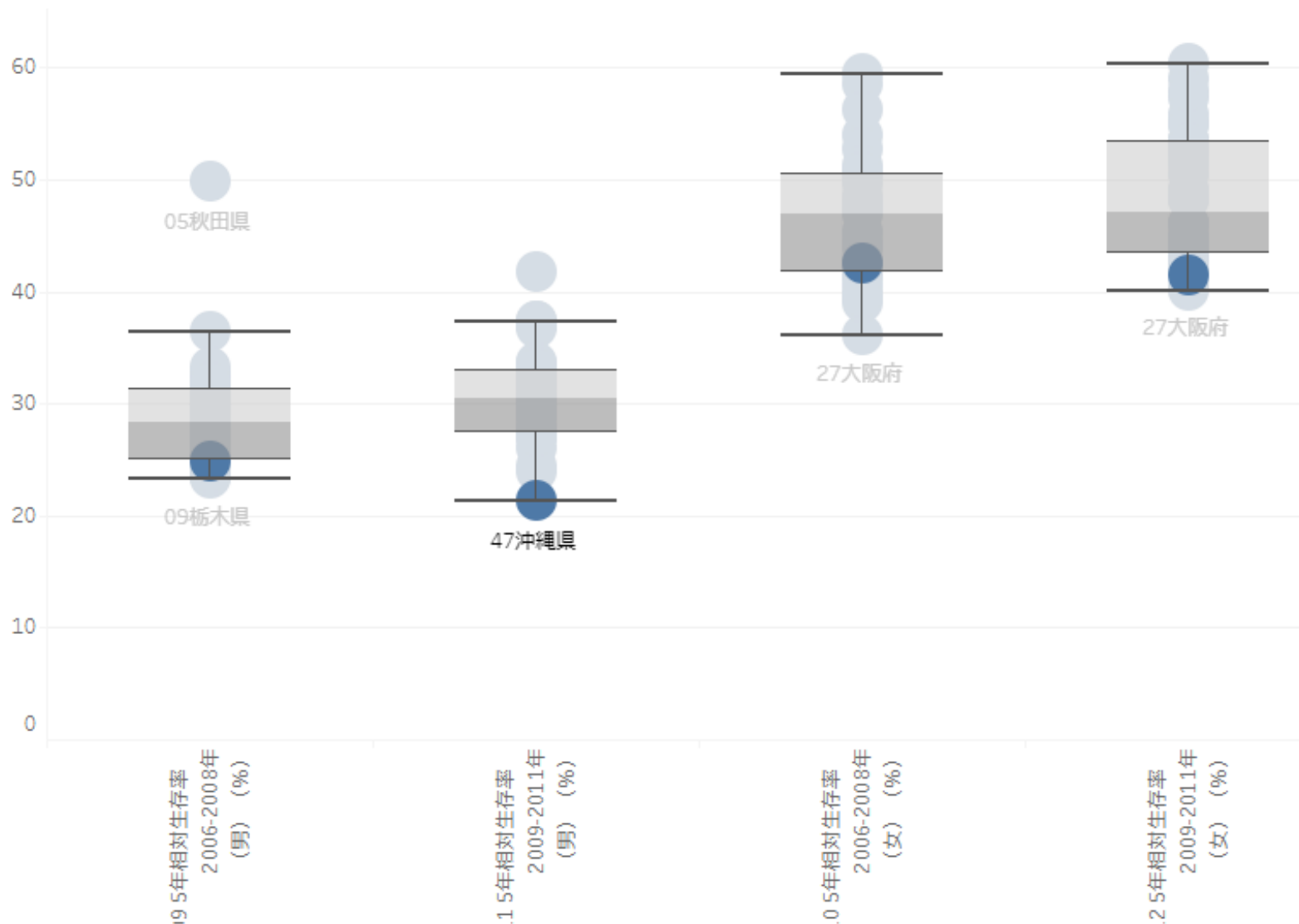
死亡率



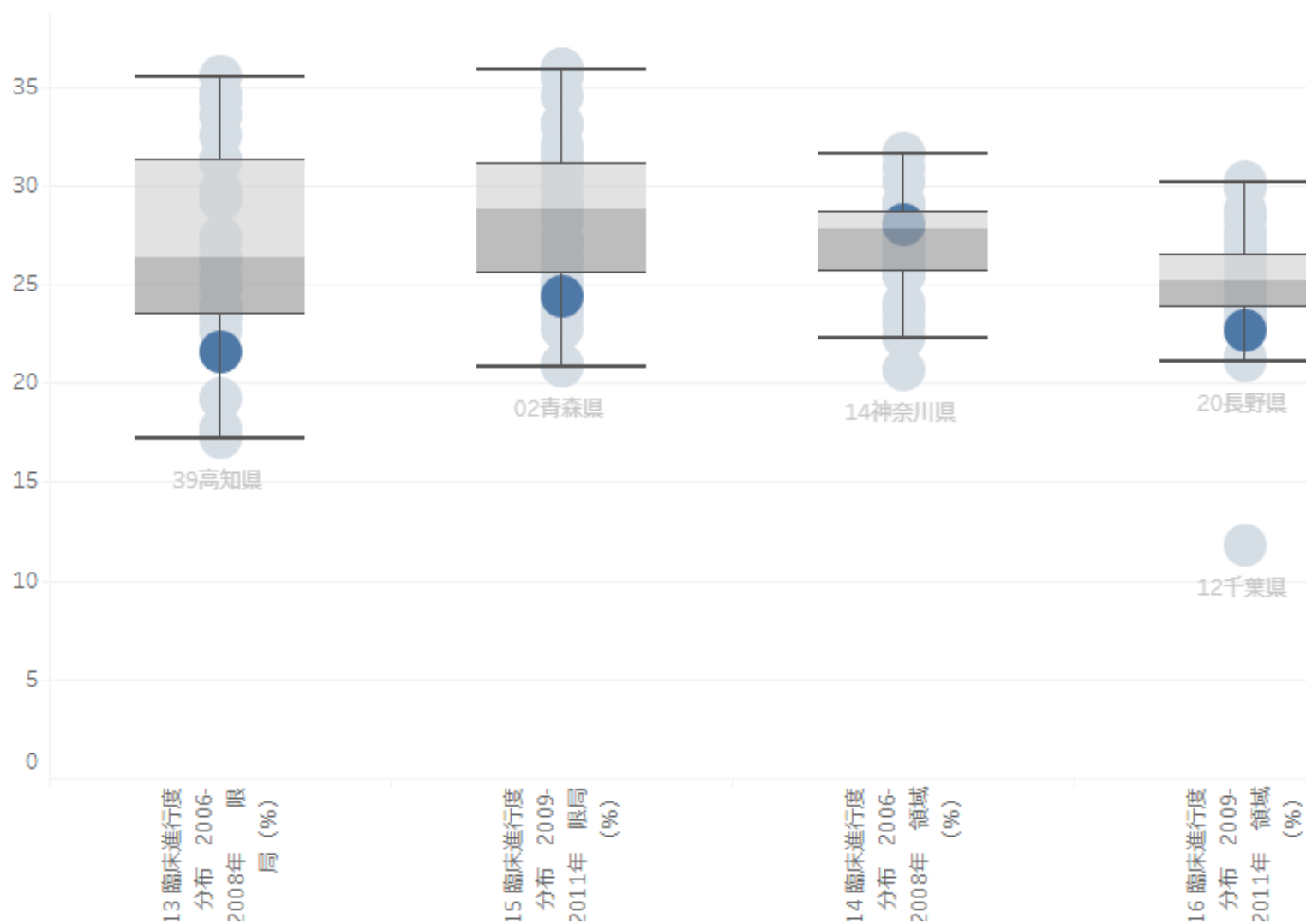
罹患率



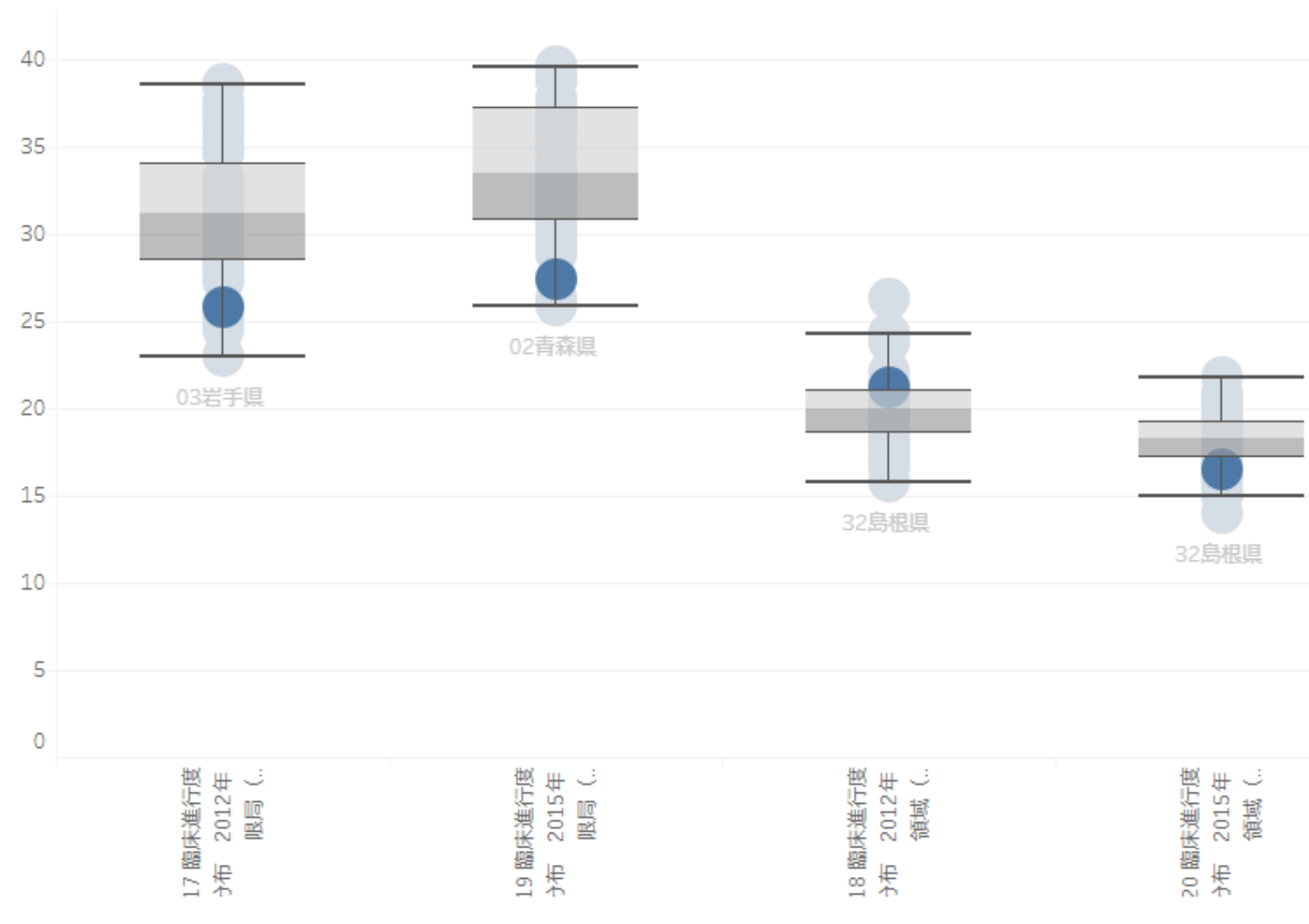
生存率



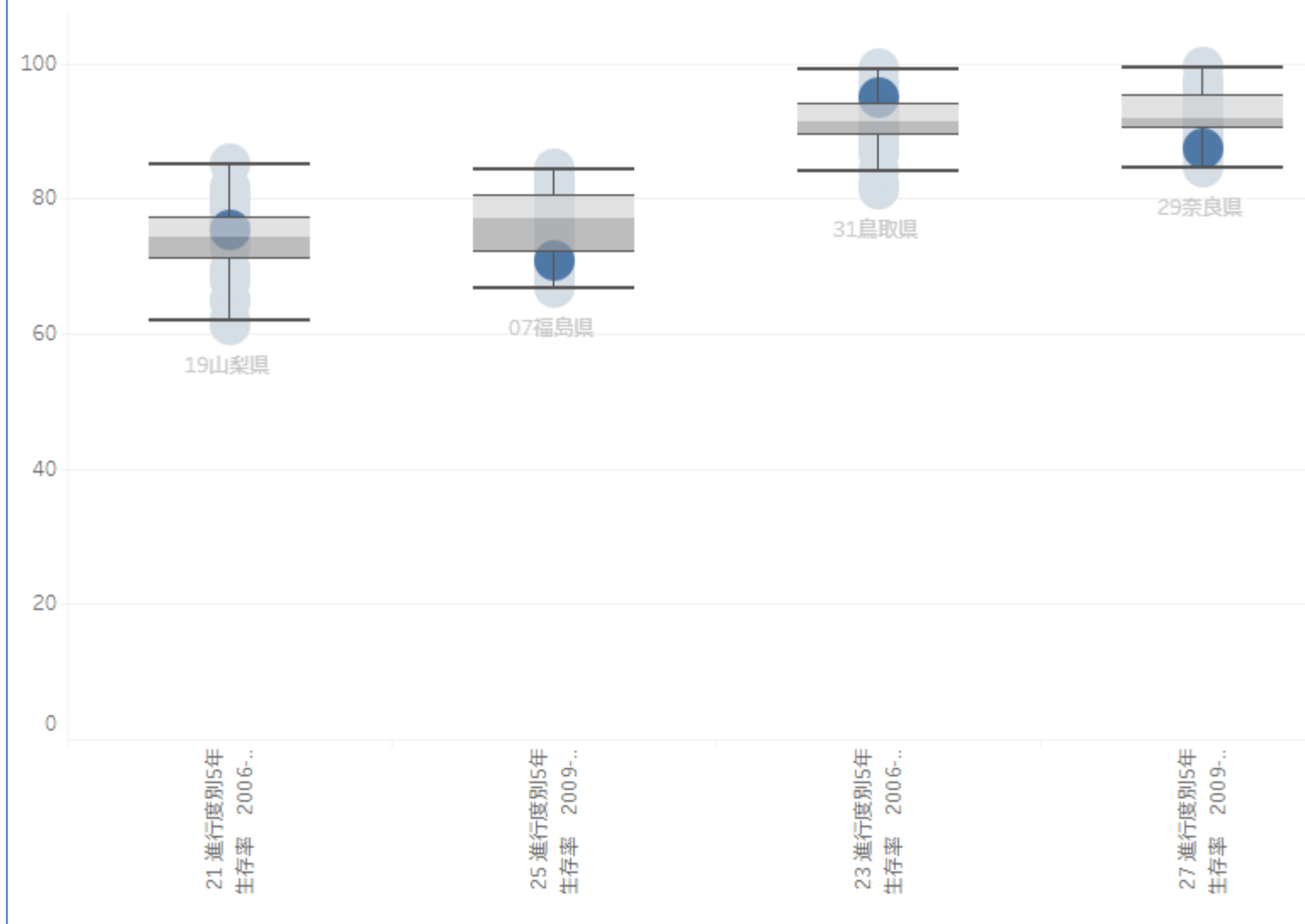
早期発見率1



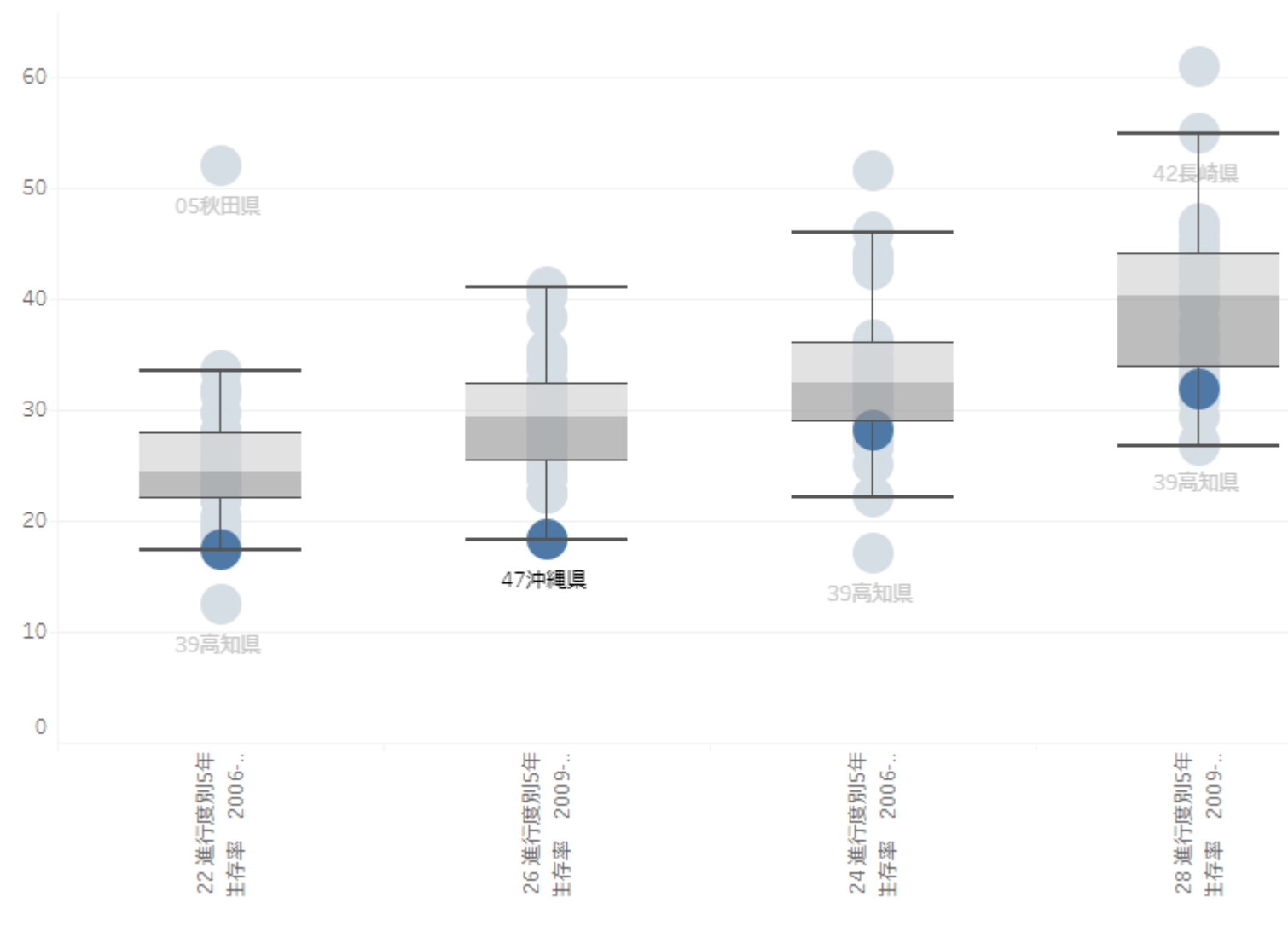
早期発見率2



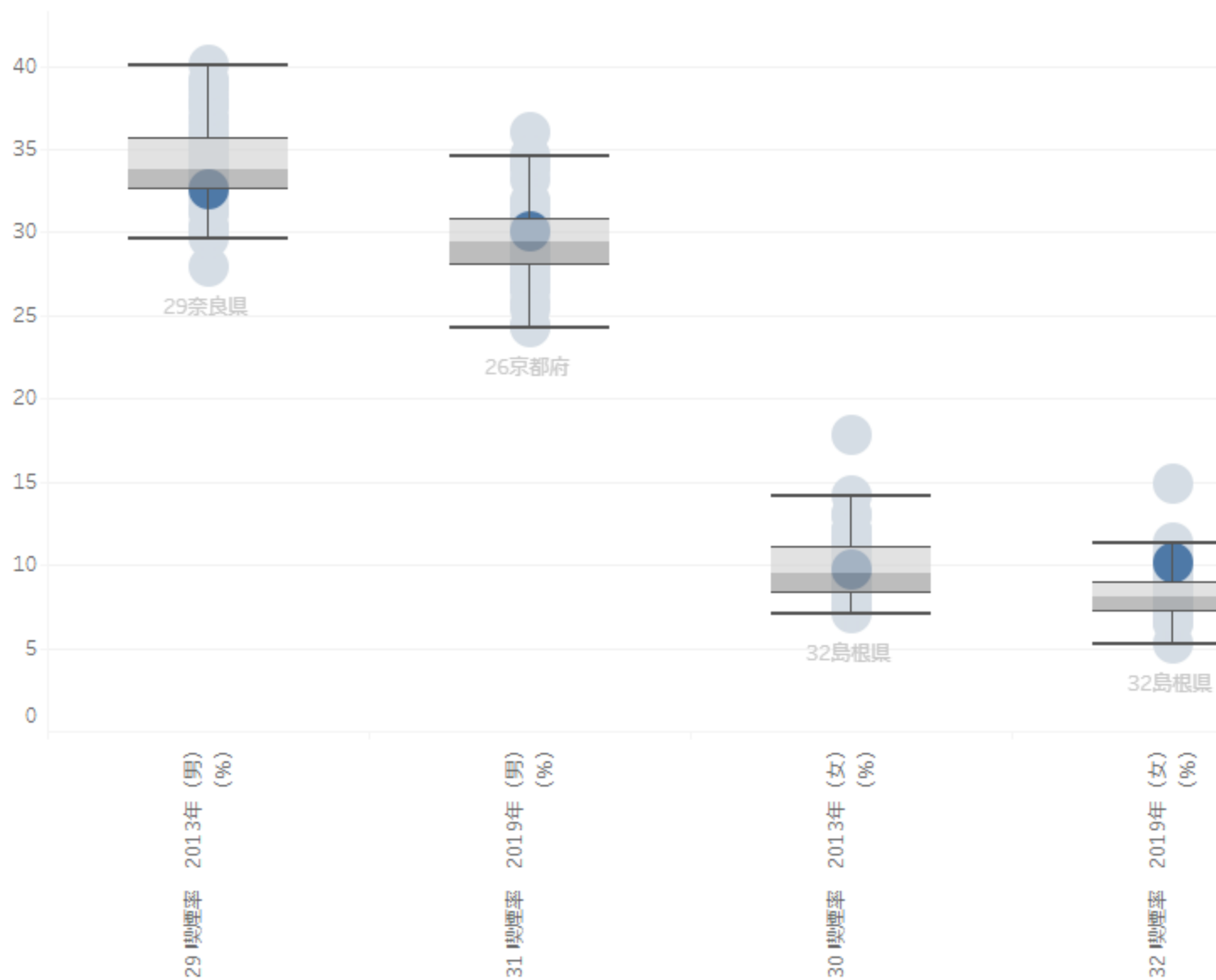
治療成績 限局



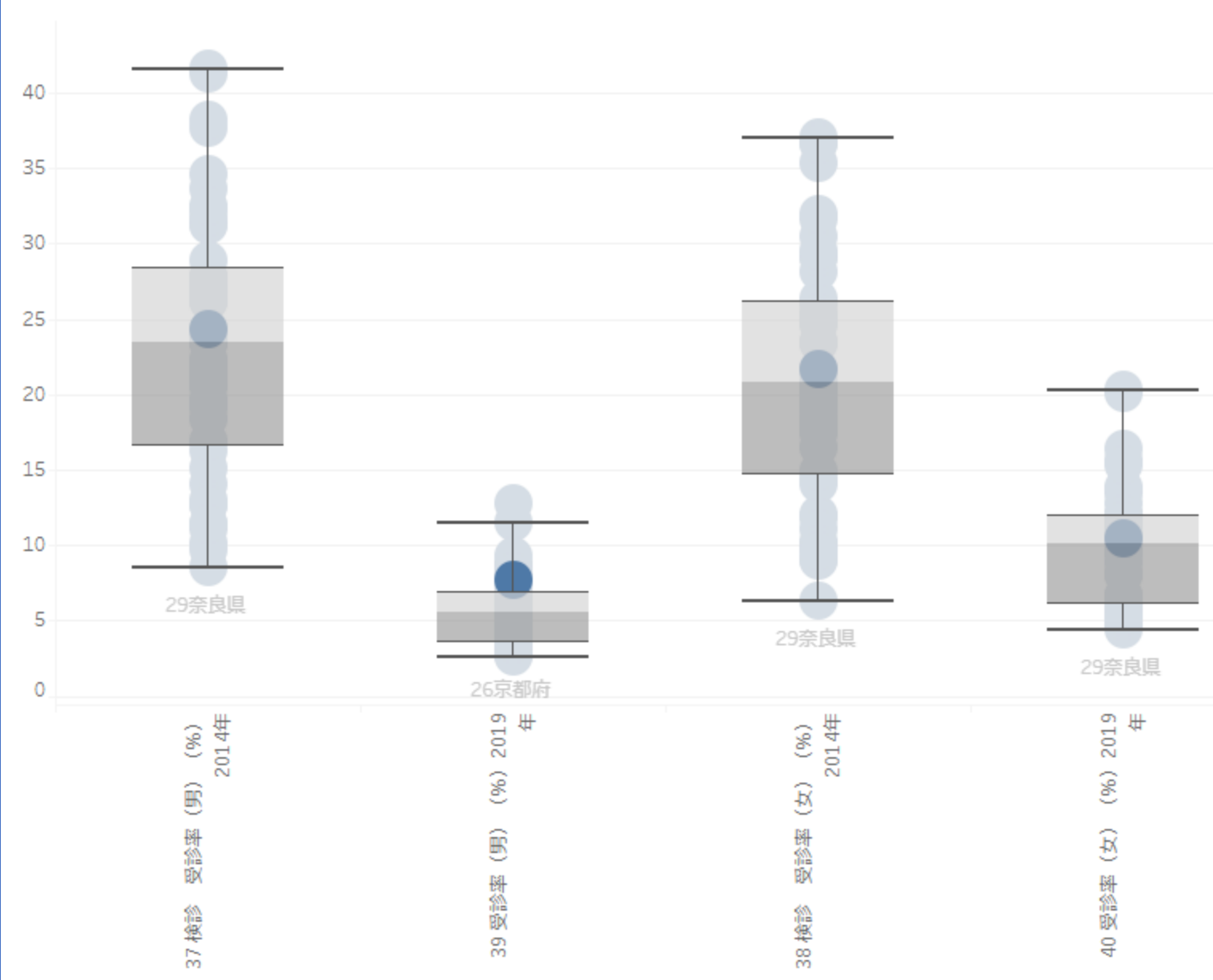
治療成績 領域



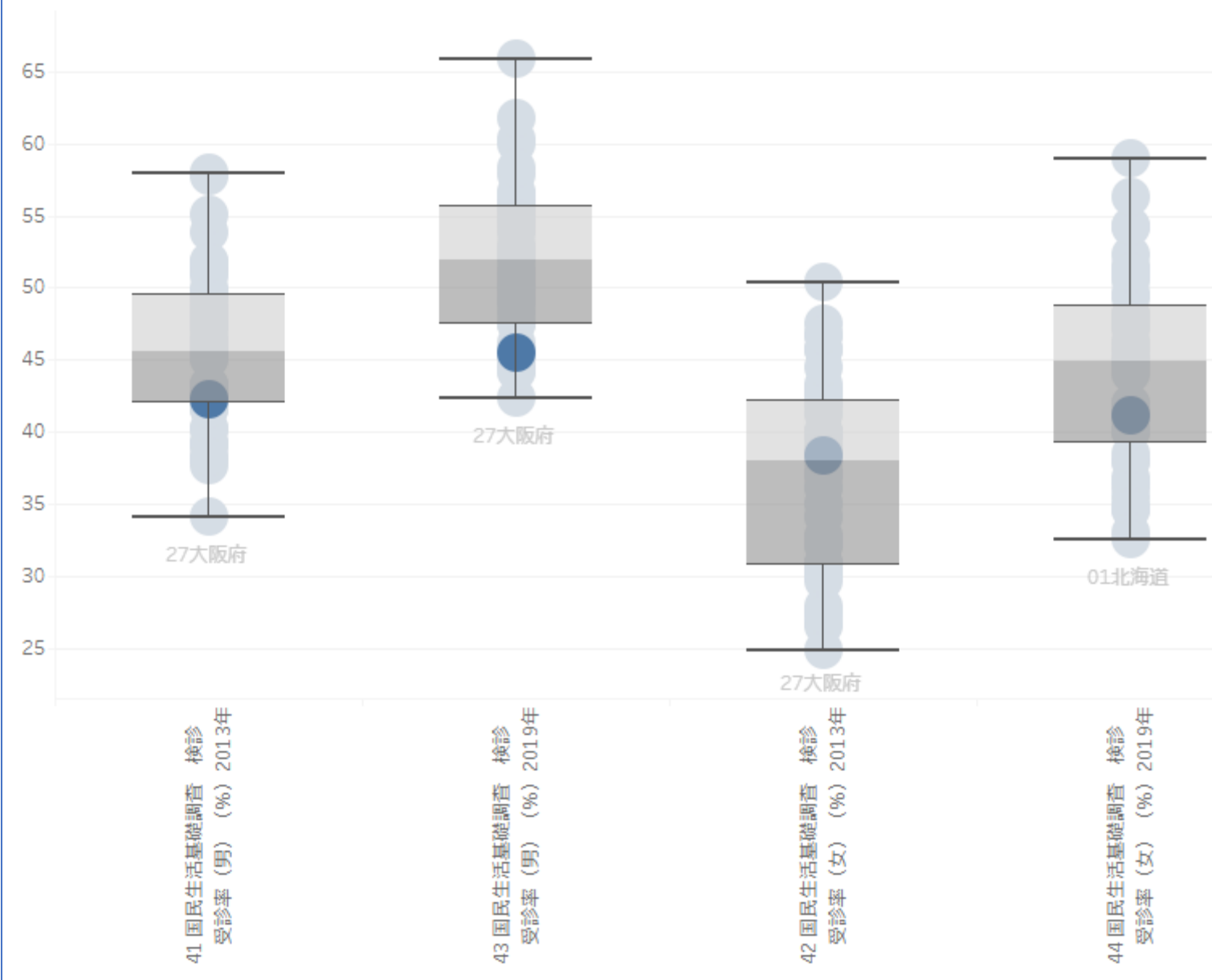
喫煙率



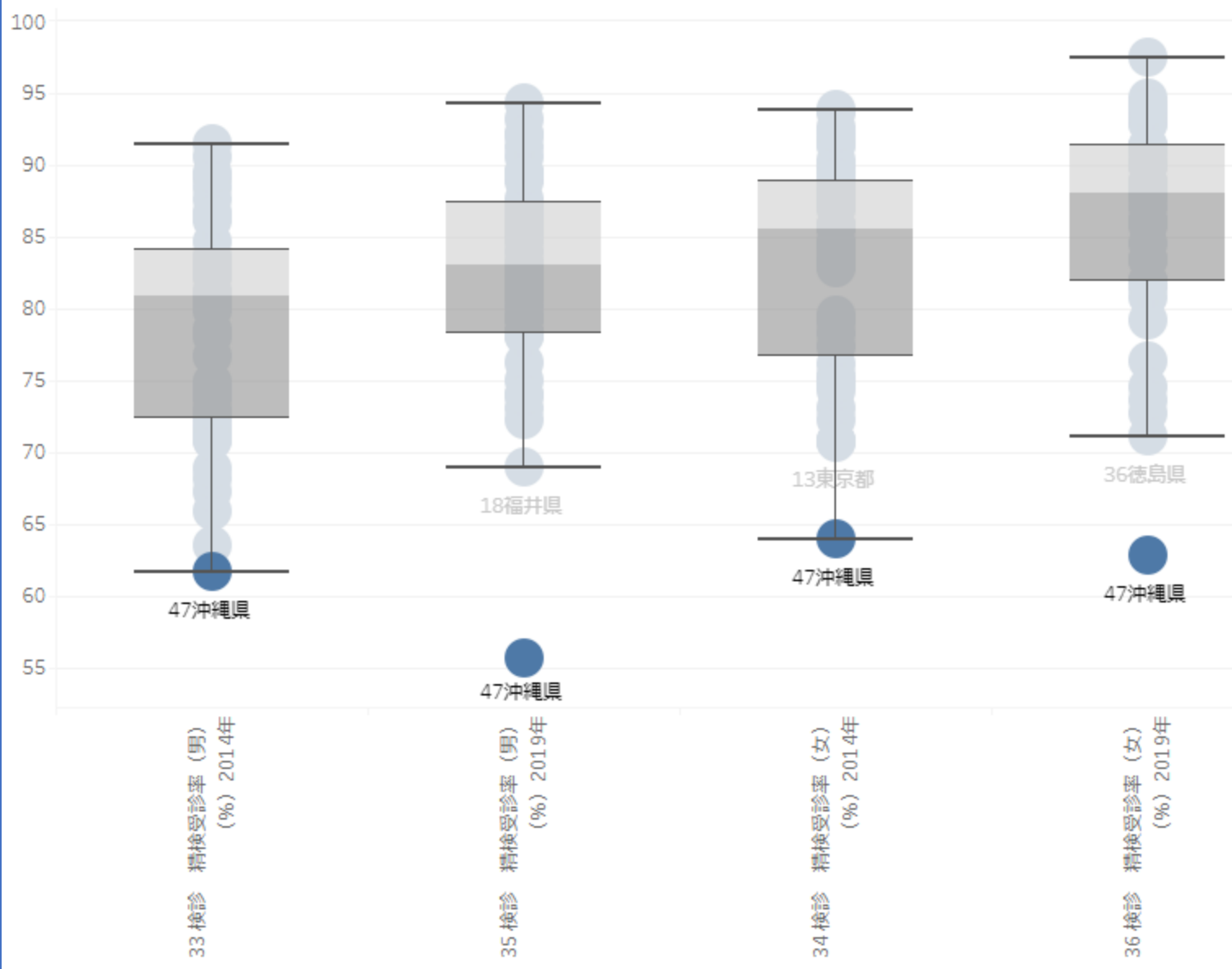
検診受診率1

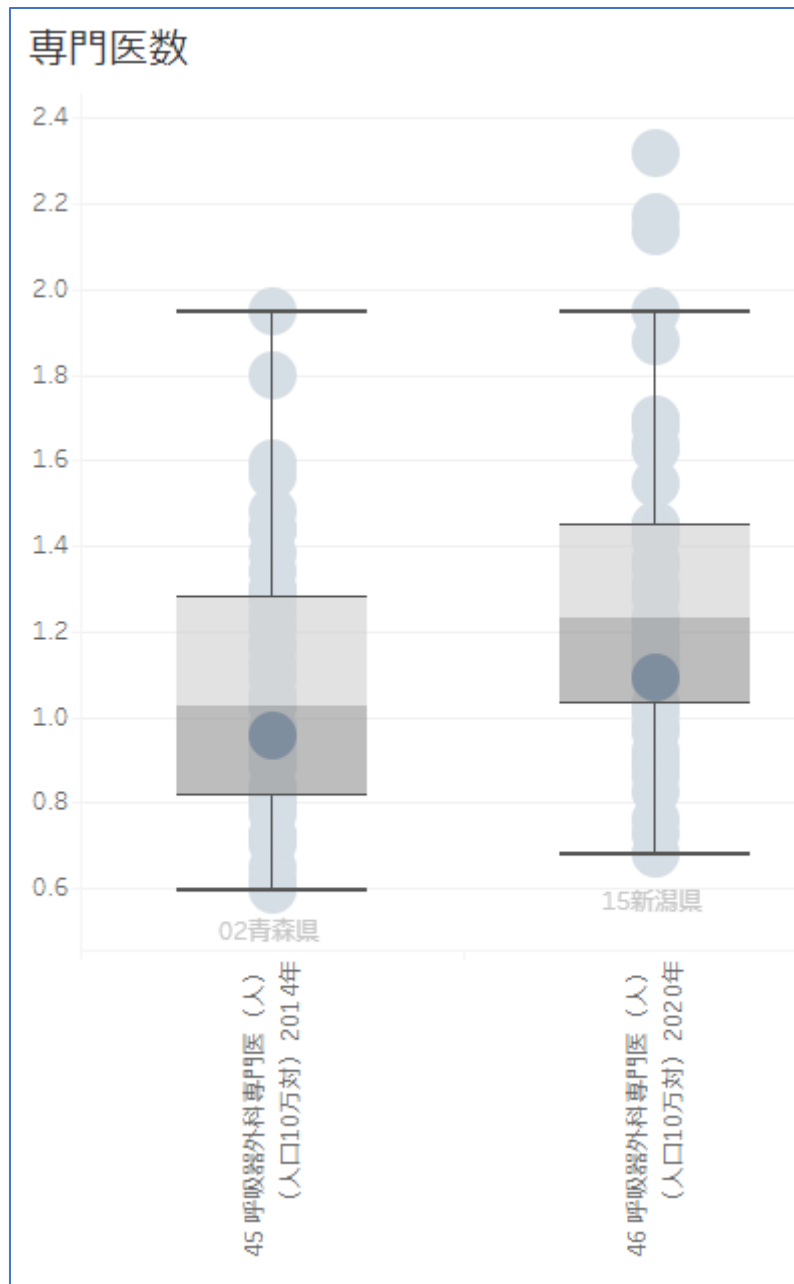


検診受診率2 (国民生活基礎調査)



精検受診率





分野別



地域差の検討（分野別）

- 概要:ロジックモデルと対応する指標のデータを活用し都道府県別データを可視化し、全体水準と地域差を見る。
- 分野別：緩和ケア、医療提供体制、4療法。
- 指標:ロジックモデルの分野アウトカム、中間アウトカムに相当する項目。
- データ出典/情報源:「がん対策地域別データ集」に掲載されているデータおよびその情報源。
- 成果物:都道府県値の差を箱ひげ図により可視化する。
- 限界：①出典データの精度やカバー範囲②1点観測であること。
→一定期間のデータを蓄積すれば実用化できる。

患者やその家族の痛みや辛さが緩和され生活の質が向上している

がんと診断された時からの緩和ケアの推進
沖縄県

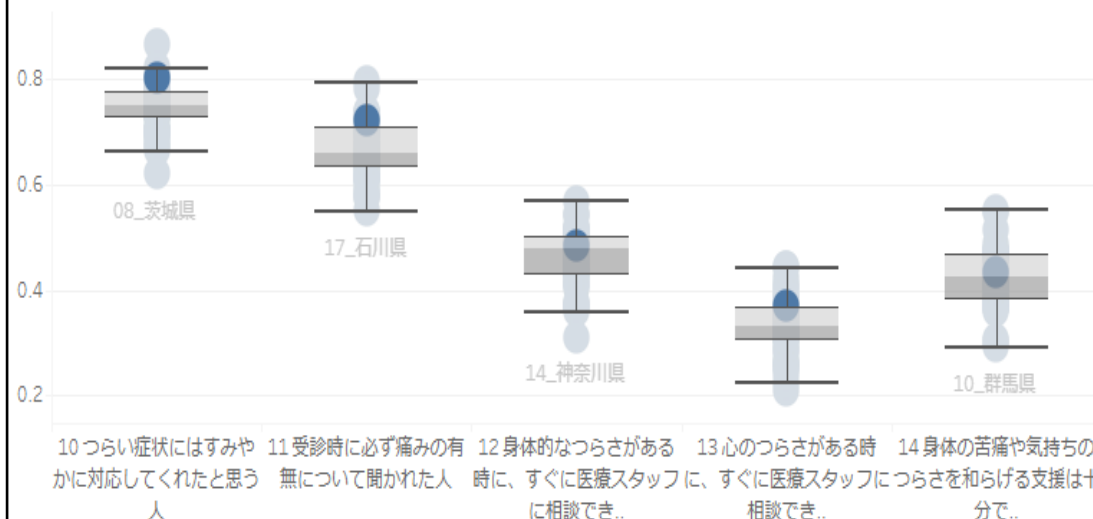
希望する
場所で、
すべての
がん患者
と家族が
緩和ケア
を受けら
れる

迅速かつ
適切な緩
和ケアが
受けられ
る

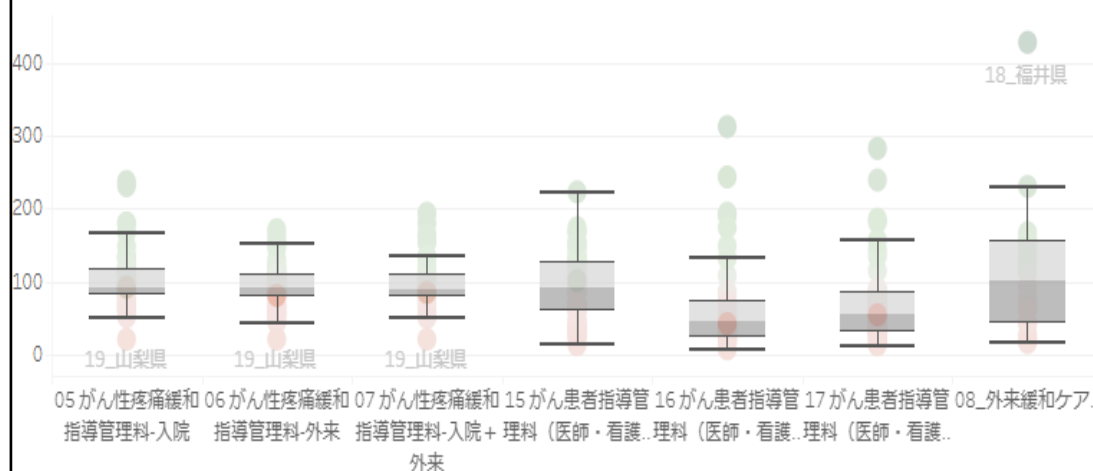
中間アウトカム					
	項目番号	項目名	全国	沖縄県	
希望する場所で、すべてのがん患者と家族が緩和ケアを受けられる【体制】					
07-M01	望んだ場所で過ごせた患者の割合				
	-	-	NA	NA	
07-M02	がん性疼痛緩和指導管理料				
	NDB-SCR251	がん性疼痛緩和指導管理料 入院	100.0	92.4	
	NDB-SCR252	がん性疼痛緩和指導管理料 外来	100.0	81.2	
	NDB-SCR253	がん性疼痛緩和指導管理料 入院+外来	100.0	85.3	
07-M03	がん患者指導管理料（心理的不安軽減）				
	NDB-SCR254	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のための面接） 入院	100.0	101.5	
	NDB-SCR255	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のための面接） 外来	100.0	42.5	
	NDB-SCR256	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のための面接） 入院+外来	100.0	54.8	
07-M04	外来緩和ケア管理料				
	NDB-SCR257	外来緩和ケア管理料 外来	100.0	NA	
07-M05	緩和ケアチーム対応患者数				
	全がん83	病院 緩和ケアチーム有 患者数（人：1カ月実績）（人口10万対）	#N/A	#N/A	
07-M06	緩和医療専門医				
	全がん200	がん拠点病院 緩和医療専門医（人：常勤換算）	#N/A	#N/A	
07-M07	緩和ケア認定看護師				
	全がん206	がん拠点病院 緩和ケア認定看護師（人：常勤換算）	#N/A	#N/A	
迅速かつ適切な緩和ケアが受けられる【質】					
07-M08	速やかな対応を受けた患者の割合				
	患者12	つらい症状にはすみやかに対応してくれたと思う患者の割合	74.1%	80.1%	
07-M09	痛みや苦痛に対する支援が十分であると思う患者の割合				
	患者32	身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であると感じる患者の割合	42.5%	43.5%	
07-M10	痛みの評価（スクリーニング）を受けた割合				
	患者18	受診時に必ず痛みの有無について聞かれた患者の割合	65.1%	72.0%	
07-M11	身体的な痛みを相談しやすい割合				
	患者29	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	45.6%	48.2%	
07-M12	心の痛みを相談しやすい割合				
	患者30	心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	31.9%	37.1%	
07-M13	がん患者指導管理料（心理的不安軽減）				
	NDB-SCR254	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のための面接） 入院	100.0	101.5	
	NDB-SCR255	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のための面接） 外来	100.0	42.5	
	NDB-SCR256	がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のための面接） 入院+外来	100.0	54.8	

最終アウトカム				
項目番号		項目名	全国	沖縄県
患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している				
07-F01	身体的痛みがある患者の割合			
	患者33	がんやがん治療に伴う身体の苦痛がないと感じる患者の割合	56.1%	64.4%
07-F02	治療に伴う痛みがある患者の割合			
	患者34	がんや治療に伴う痛みがないと感じる患者の割合	71.9%	82.5%
07-F03	精神的痛みがある患者の割合			
	患者35	がんやがん治療に伴い気持ちが <u>つらくない</u> と感じる患者の割合	62.1%	60.7%
07-F04	身体的・精神的痛みで生活に困難を抱えている患者の割合			
	患者36	身体的・精神的痛みで生活に困難を抱えていない患者の割合	69.5%	70.4%
07-F05	緩和ケアで症状が改善したと思う患者の割合			
	-	-	NA	NA

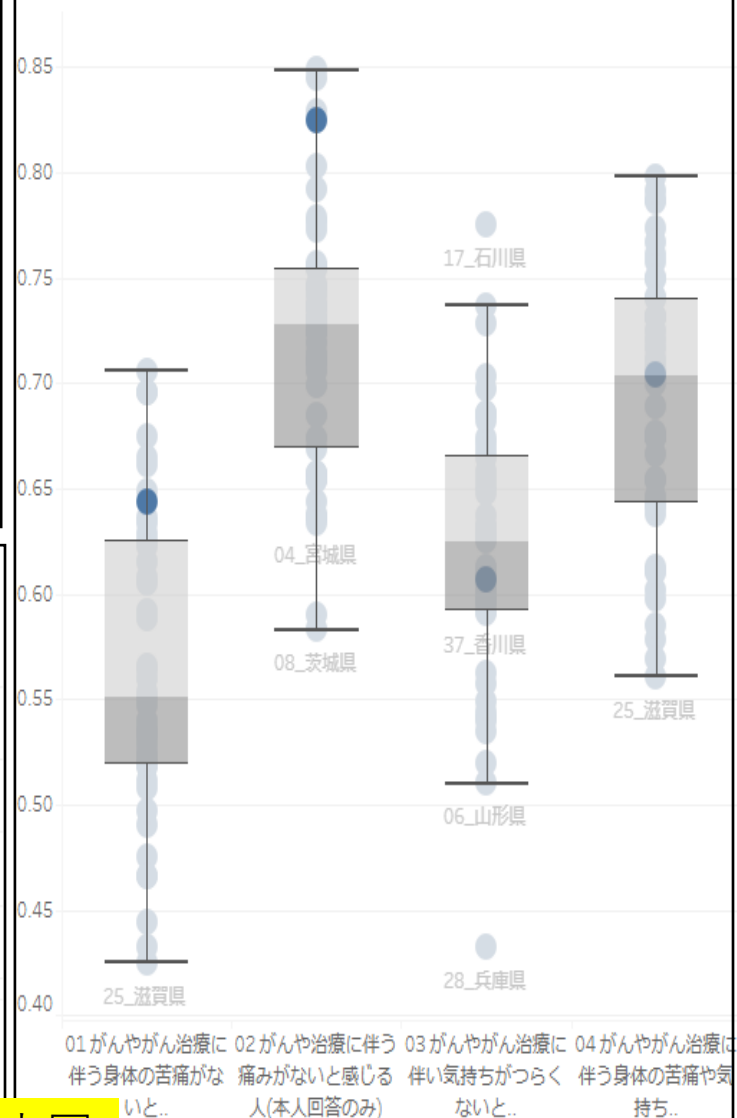
中間アウトカム1 (情報源：患者体験調査)



中間アウトカム2 (情報源：NDBSCR)

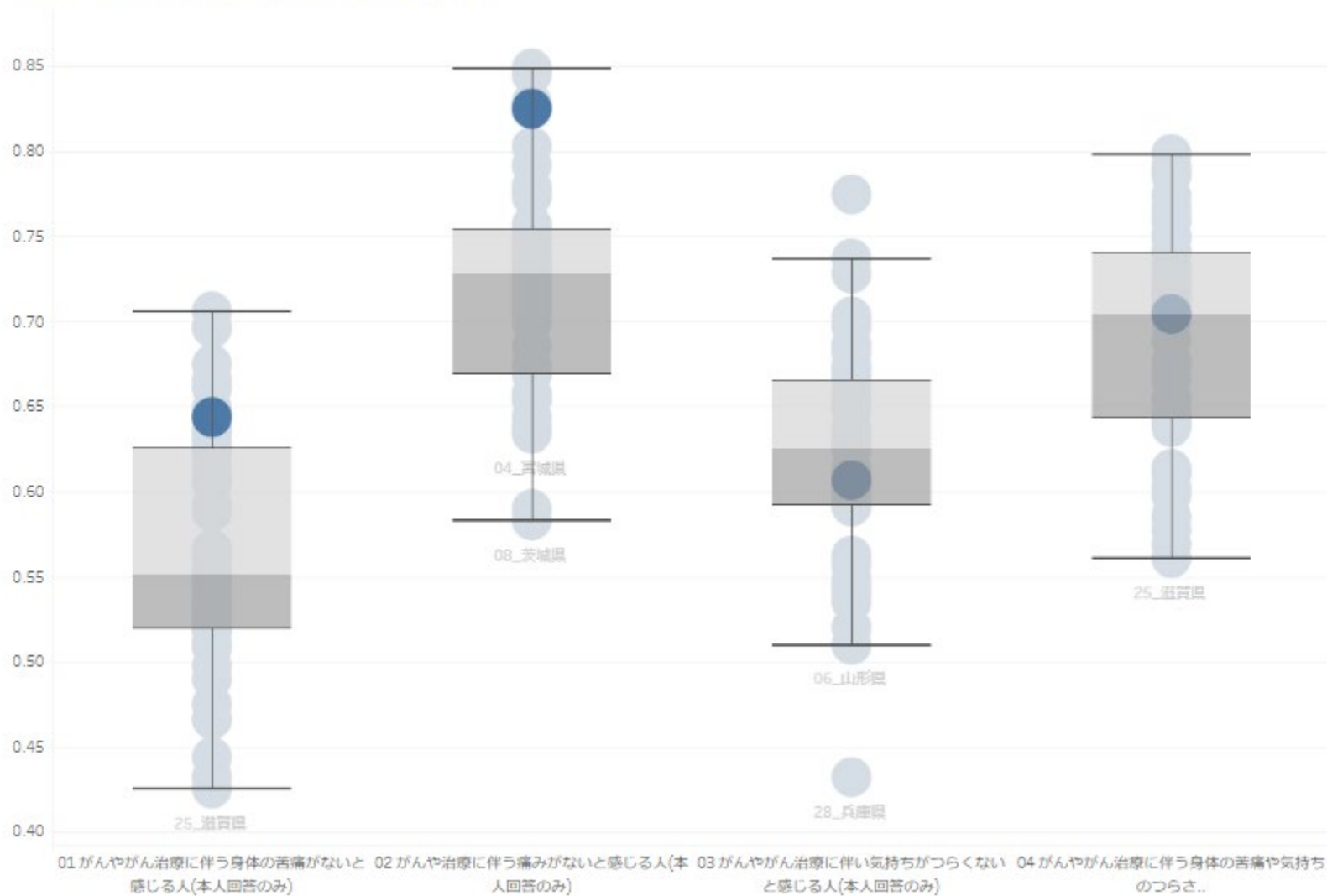


最終アウトカム (情報源：患者体験調査)

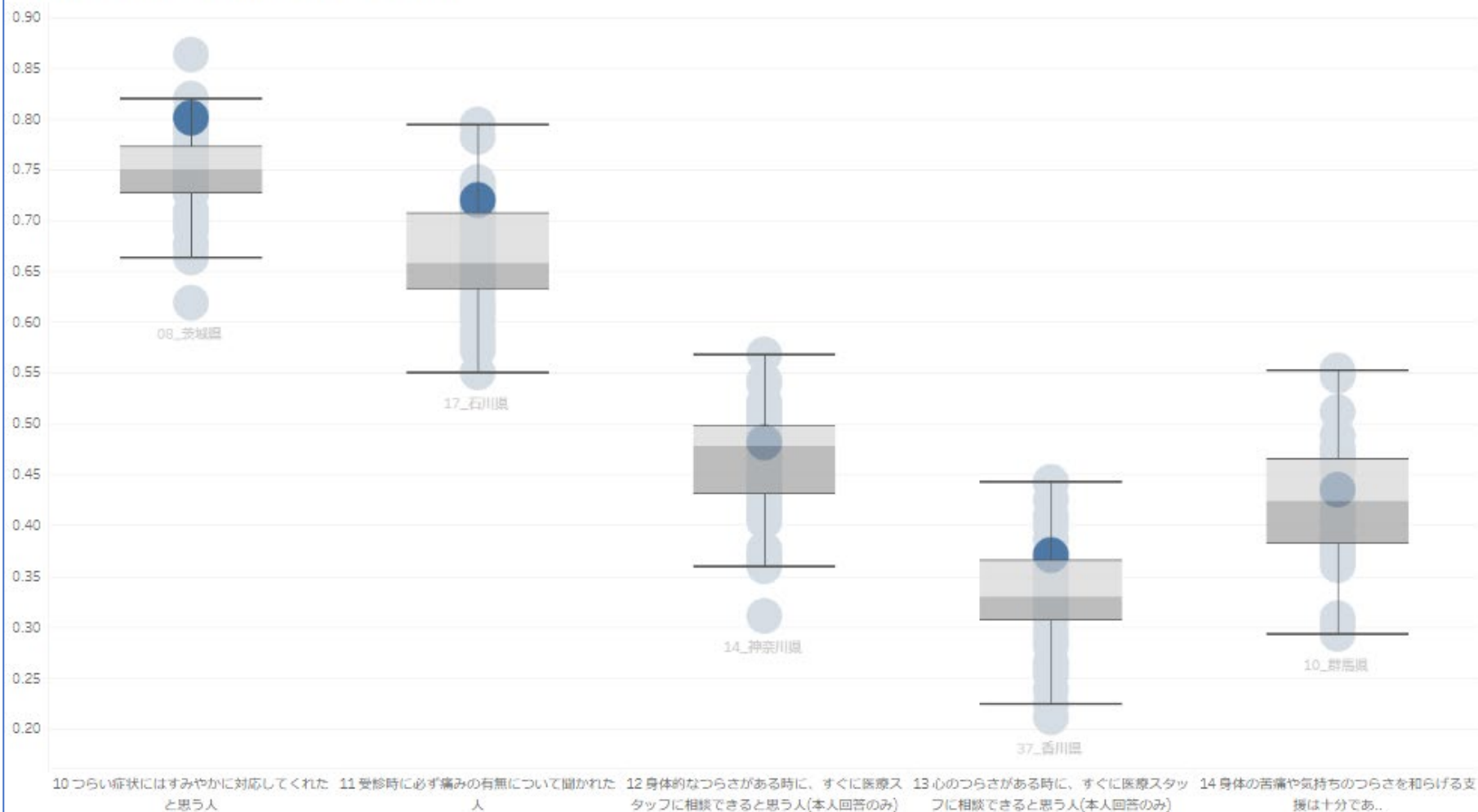


次ページから部分拡大図

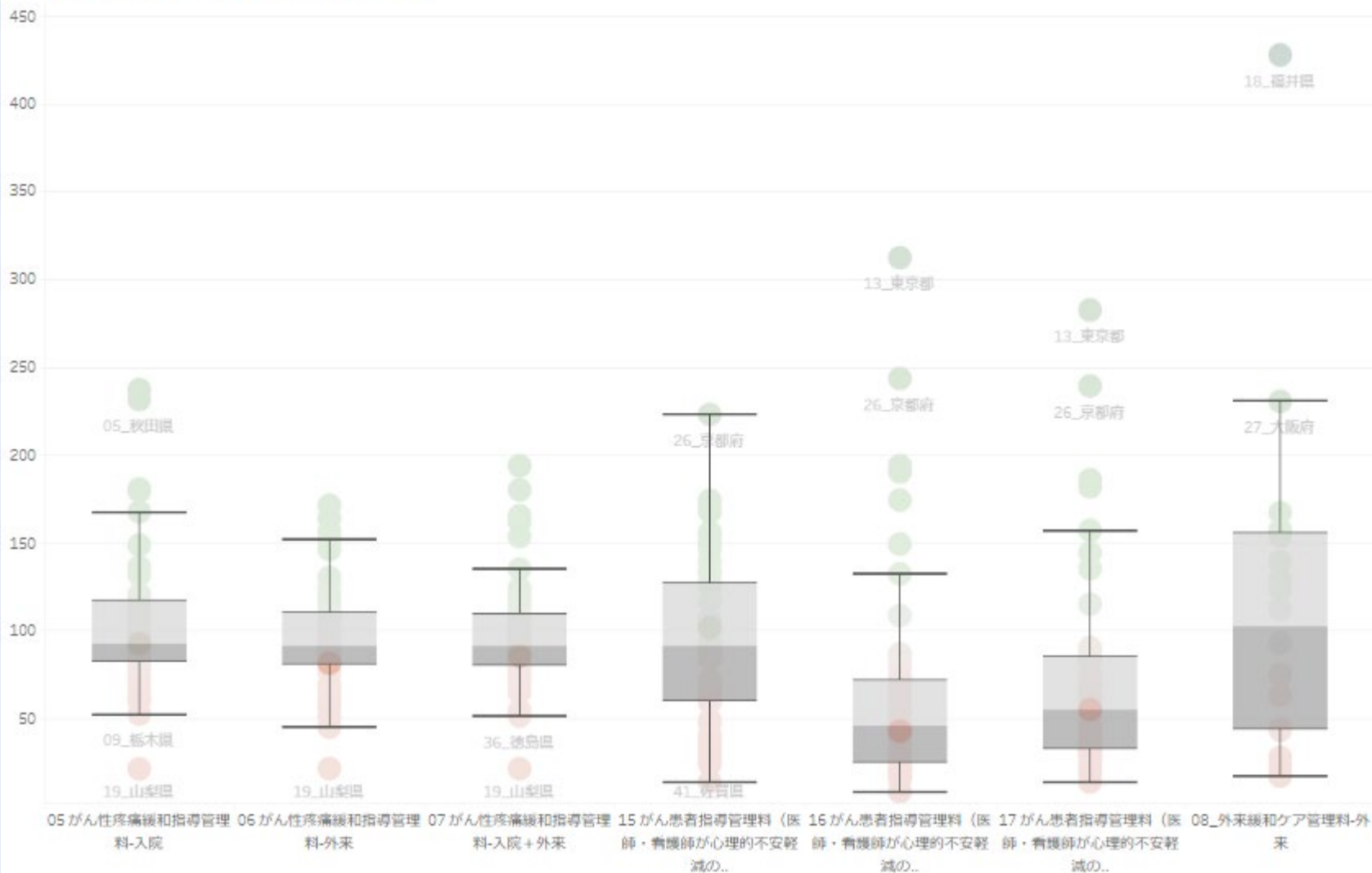
最終アウトカム（情報源：患者体験調査）

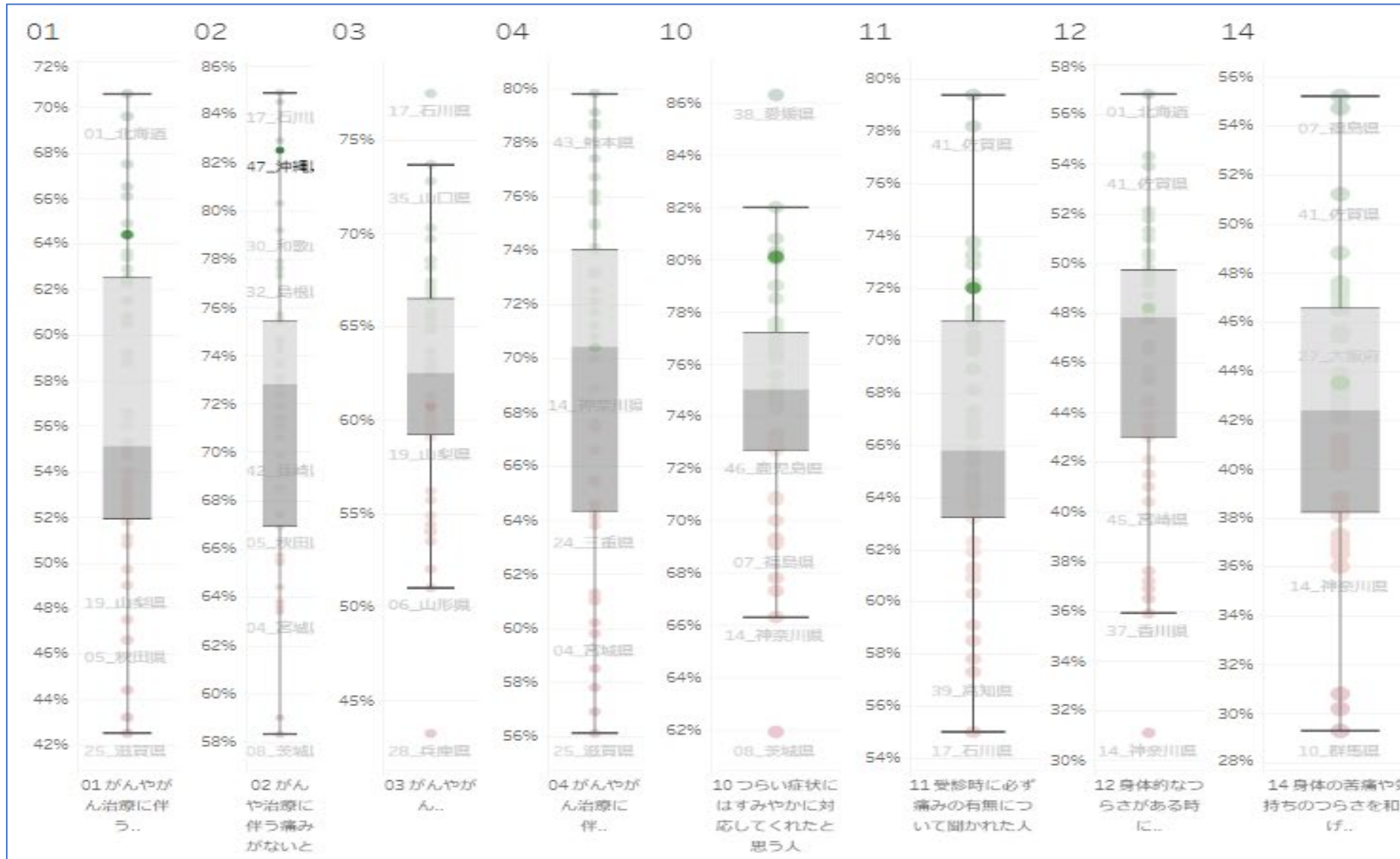


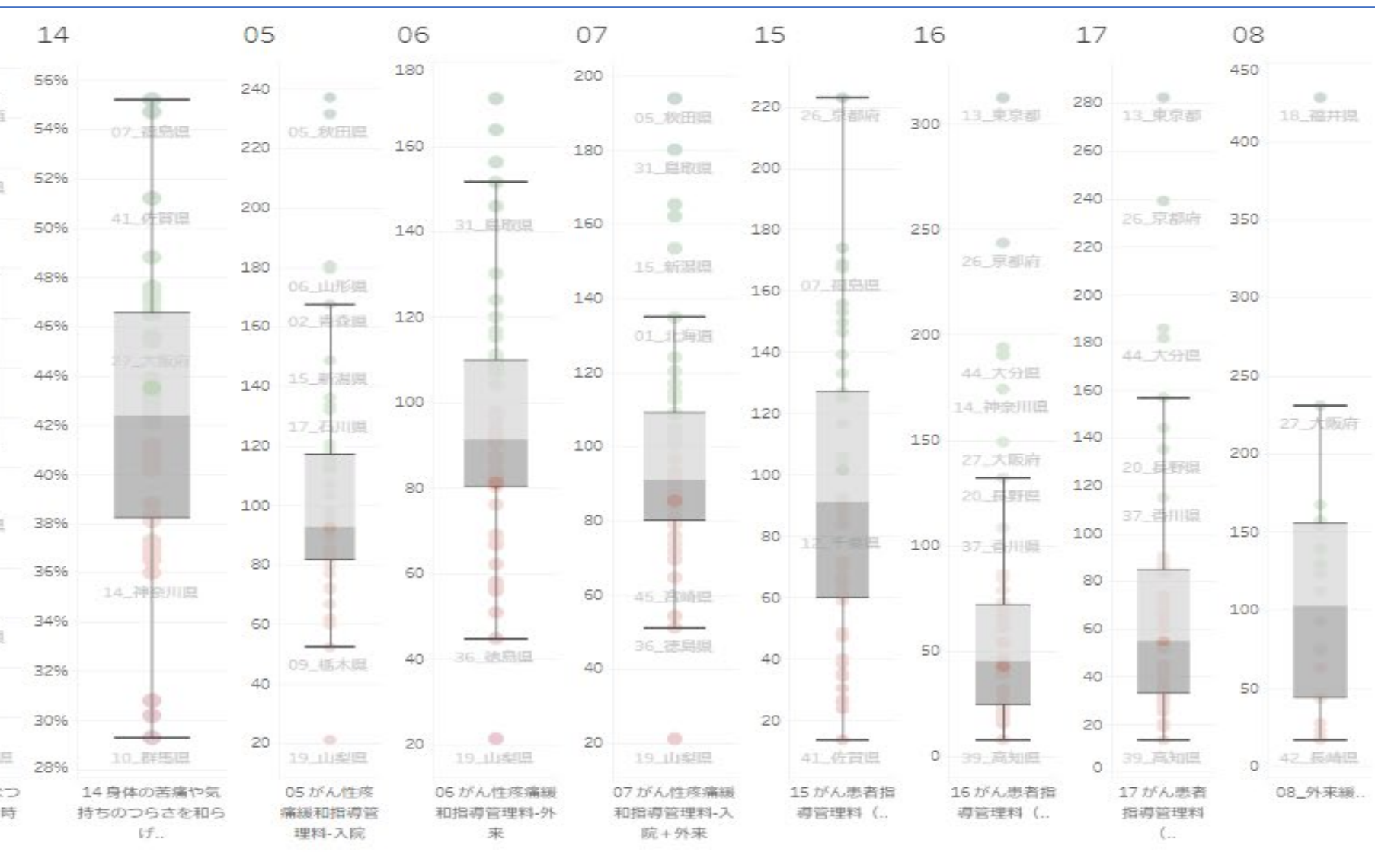
中間アウトカム1（情報源：患者体験調査）



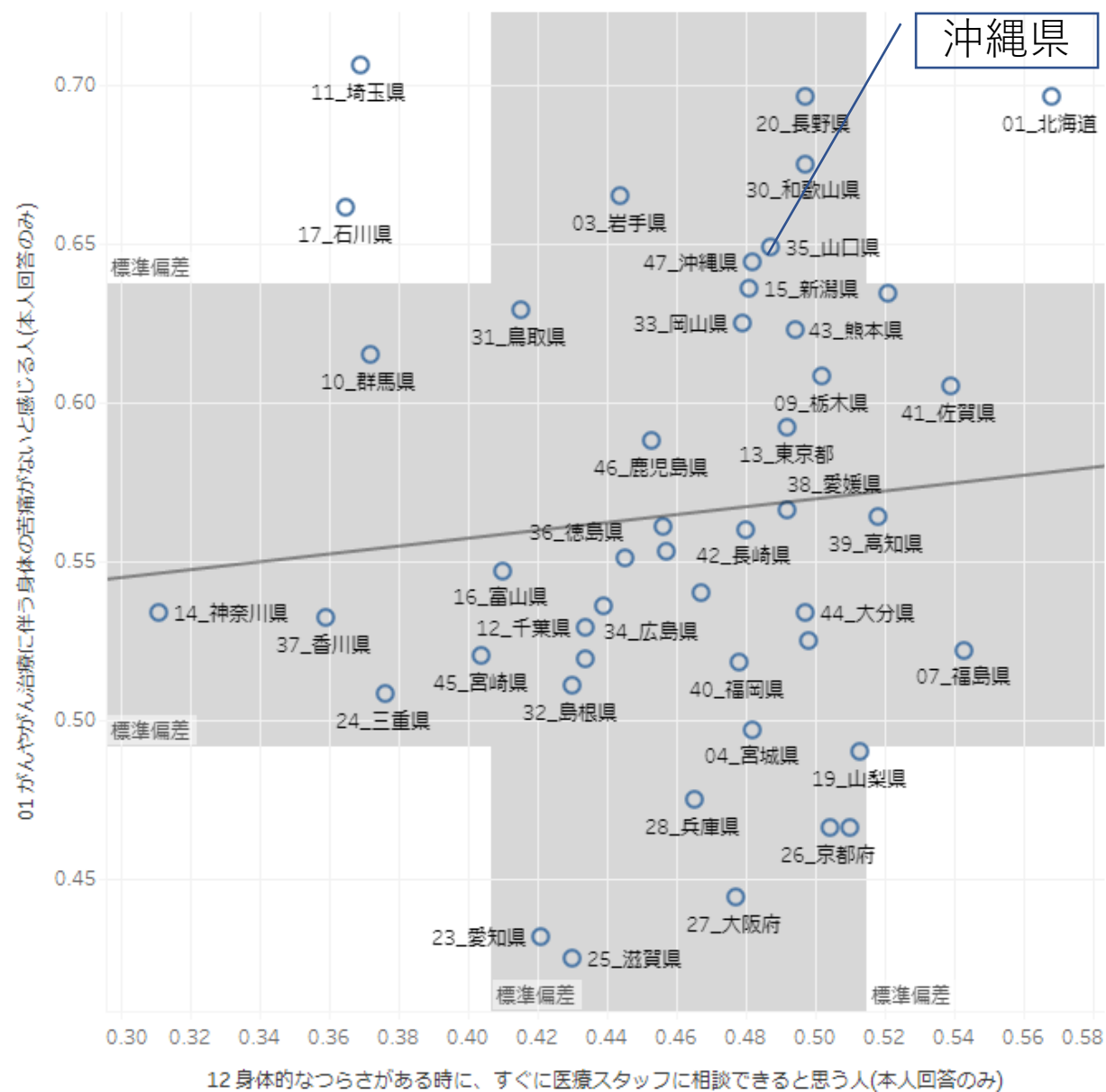
中間アウトカム2（情報源：NDBSCR）



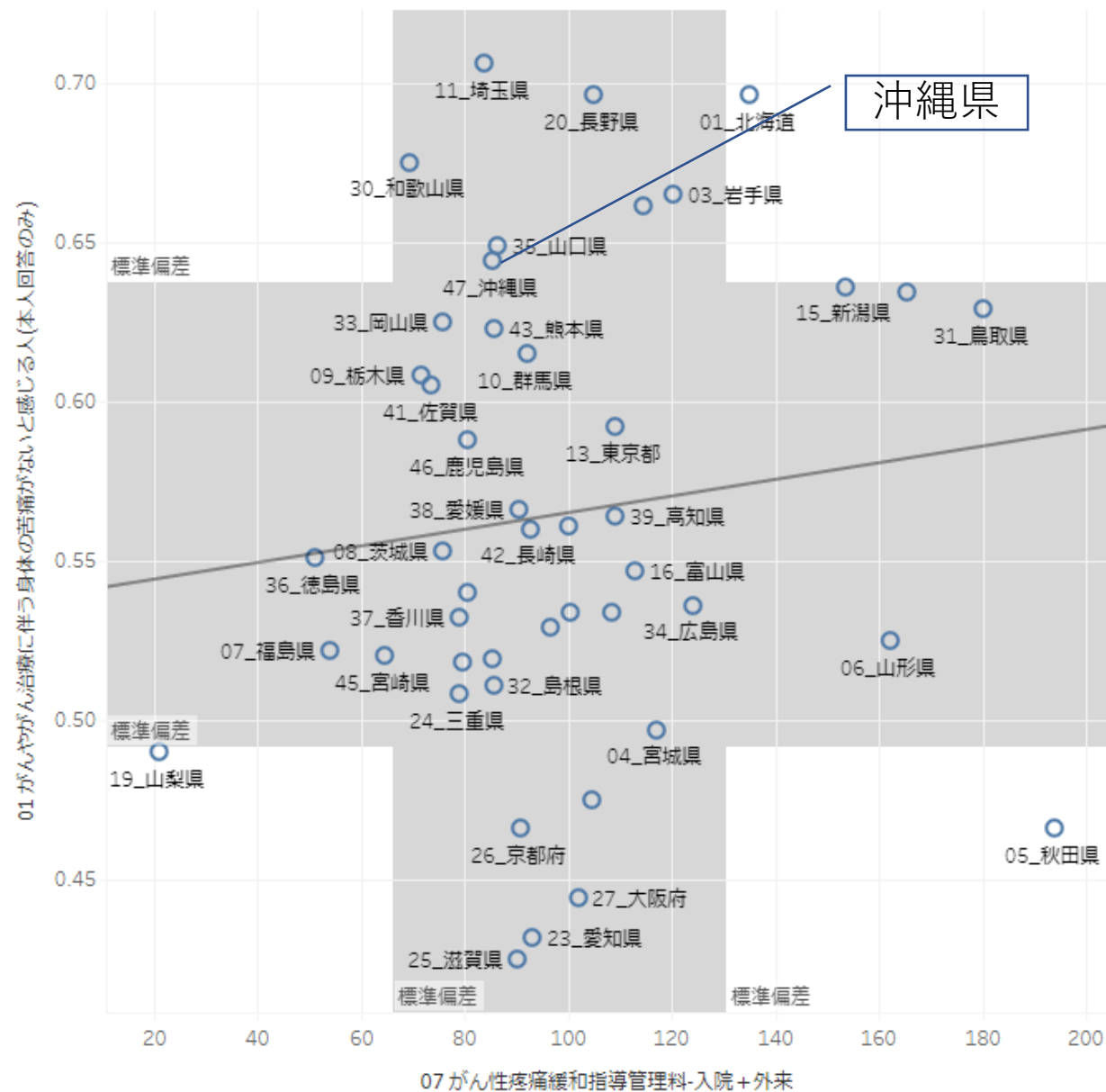




痛み相談のし易さ×苦痛の無さ



疼痛管理料×苦痛の無さ



指導管理料×痛み相談のし易さ

12 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う人(本人回答のみ)

0.58
0.56
0.54
0.52
0.50
0.48
0.46
0.44
0.42
0.40
0.38
0.36
0.34
0.32
0.30

0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220 240 260 280

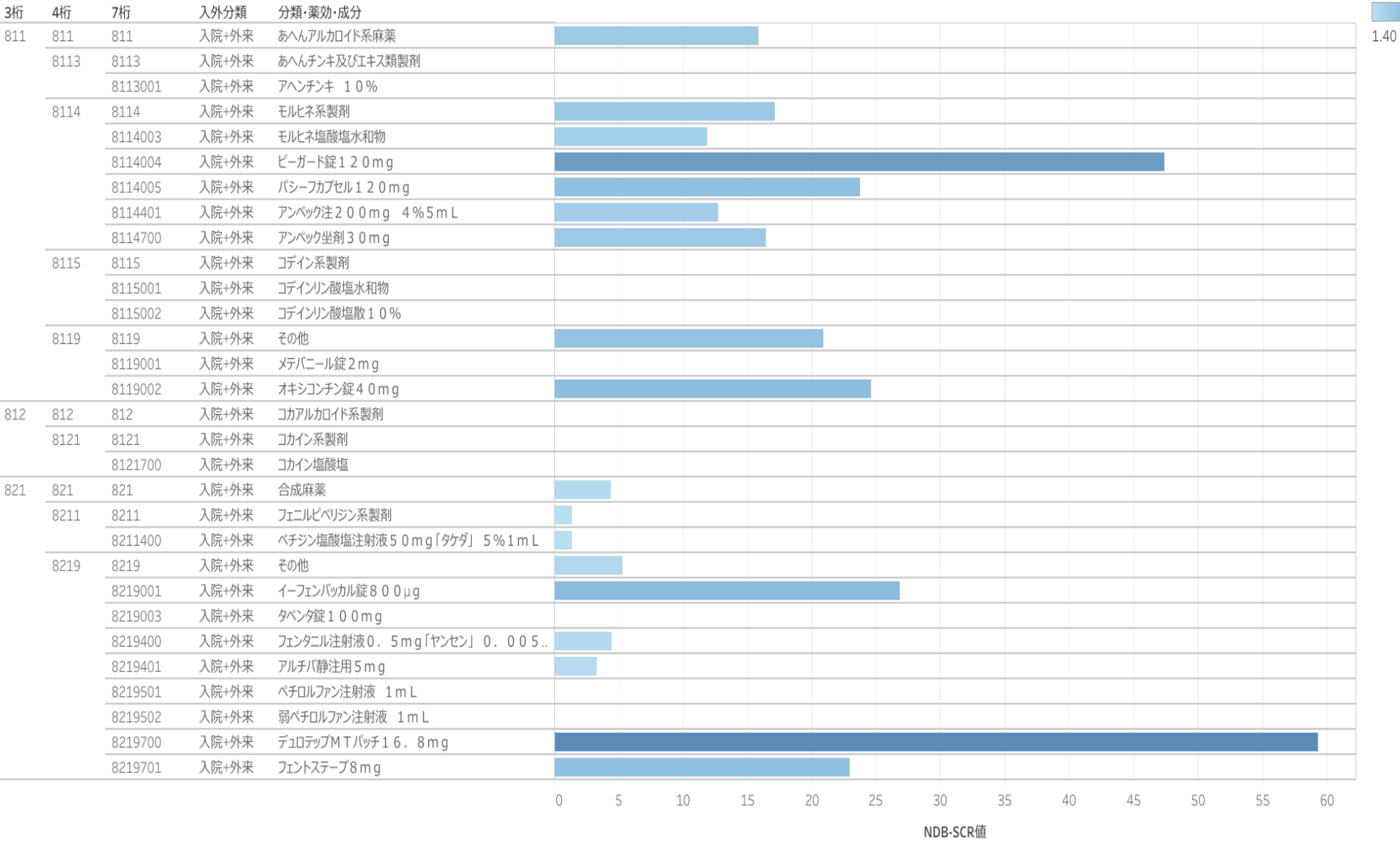
17 がん患者指導管理料 (医師・看護師が心理的不安軽減のため面接) -入院+外来

01_北海道
07_福島県
02_青森県
05_秋田県
30_和歌山県
35_山口県
40_福岡県
20_長野県
44_大分県
26_京都府
13_東京都
39_高知県
33_岡山県
21_岐阜県
46_鹿児島県
00_全国
03_岩手県
32_島根県
23_愛知県
31_鳥取県
45_宮崎県
10_群馬県
24_三重県
11_埼玉県
17_石川県
37_香川県
14_神奈川県
25_滋賀県
27_大阪府

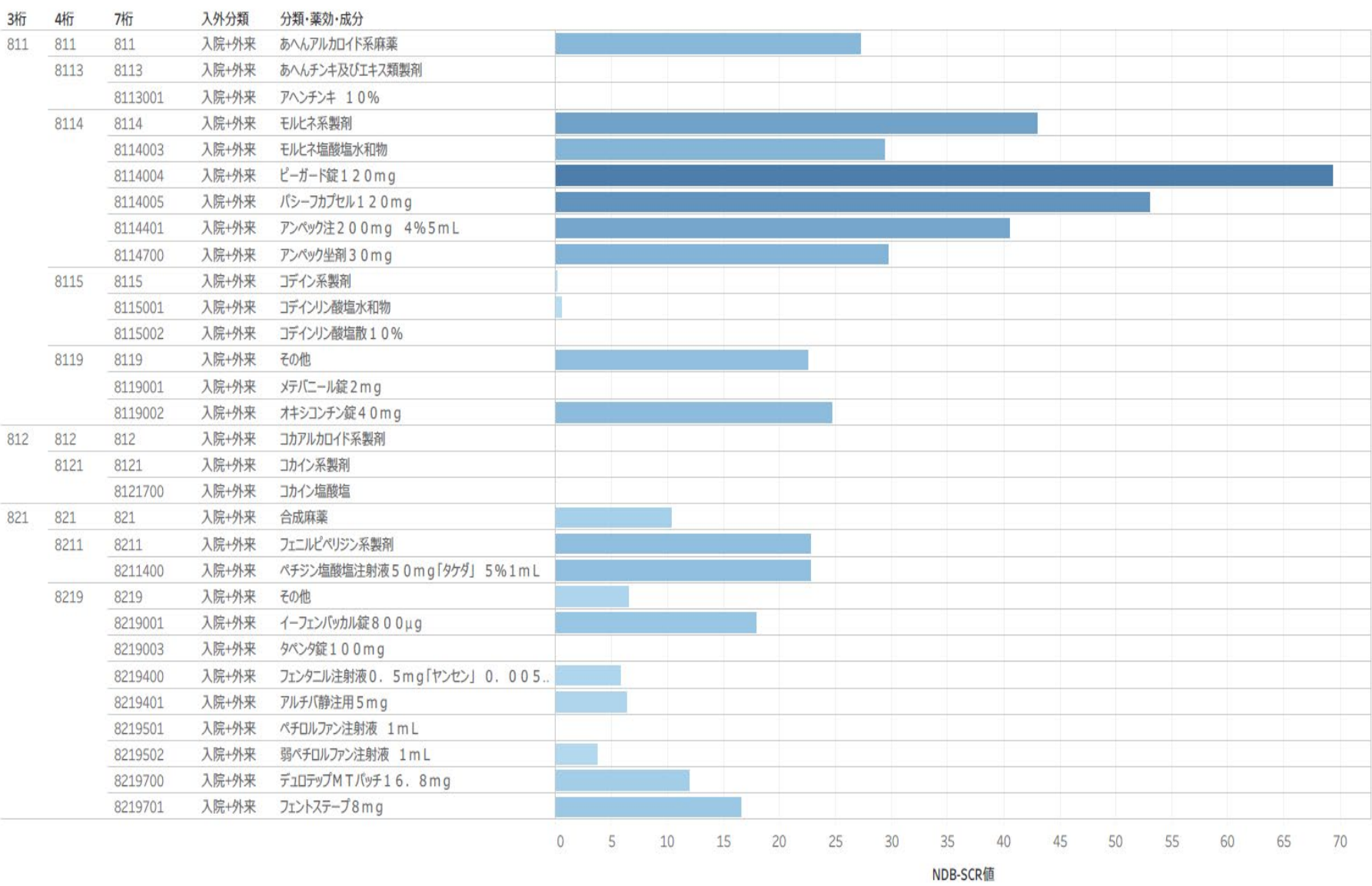
標準偏差

沖縄県

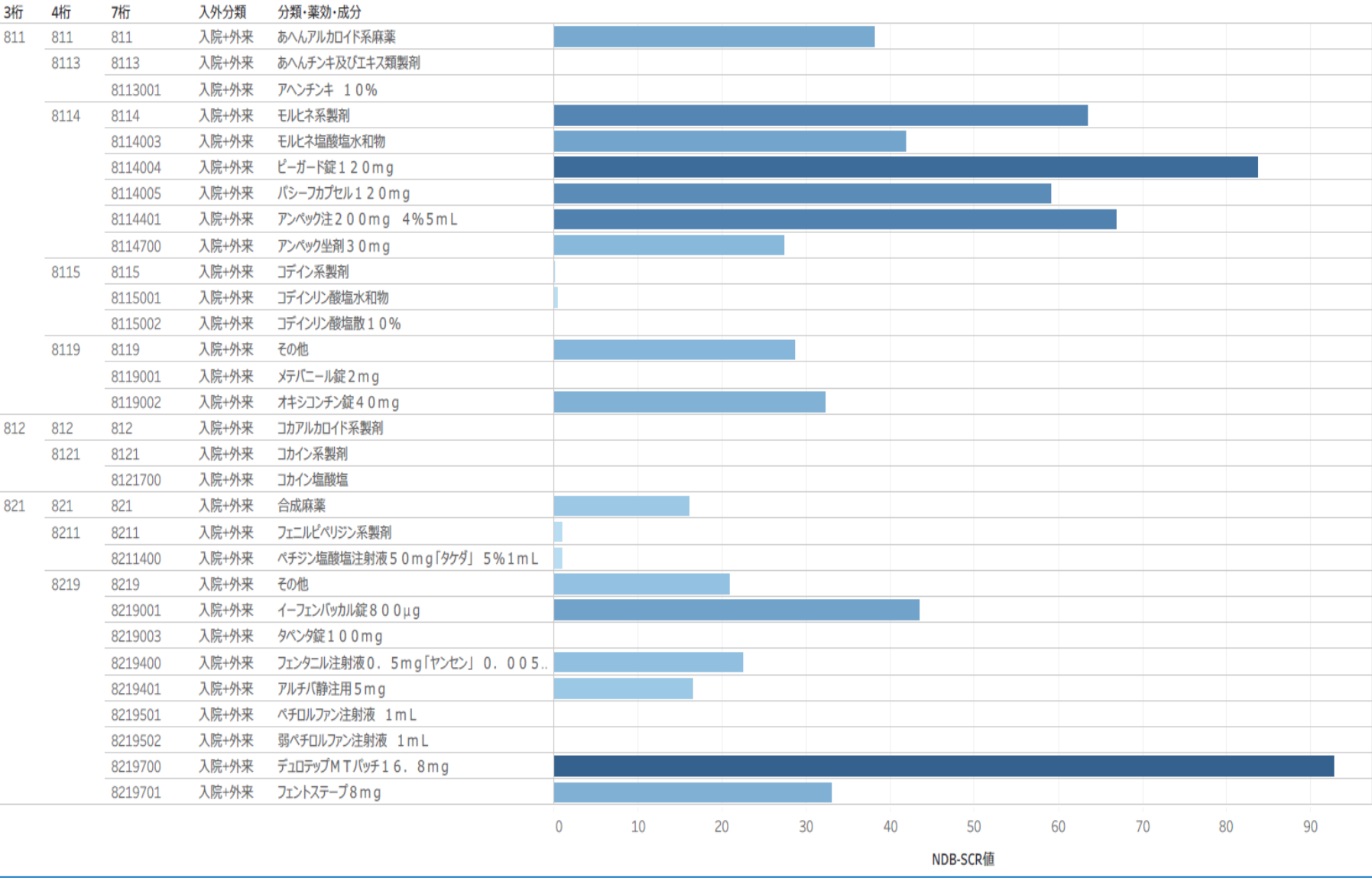
疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ



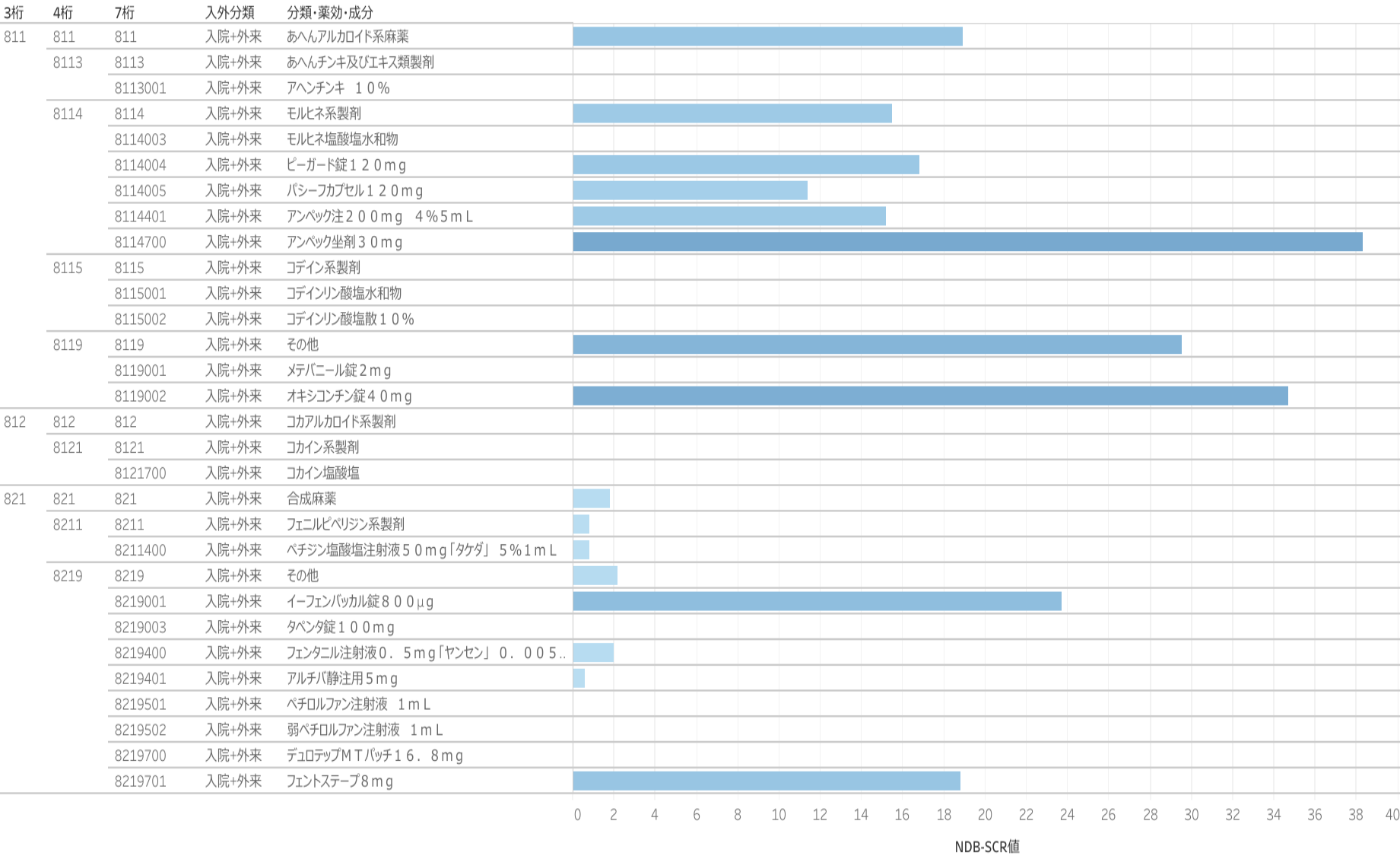
疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ



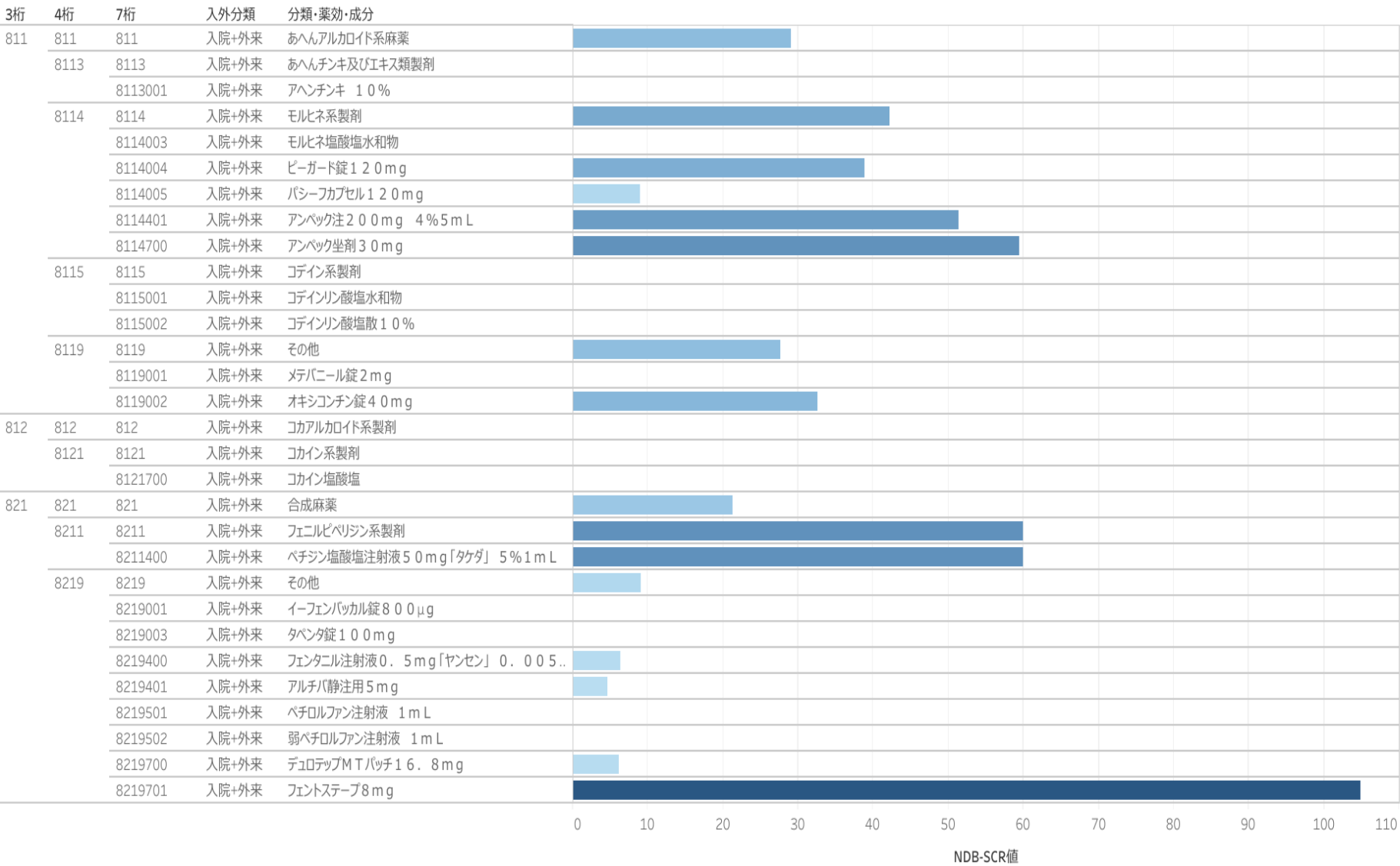
疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ



疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ



疼痛管理薬の地域別ポートフォリオ

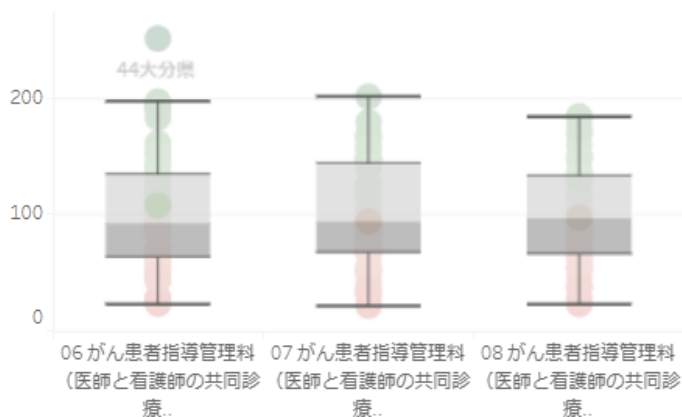


がん患者がどこに住んでいても、切れ目なく安全、安心、適切な医療を受けられている

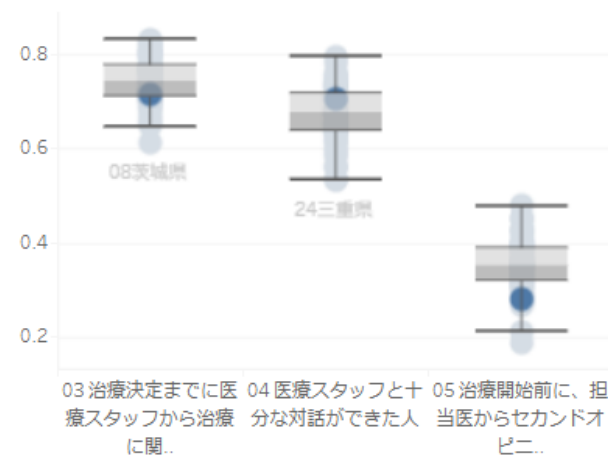
医療提供体制					
沖縄県南部					
拠点病院等の質の格差が解消されている					
中間アウトカム					
	項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部
03-M01	標準的治療の実施割合（Quality Indicatorから）				
	-	-	NA	NA	NA
	参考指標				
	大腸がん105	大腸がん：拠点病院カバー率	45.8	95.2	NA
患者が適切な意思決定支援を受けられている					
03-M03	十分な情報をもって治療を始められた患者の割合				
	患者5	十分な情報をもって治療を始められた患者の割合	75.2%	71.4%	NA
	医療スタッフと十分な対話ができえた患者・家族の割合				
	患者11	医療スタッフと十分な対話ができえた患者・家族の割合	67.8%	70.6%	NA
03-M07	担当医からセカンドオピニオンについて話があった患者の割合				
	患者4	担当医からセカンドオピニオンについて話があった患者の割合	34.8%	28.4%	NA
	参考指標				
	NDB-SCR262	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供） 入院	100.0	107.5	153.6
	NDB-SCR263	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供） 外来	100.0	94.1	146.4
	NDB-SCR264	がん患者指導管理料（医師と看護師の共同診療方針等を文書等で提供） 入院＋外来	100.0	97.1	148.0
切れ目のない治療等を受けられている					
03-M09	クリティカルパスの運用数				
	NDB-SCR234	がん治療連携計画策定料 1 入院	100.0	NA	NA
	NDB-SCR235	がん治療連携計画策定料 1 外来	100.0	NA	NA
	NDB-SCR236	がん治療連携計画策定料 1 入院＋外来	100.0	NA	NA
03-M11	紹介先の医療機関を支援なく受診できた患者の割合				
	患者16	紹介先の医療機関を支援なく受診できた患者の割合	83.4%	80.9%	NA
03-M13	希望する転院先に転院できた患者の割合				
	患者17	希望する転院先に転院できた患者の割合	79.2%	85.7%	NA
03-M15	必要な介護支援について説明を受けた患者の割合				
	-	-	NA	NA	NA
	参考指標				
	NDB-SCR237	がん治療連携指導料 外来	100.0	114.6	225.7
	NDB-SCR239	外来がん患者在宅連携指導料 外来	100.0	NA	NA
	NDB-SCR240	地域連携診療計画加算（診療情報提供料 1） 外来	100.0	NA	NA
	NDB-SCR241	看取り加算（在宅患者訪問診療料（1）1・（2）イ・往診料） 外来	100.0	75.6	83.1
	NDB-SCR242	在がん医総（機能強化した在宅支診等）（病床あり）（処方箋あり） 外来	100.0	NA	NA
	NDB-SCR244	在がん医総（機能強化した在宅支診等）（病床なし）（処方箋あり） 外来	100.0	NA	NA

最終アウトカム					
	項目番号	項目名	全国	沖縄県	南部
がん患者がどこに住んでいても、切れ目なく安全、安心、適切な医療を受けられている					
03-F01	5年生存率				
	大腸がん24	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（男）（％）	72.4	70.2	NA
	大腸がん25	大腸がん：5年相対生存率 2009-2011年（女）（％）	70.1	69.5	NA
	大腸がん34	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 限局（男）（％）	97.1	96.0	NA
	大腸がん35	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 領域（男）（％）	75.7	75.2	NA
	大腸がん36	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 遠隔（男）（％）	18.2	14.8	NA
	大腸がん38	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 限局（女）（％）	97.5	94.4	NA
	大腸がん39	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 領域（女）（％）	74.8	73.1	NA
	大腸がん40	大腸がん：進行度別5年生存率 2009-2011年 遠隔（女）（％）	16.2	14.6	NA
	これまでの治療に納得している患者の割合				
03-F03	患者15	これまでの治療に納得している患者の割合	77.4%	85.4%	NA
03-F05	がんの診断・治療全体の総合的評価				
	患者20	がんの診断・治療全般に関する総合的な評価が高い患者の割合	71.2%	79.7%	NA

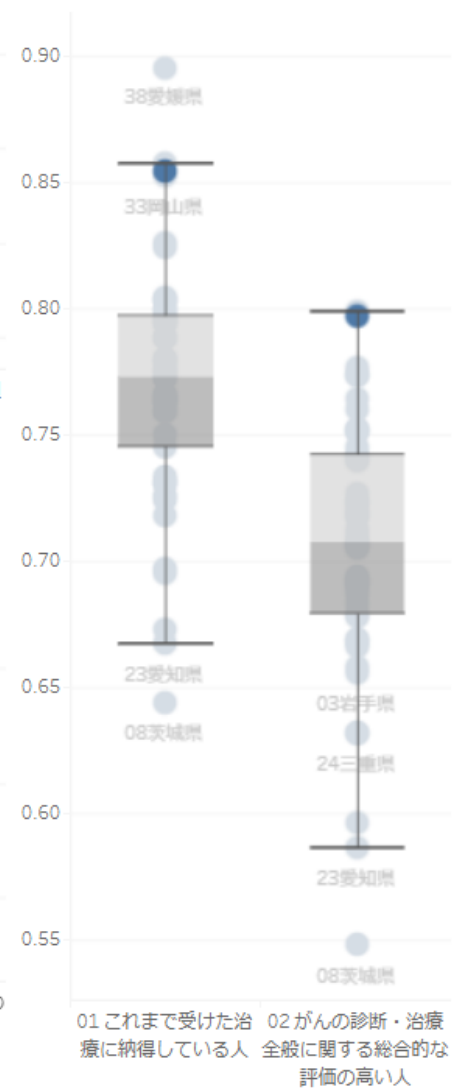
中間アウトカム2NDB-SCR



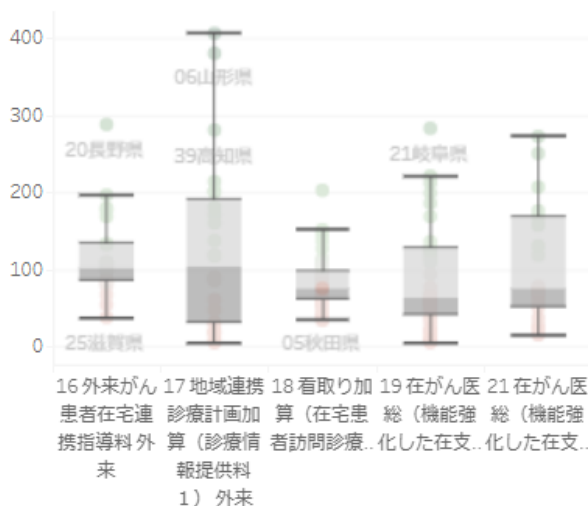
中間アウトカム2患者体験調査



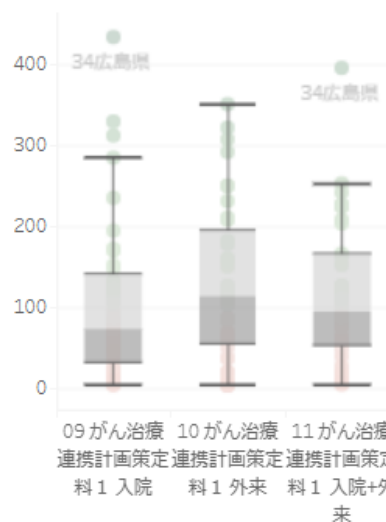
最終アウトカム



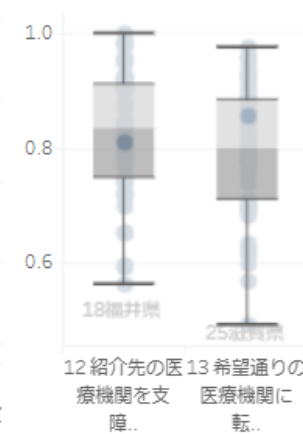
中間アウトカム3連携NDB-SCR (外れ値除外)



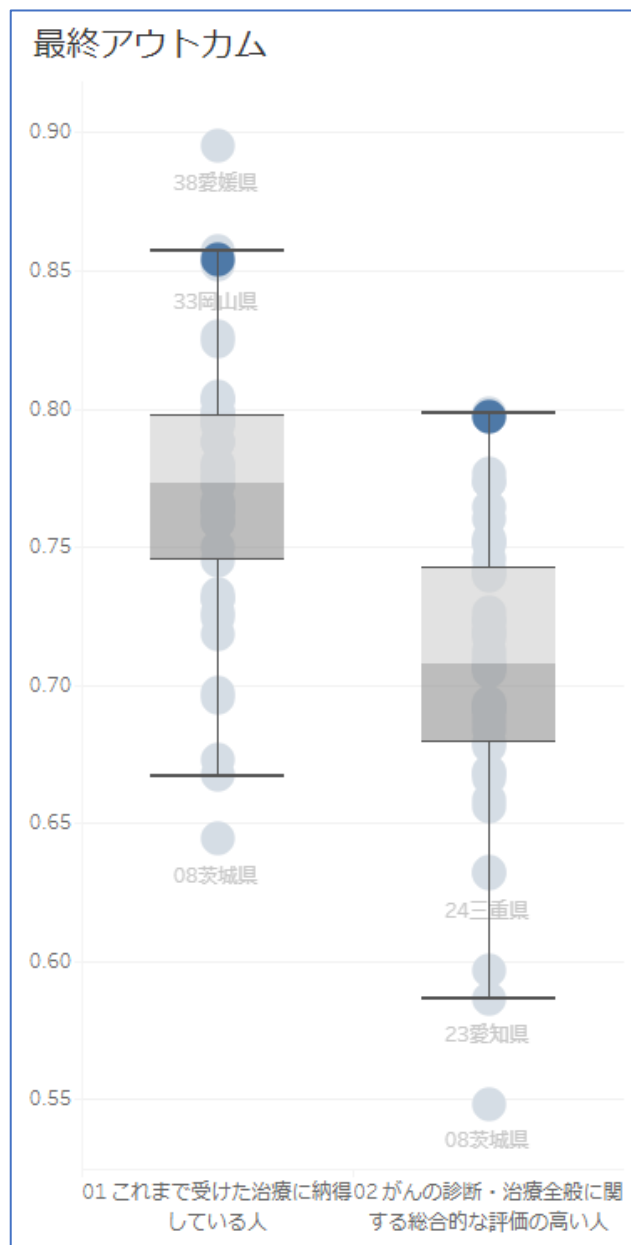
中間アウトカム3NDB-SCR



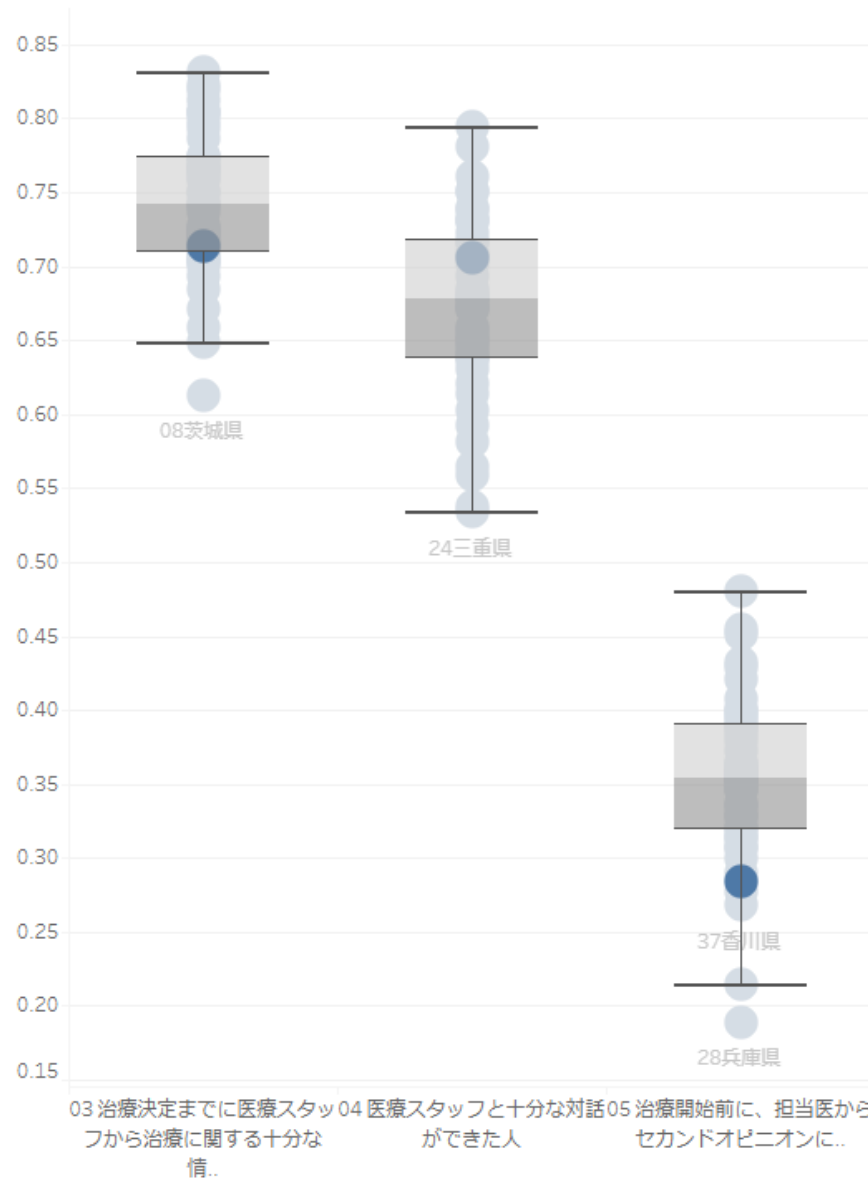
中間アウトカム3患者体験調査

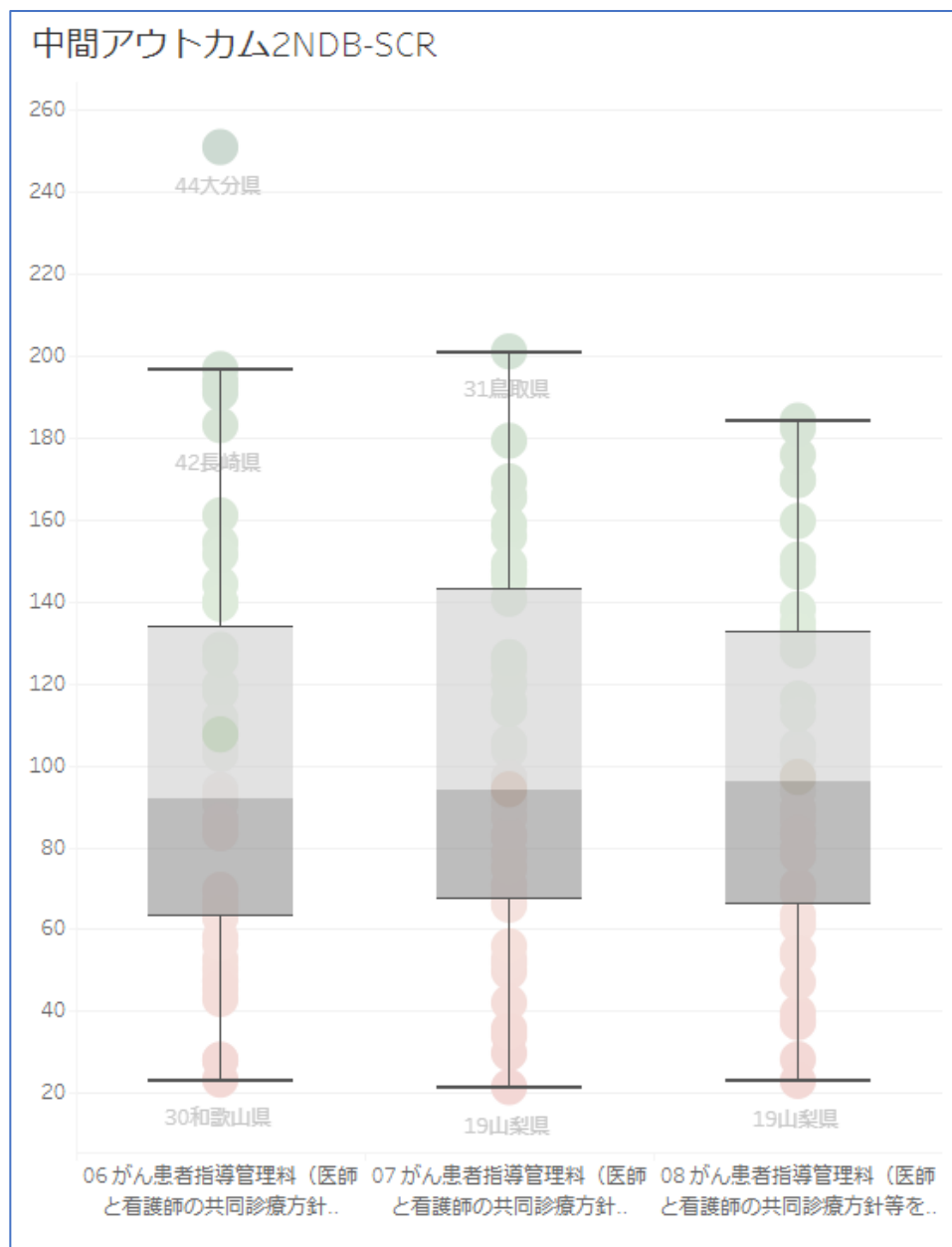


次ページから部分拡大図

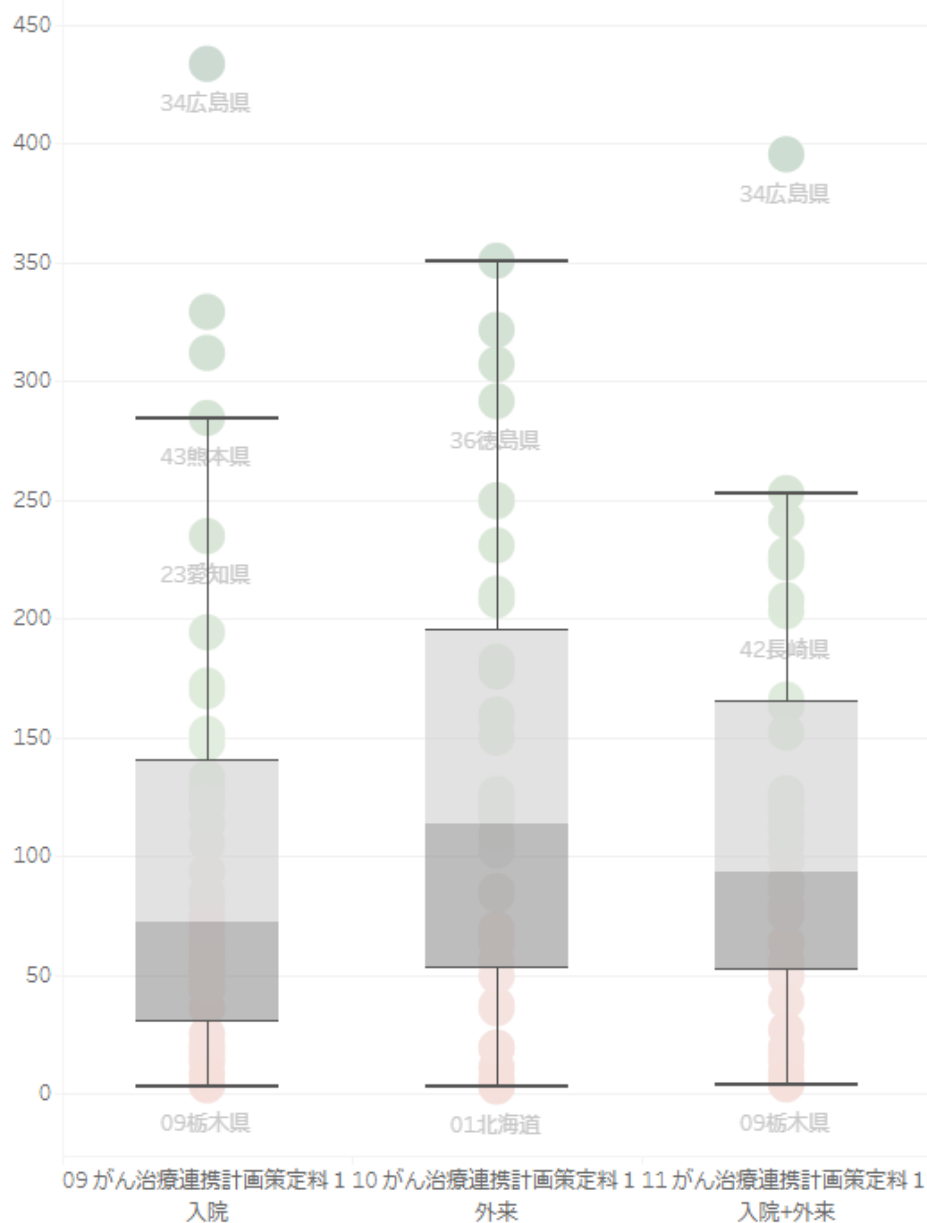


中間アウトカム2患者体験調査



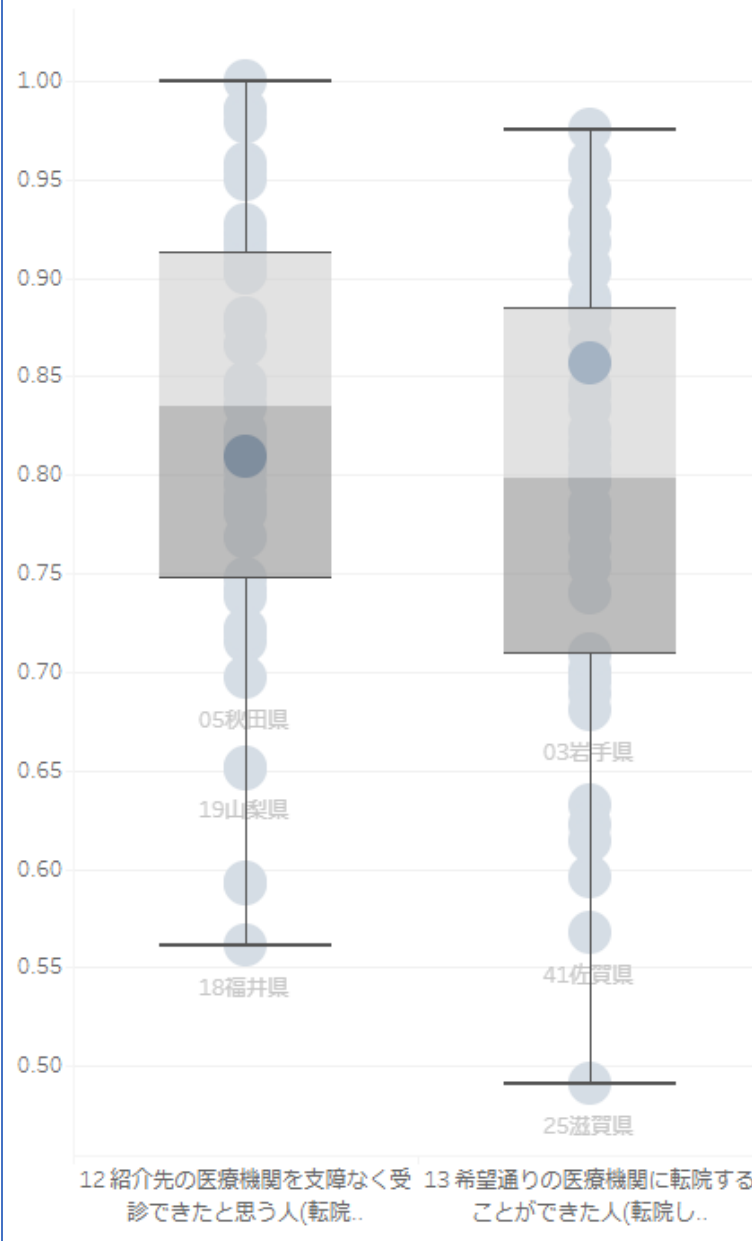


中間アウトカム3NDB-SCR

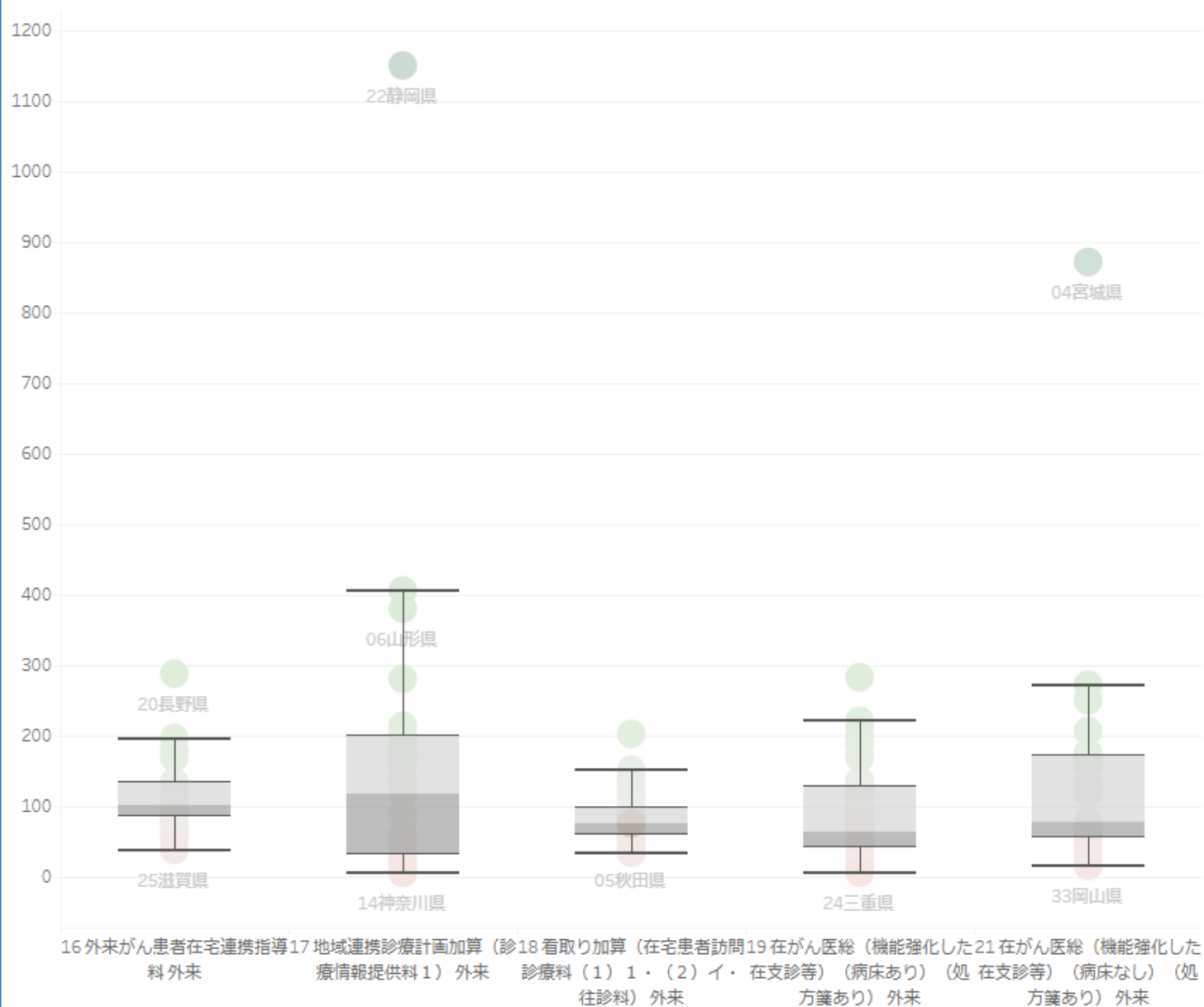


←数値ナシ

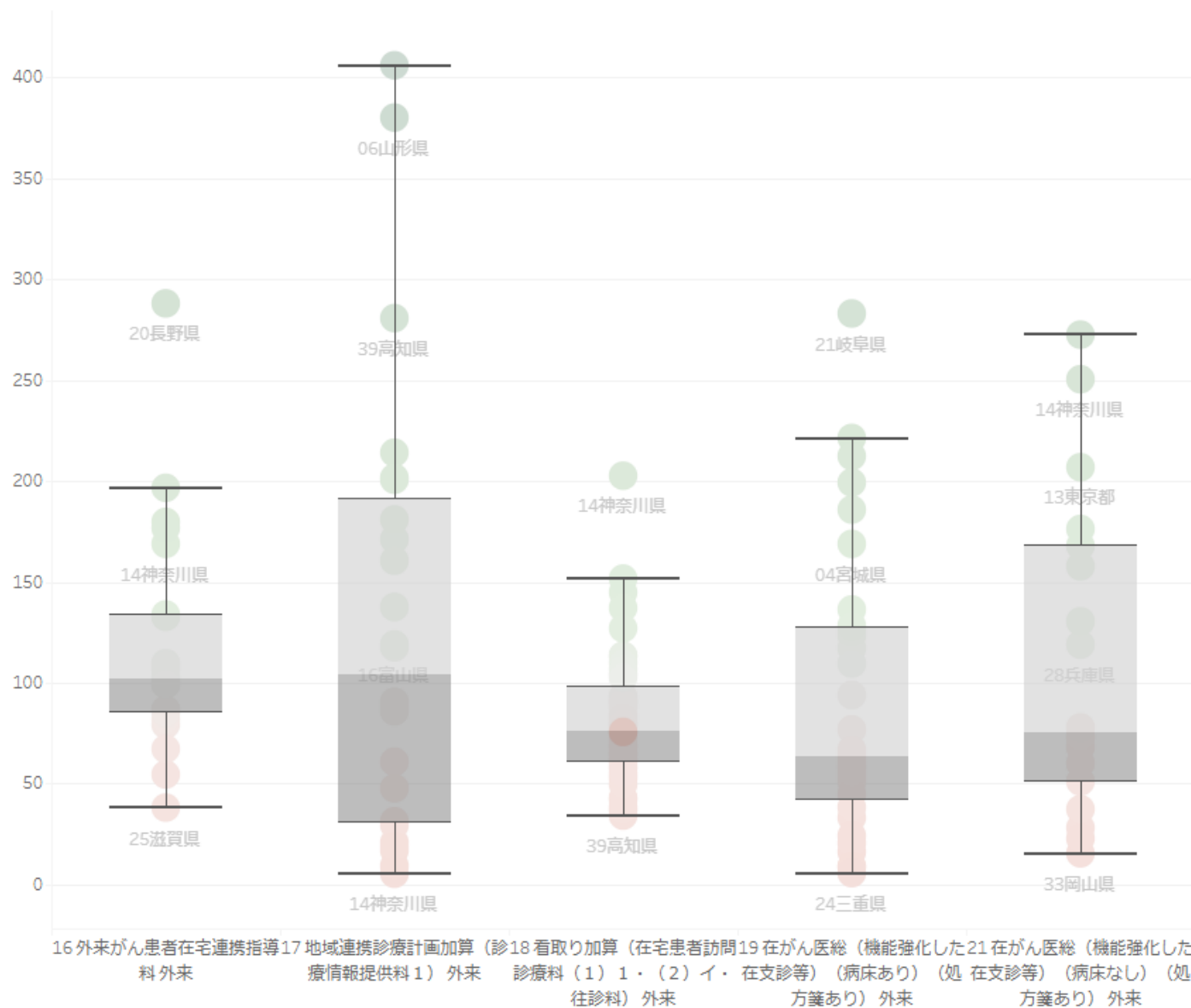
中間アウトカム3患者体験調査



中間アウトカム3連携NDB-SCR



中間アウトカム3連携NDB-SCR (外れ値除外)



がん患者が納得した適切かつ質の高い医療を等しく受けられている

【手術療法】
標準的な治療
が、質が高く
安全に実施さ
れている

【放射線療
法】標準的な
治療が、質が
高く安全に実
施されている

【薬物療法】
標準的な治療
が、質が高く
安全に実施さ
れている

【免疫療法】
標準的な治療
が、質が高く
安全に実施さ
れている

放射線療法・化学療法・免疫療法の充実

中間アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県
【手術療法】標準的な治療が、質が高く安全に実施されている				
04-M01	標準的治療の実施割合 (Quality Indicatorから)			
	-	-	NA	NA
04-M02	標準的治療の実施数 (NDB-SCRから)			
	NDB-SCR20	手術療法 (大腸がん) : 直腸腫瘍摘出術 (経肛門) 入院	100.0	87.6
04-M03	術後30日死亡率		NA	NA
04-M04	定型的な術式での治療が困難ながんに対応できる医療機関の数			
	-	-	NA	NA
【放射線療法】標準的な治療が、質が高く安全に実施されている				
04-M05	標準的治療の実施割合 (Quality Indicatorから)			
	-	-	NA	NA
04-M06	標準的治療の実施数 (NDB-SCRから)			
	NDB-SCR66	放射線 : 放射線治療病室管理加算 入院	100.0	NA
【薬物療法】標準的な治療が、質が高く安全に実施されている				
04-M07	標準的治療の実施割合 (Quality Indicatorから)			
	-	-	NA	NA
04-M08	標準的治療の実施数 (NDB-SCRから)			
	NDB-SCR42	薬物療法 : 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 (処方料) 外来	100.0	68.1
04-M09	標準的治療の実施数 (薬剤使用量のNDB-SCRから)			
	-	-	NA	NA
04-M10	外来薬物療法が安全に実施されている割合		NA	NA
04-M11	薬物療法が内科医により実施されている割合			
	-	-	NA	NA
04-M12	薬物療法について十分な説明を受けている患者の割合			
	NDB-SCR39	がん患者指導管理料 (医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等を文書説明) 入院	100.0	4.5
	NDB-SCR40	がん患者指導管理料 (医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等を文書説明) 外来	100.0	49.6
	NDB-SCR41	がん患者指導管理料 (医師等が抗悪性腫瘍剤の必要性等を文書説明) 入院+外来	100.0	49.2
【免疫療法】標準的な治療が質が高く安全に実施されている				
04-M13	標準的治療の実施割合 (Quality Indicatorから)			
	-	-	NA	NA
04-M14	標準的治療の実施数 (NDB-SCRから)			
	NDB-SCR197	P D - L 1 タンパク免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製 入院	100.0	73.6
	NDB-SCR198	P D - L 1 タンパク免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製 外来	100.0	64.1
	NDB-SCR199	P D - L 1 タンパク免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製 入院+外来	100.0	67.5
04-M15	標準的治療の実施数 (薬剤使用量のNDB-SCRから)			
	-	-	NA	NA
04-M16	免疫療法に対する都道府県民の正しい理解		NA	NA

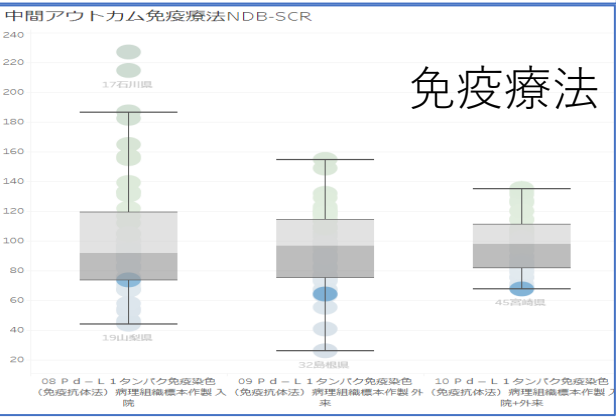
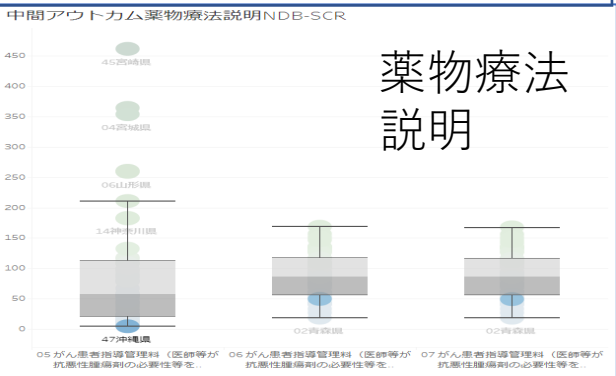
最終アウトカム				
	項目番号	項目名	全国	沖縄県
がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている				
04-F01	5年相対生存率			
	全がん27	全がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (男) (%)	62.0	57.5
	全がん28	全がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (女) (%)	66.9	69.6
	肺がん24	肺がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (男) (%)	29.5	21.4
	肺がん25	肺がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (女) (%)	46.8	41.5
	大腸がん24	大腸がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (男) (%)	72.4	70.2
	大腸がん25	大腸がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (女) (%)	70.1	69.5
	胃がん24	胃がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (男) (%)	67.5	63.9
	胃がん25	胃がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (女) (%)	64.6	65.4
	乳がん16	乳がん : 5年相対生存率 2009-2011年 (女) (%)	92.3	91.9
04-F02	治療に納得している患者の割合			
	患者15	これまで受けた治療に納得している患者の割合	77.4%	85.4%
04-F03	治療スケジュールに見通しが立っている患者の割合			
	患者9	治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた患者の割合	75.9%	83.3%
04-F04	診断・治療全体の総合評価が高い患者の割合			
	患者20	がんの診断・治療全般に関する総合的な評価が高い患者の割合	71.2%	79.7%
04-F05	がん医療が進歩していると感じている患者の割合			
	患者22	一般の人が受けられるがん医療は推年前と比べて進歩したと感じる患者の割合	38.6%	27.2%

標準的な治療が、質が高く安全に実施されている

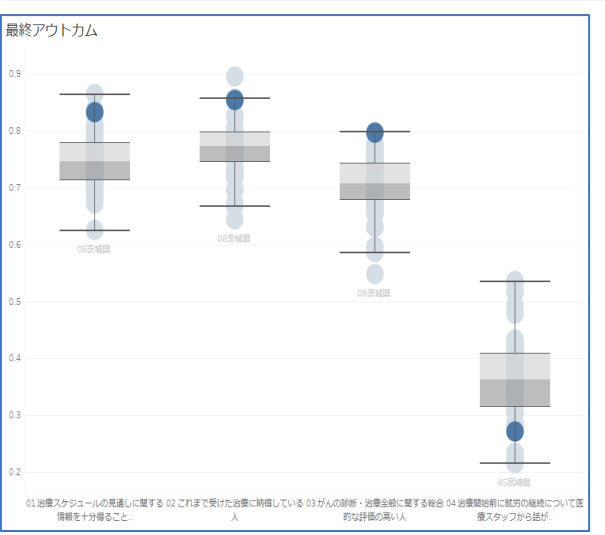
中間アウトカム 手術療法（→後出）

中間アウトカム 放射線療法（→後出）

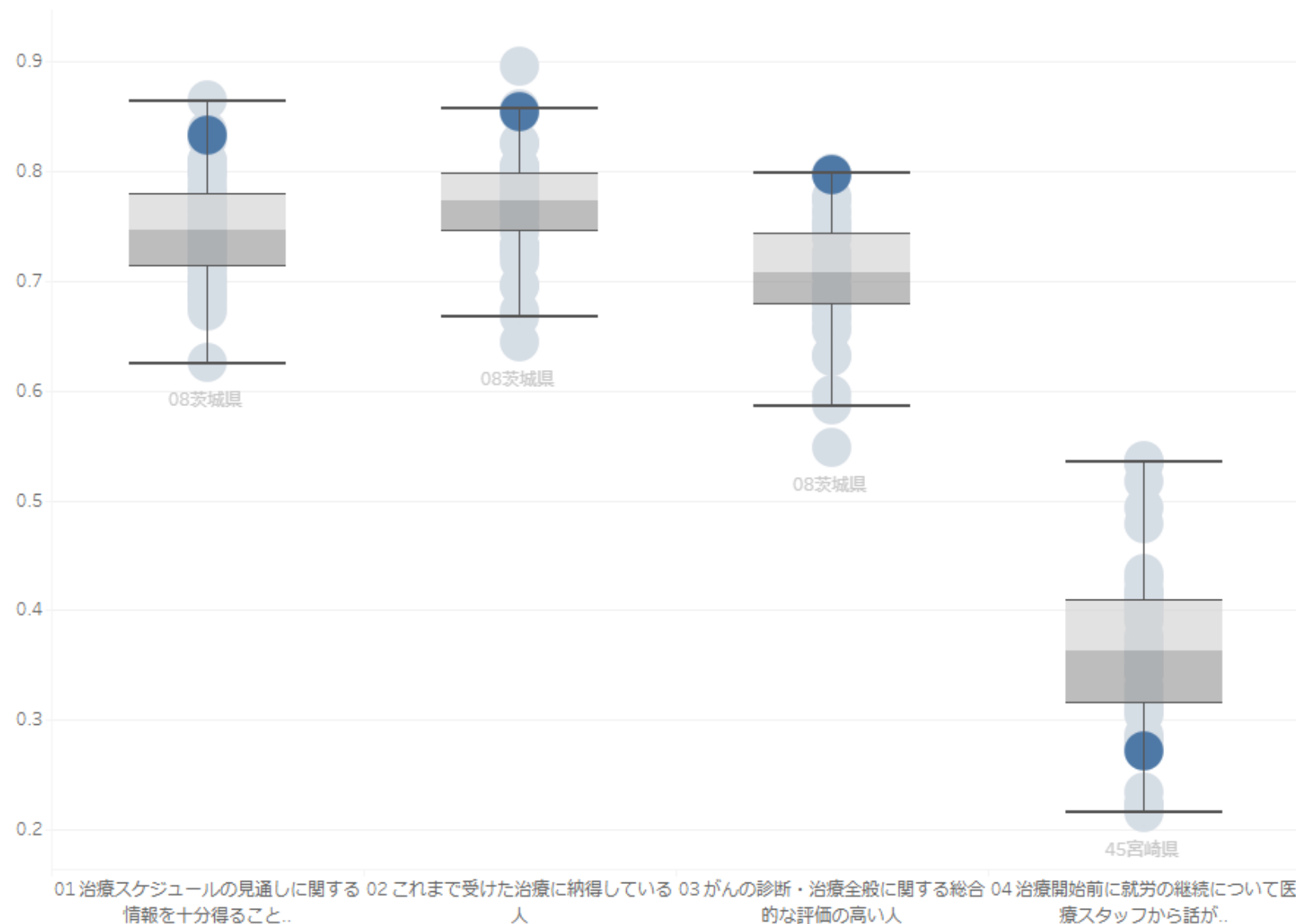
中間アウトカム 薬物療法（→後出）



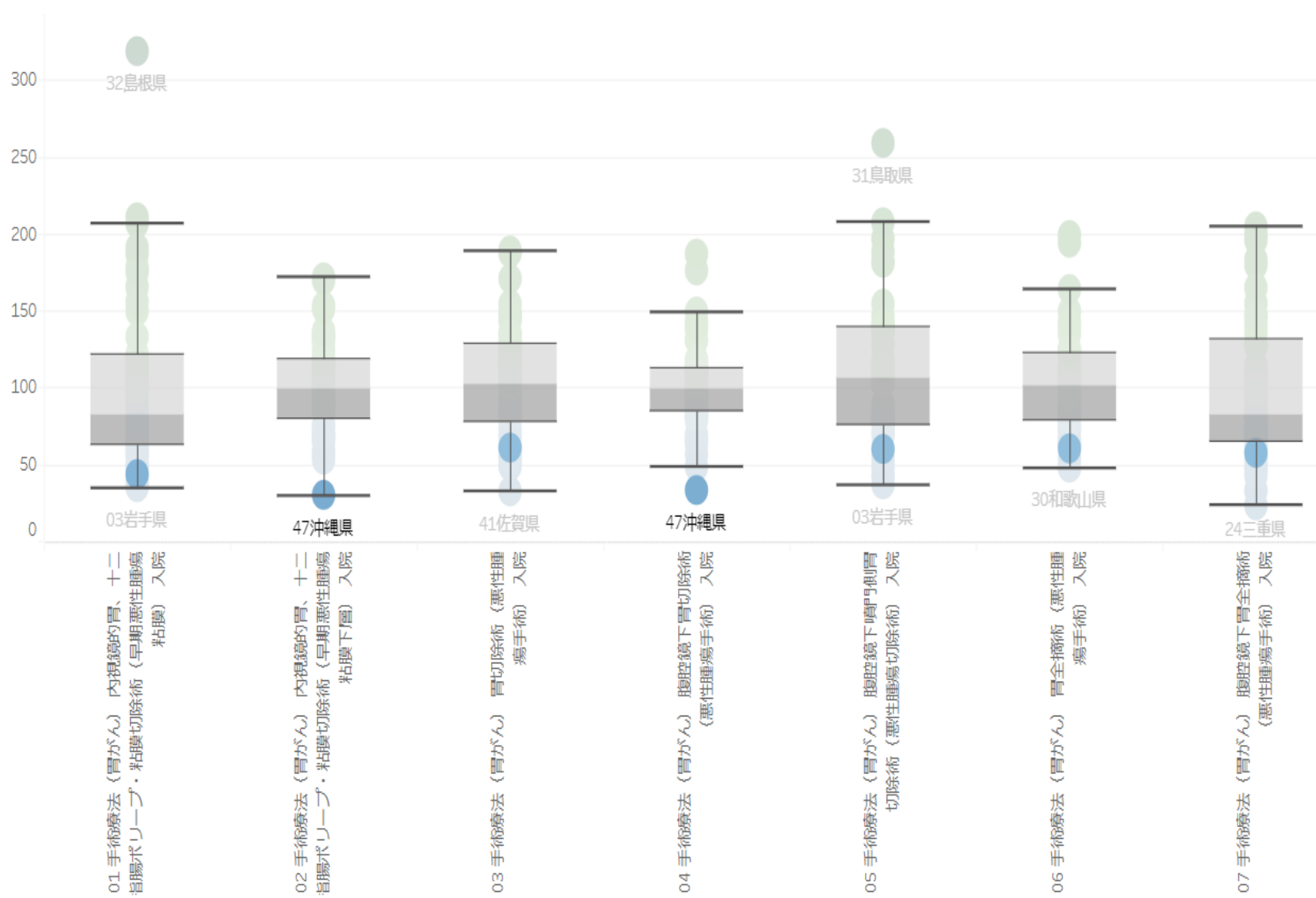
がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられている



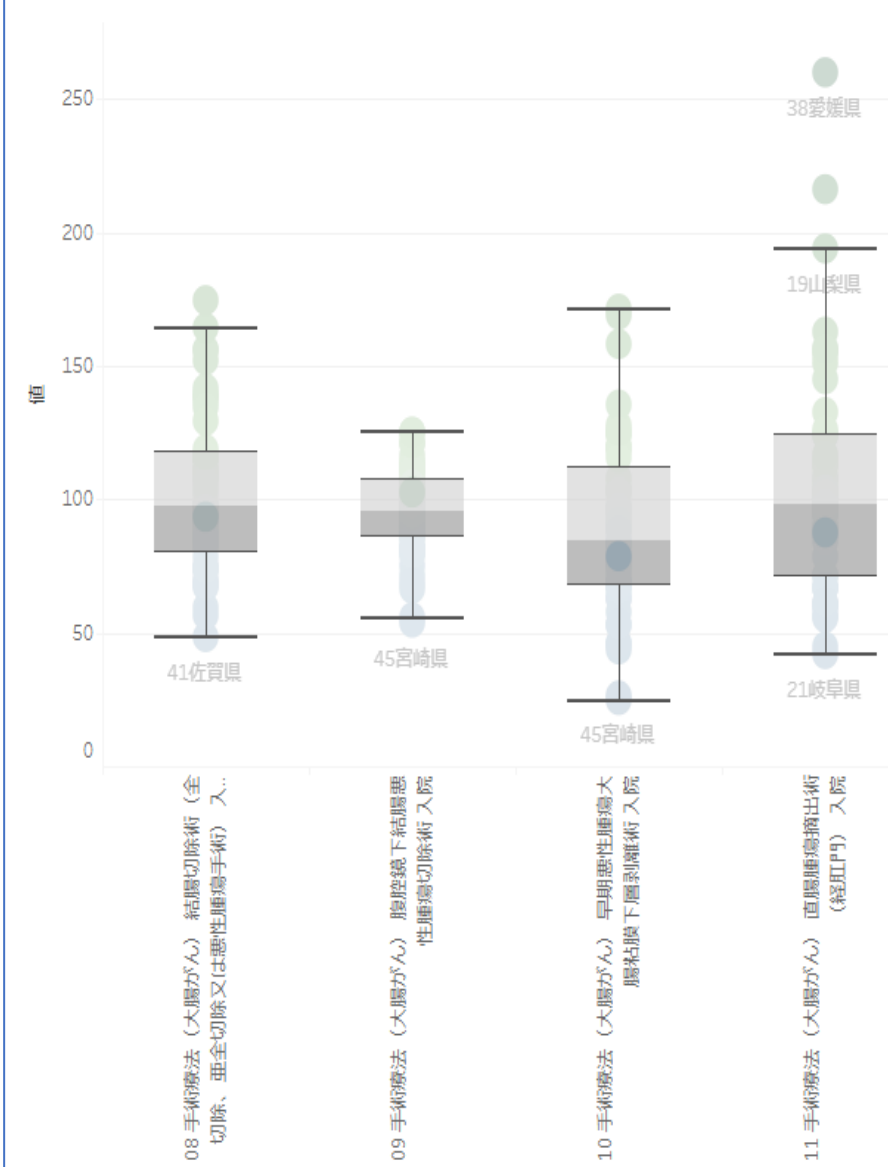
最終アウトカム



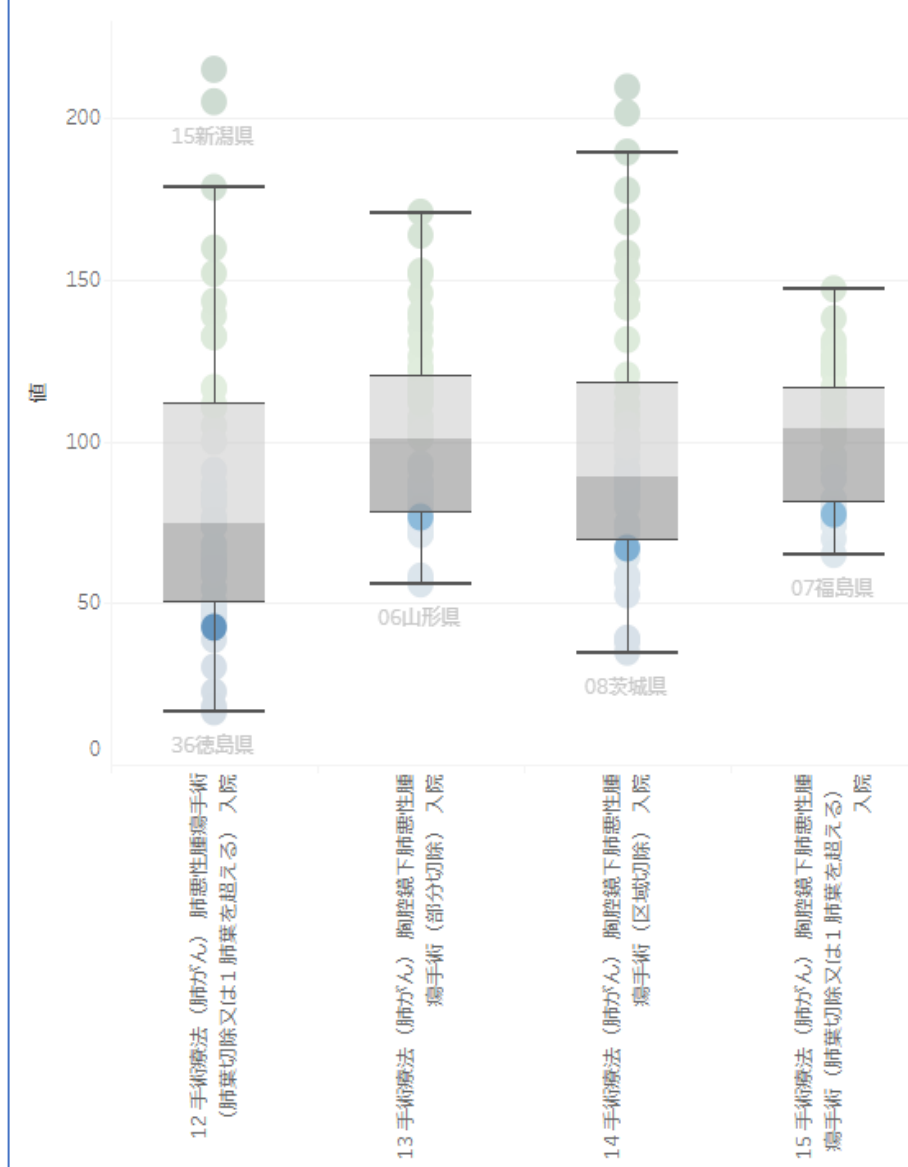
胃がん7項目



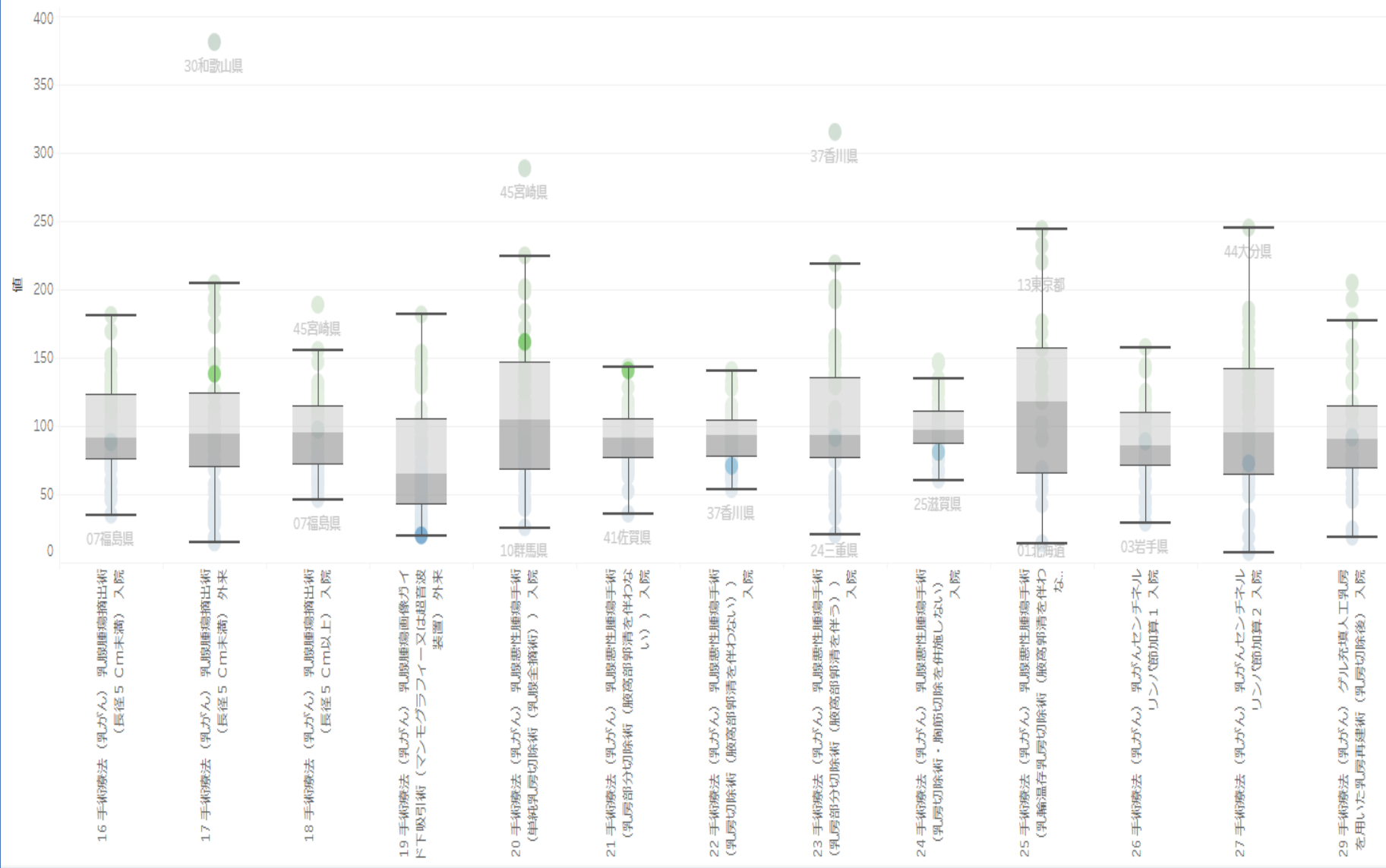
大腸がん4項目

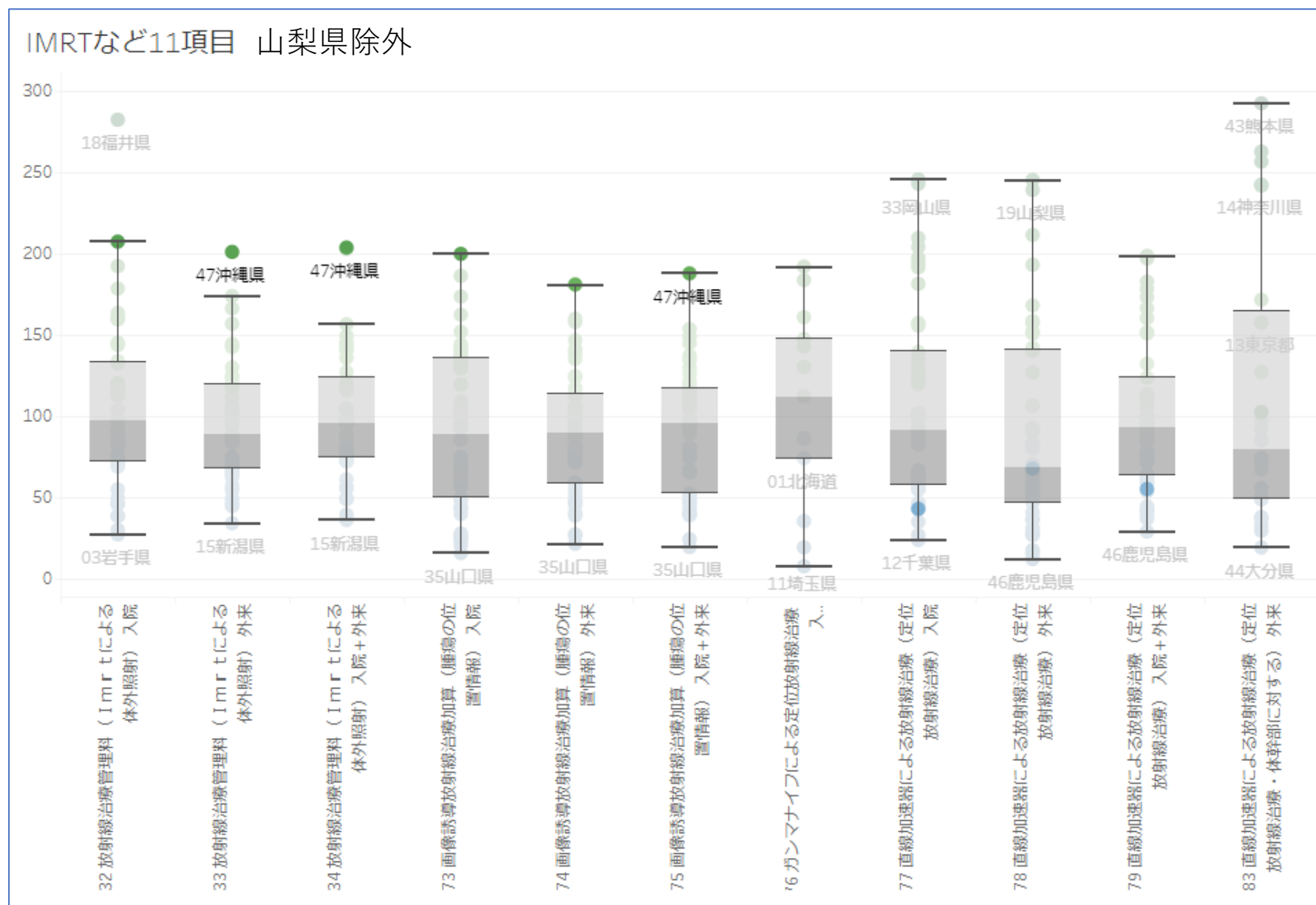


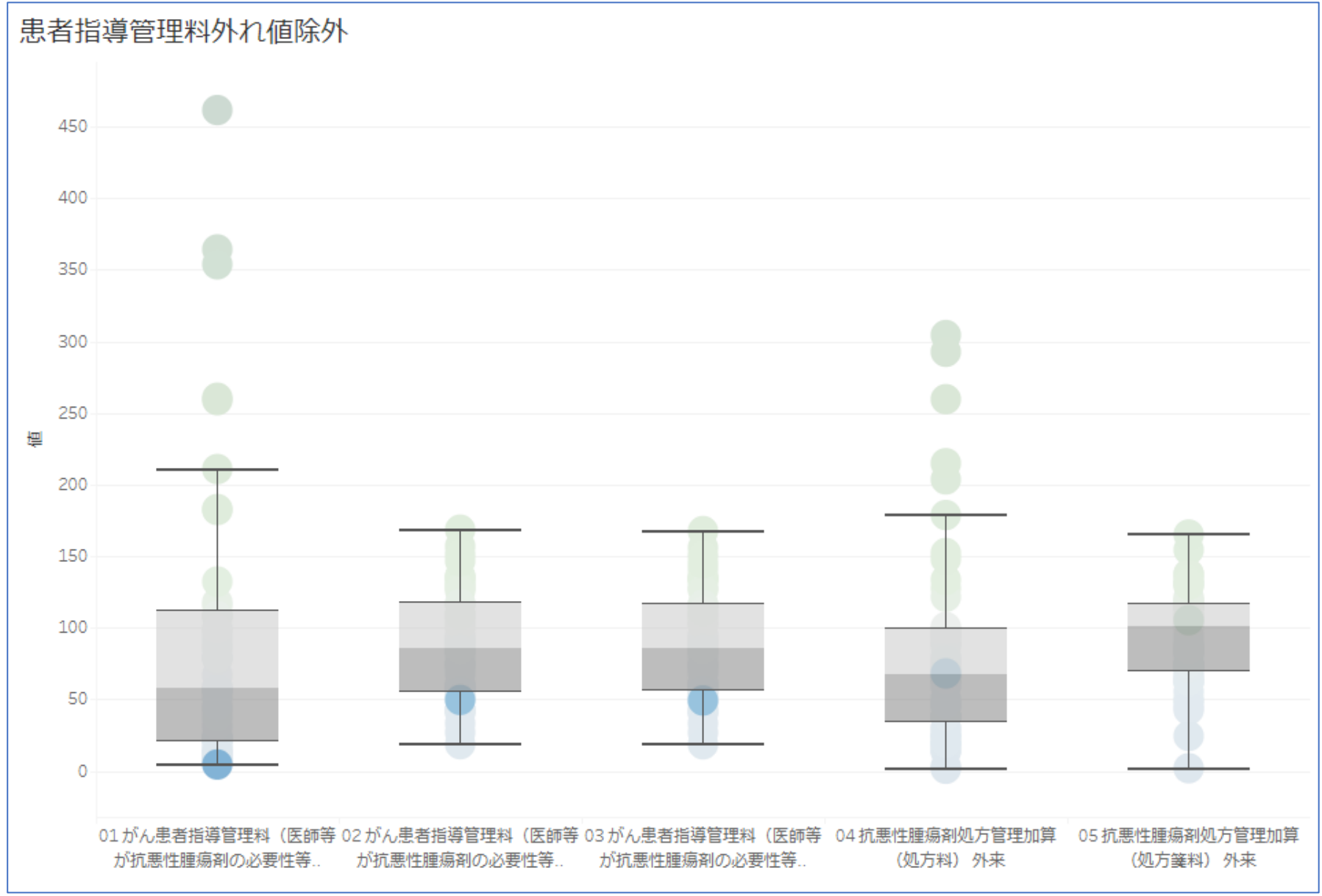
肺がん4項目



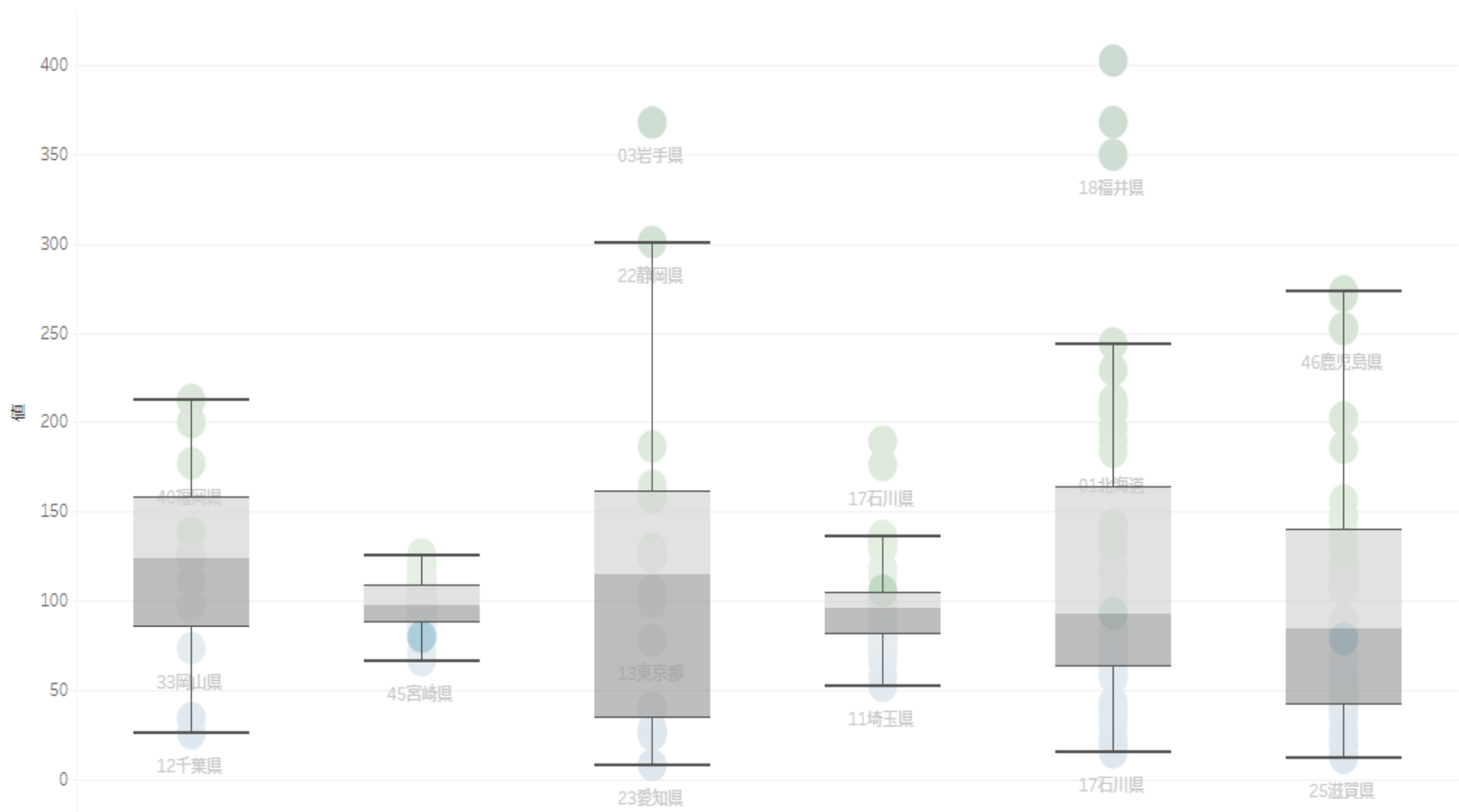
乳がん13項目



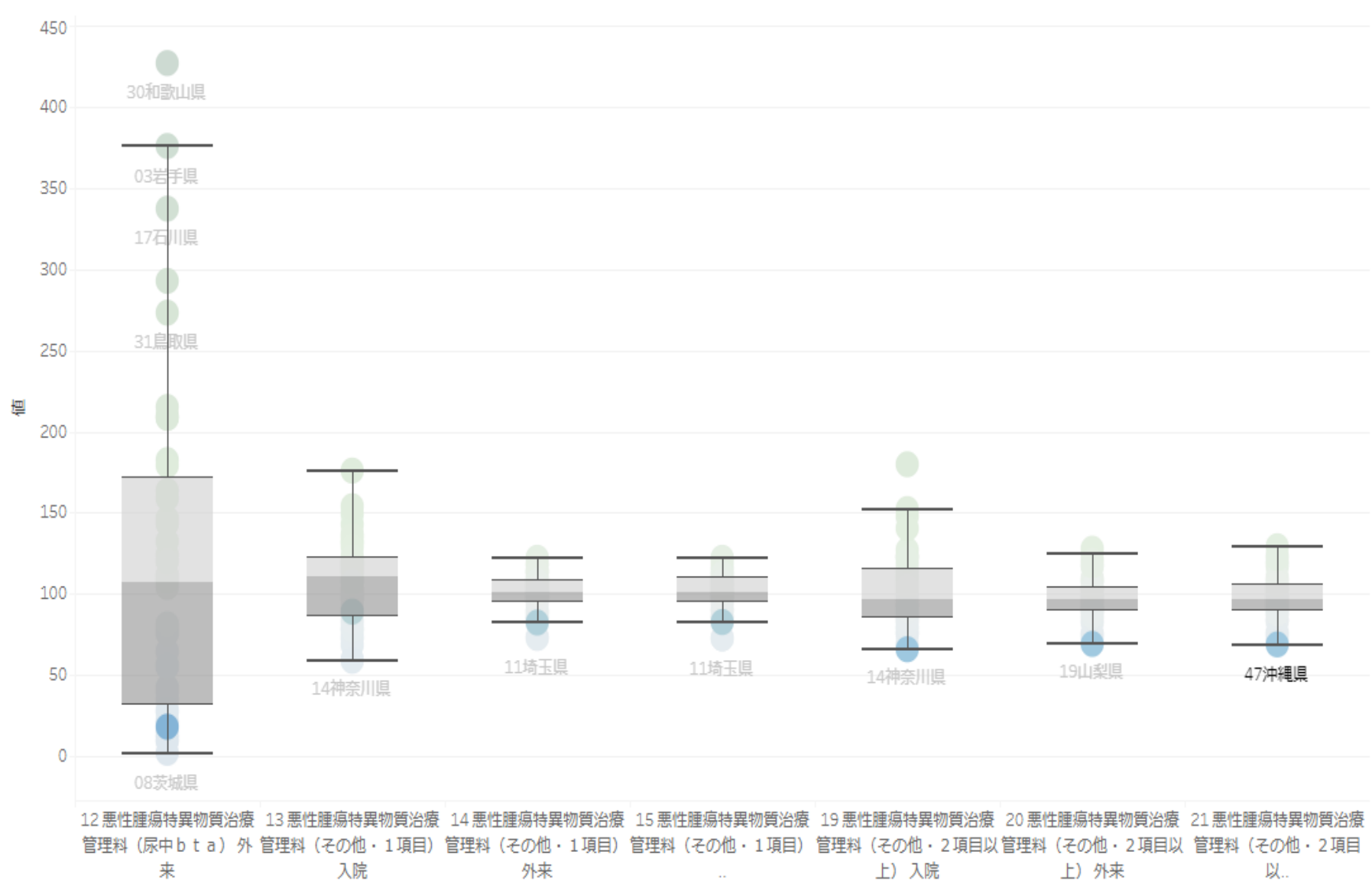




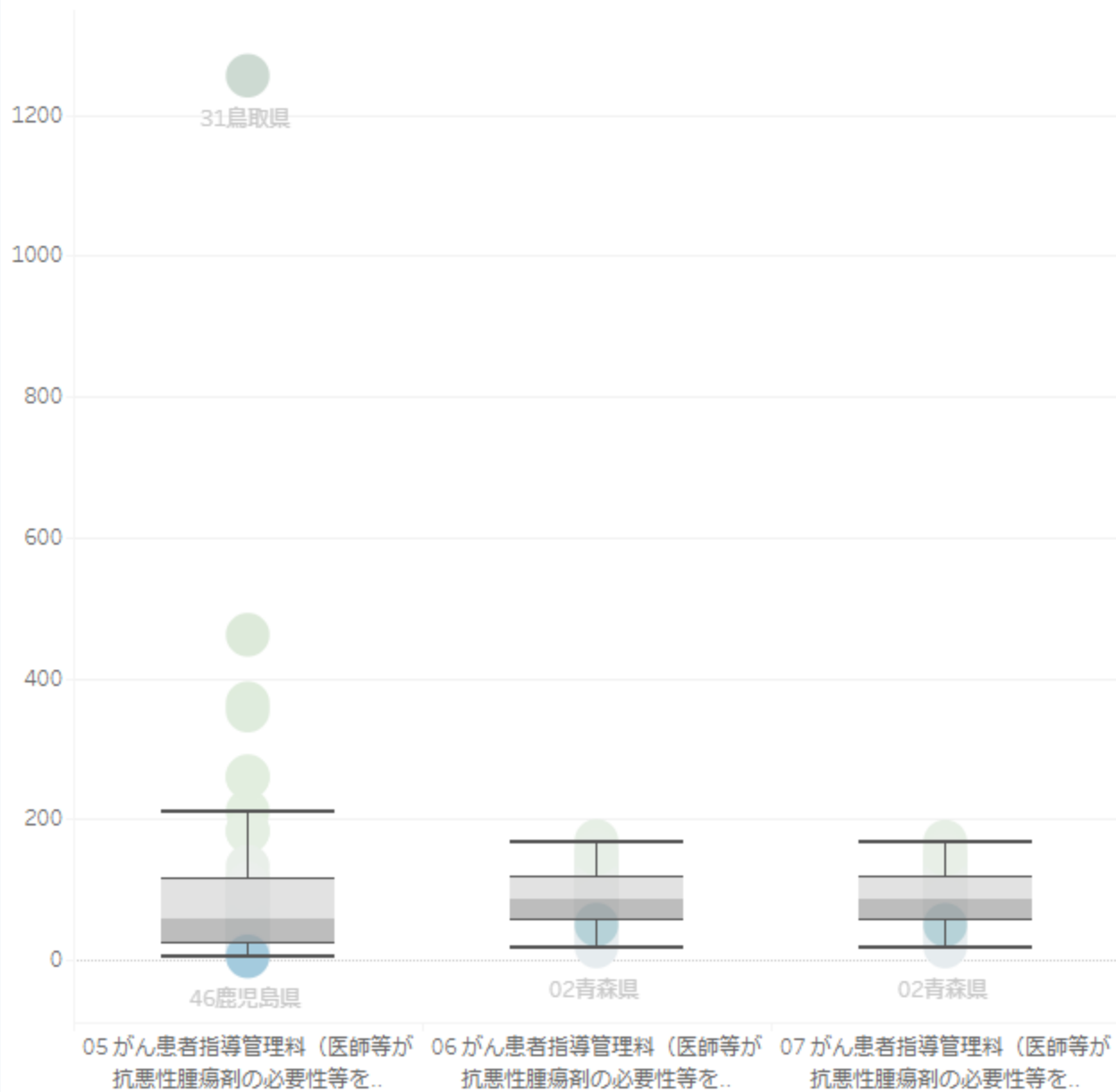
外来化学療法



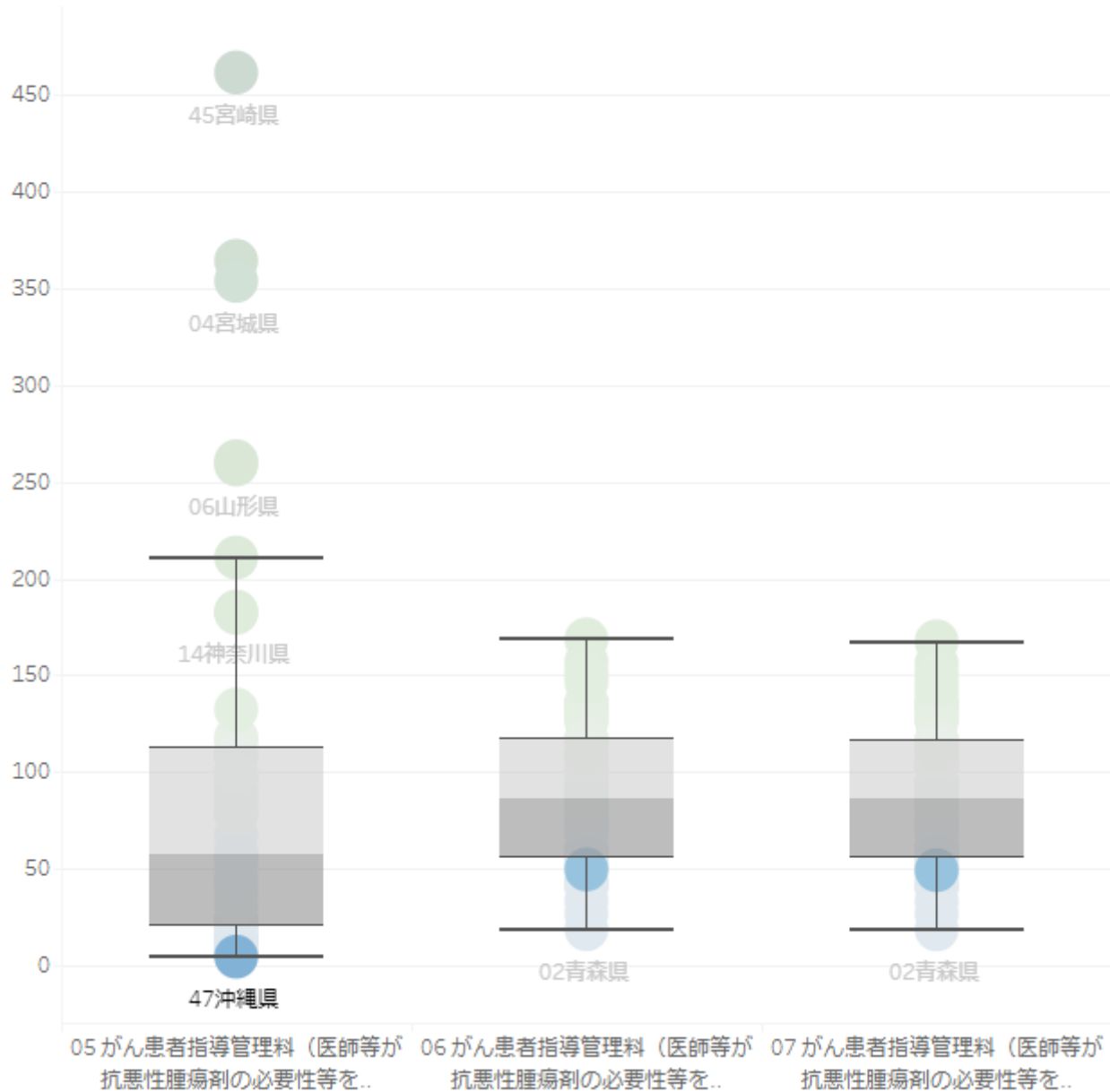
特異物質治療管理料



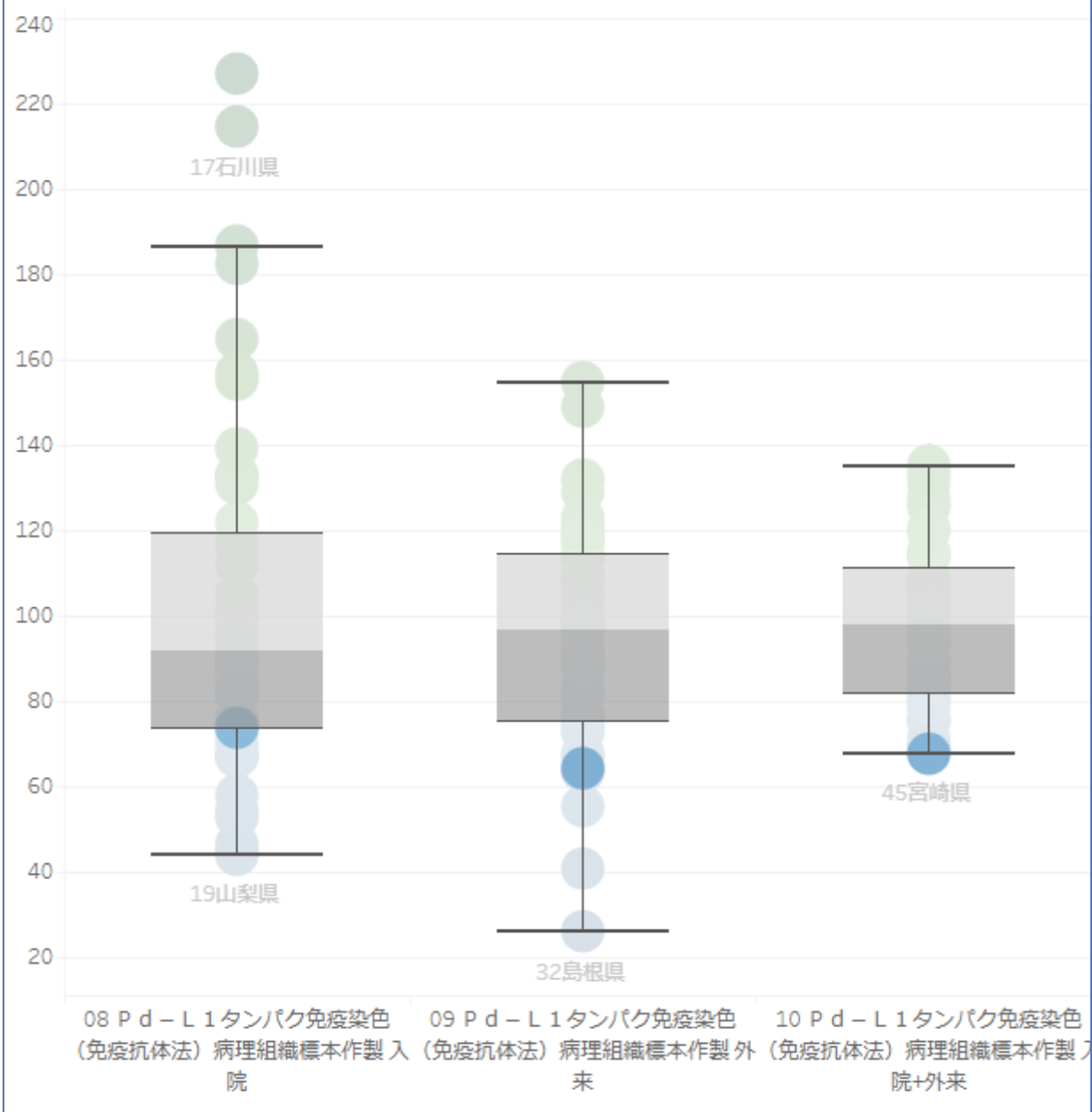
中間アウトカム薬物療法説明NDB-SCR



中間アウトカム薬物療法説明NDB-SCR 鳥取県除外



中間アウトカム免疫療法NDB-SCR



まとめ

- 地域差は大きい。
- 均てん化余地は大きい。
- 沖縄は全国値より数値が悪い項目が多い。
- 改善余地が大きい。
- 定期的な確認、議論、改善案の作成、実施が必要。